

地方独立行政法人三重県立総合医療センター 平成27年度 業務の実績に関する評価結果報告書

(参考) 項目別評価【個別項目評価結果】

平成28年9月

地方独立行政法人三重県立総合医療センター評価委員会

法人の概要

1 法人の名称及び所在地

地方独立行政法人三重県立総合医療センター
三重県四日市市大字日永5450番の132

2 法人の種別

特定地方独立行政法人

3 設立年月日

平成24年4月1日

4 設立団体

三重県

5 中期目標の期間

平成24年4月1日～平成29年3月31日

6 基本理念及び基本方針

【基本理念】

- 救命救急、高度、特殊医療等を提供することにより、県の医療水準の向上に貢献します。
- 安全・安心で互いにささえあう社会の実現に向けて医療面から貢献します。

【基本方針】

- 患者の皆様の権利を尊重し、信頼と満足の得られるチーム医療を提供します。

2 県の基幹病院として医療水準の向上に努めるとともに、医療人材の育成に貢献します。

3 県内医療機関との連携を強化し、地域医療の充実に努めます。

4 職場環境を改善し、職員のモチベーションの向上に努めます。

5 責任と権限を明確にした自律的・自主的な経営を行います。

7 資本金の額

1,099,272,714円

8 役員及び常勤職員の数（平成27年4月1日現在）

【役員名簿】

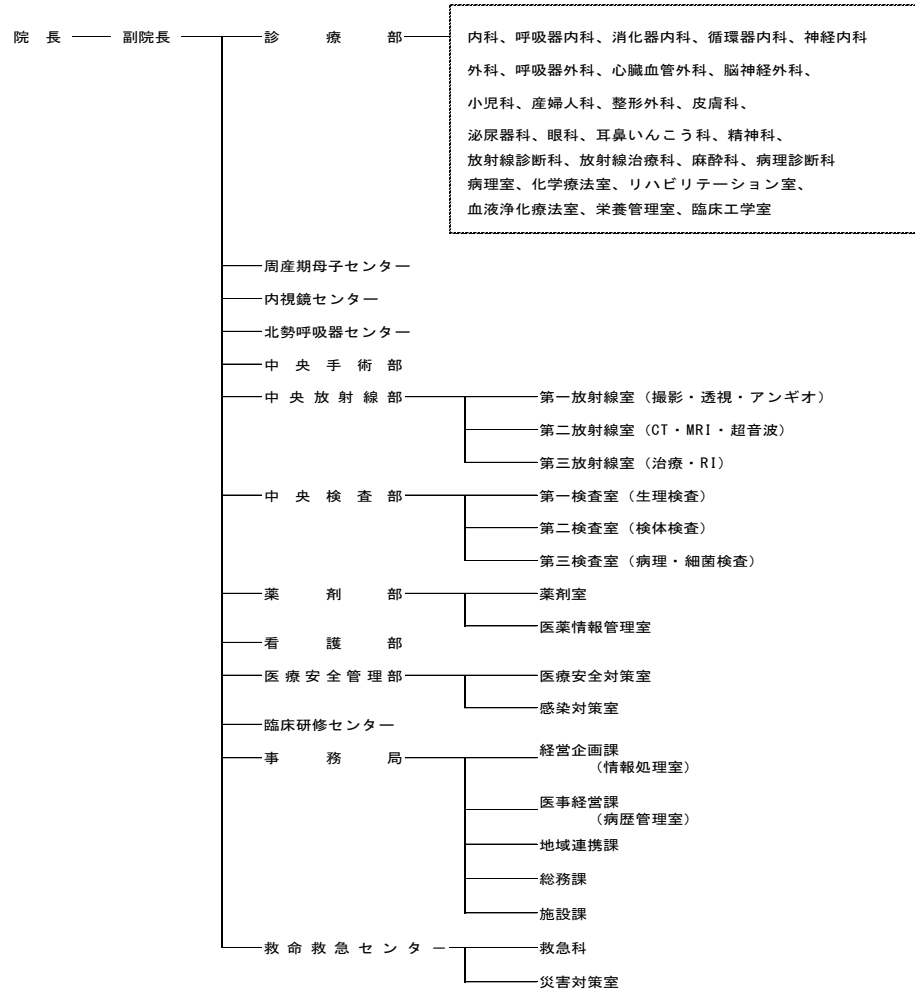
	氏名	役職
理事長	高瀬 幸次郎	総合医療センター院長
副理事長	奥野 元洋	総合医療センター副院長
理事	草野 五男	総合医療センター副院長
理事	松本 壽夫	総合医療センター副院長
理事	谷口 晴記	総合医療センター副院長
理事	川島 いづみ	総合医療センター看護部長
理事	緒方 正人	三重大学大学院医学系研究科長・医学部長
理事	内田 淳正	三重大学 学長顧問
監事	佐久間 紀	公認会計士（佐久間紀事務所）
監事	早川 忠宏	弁護士（北勢綜合法律事務所）

【常勤職員数】

612名

（医師 100名、看護師 404名、医療技術職員 74名、事務等 34名）

9 組織体制 (H28.3.31現在)



10 病院の概要

(1) 許可病床数

443床

(2) 診療科目【21】

内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科、外科、呼吸器外科、心臓血管外科、脳神経外科、小児科、産婦人科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻いんこう科、精神科、放射線診断科、放射線治療科、麻酔科、病理診断科

(3) 主な診療機能

- 救命救急センター
- 県がん診療連携拠点病院
- 基幹災害拠点病院
- 地域周産期母子医療センター
- 臨床研修病院
- エイズ拠点病院
- 第二種感染症指定病院
- へき地医療拠点病院
- 地域医療支援病院

1 項目別（個別項目評価）の評価結果一覧

年度計画の項目名		評価項目	法人の 自己評価	評価委員 会の評価
大項目 > 中項目 > 小項目 > 最小項目	指標の 有無	No.	評点	評点
第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとすべき措置				
1 医療の提供				
(1) 診療機能の充実				
ア 高度医療の提供				
	(ア) がん	有 1	Ⅲ	Ⅲ
	(イ) 脳卒中・心筋梗塞	有 2	Ⅲ	Ⅲ
	(ウ) 各診療科の高度化	3	Ⅲ	Ⅲ
	イ 救急医療	有 4	Ⅲ	Ⅲ
	ウ 小児・周産期医療	有 5	Ⅲ	Ⅲ
	エ 感染症医療	6	Ⅳ	Ⅲ
(2) 信頼される医療の提供				
	ア クリニカルパスの推進	有 7	Ⅲ	Ⅲ
	イ インフォームドコンセントの徹底	8	Ⅳ	Ⅳ
	ウ 診療科目の充実	9	Ⅳ	Ⅳ
(3) 医療安全対策の徹底				
(4) 患者・県民サービスの向上				
	ア 患者満足度の向上	有 11	Ⅳ	Ⅲ
	イ 待ち時間の短縮	12	Ⅳ	Ⅲ
	ウ 個人情報の保護	13	Ⅲ	Ⅲ
	エ 相談体制の充実	14	Ⅳ	Ⅳ
	オ 保健医療情報の発信	15	Ⅳ	Ⅳ
2 非常時における医療救護等				
	(1) 大規模災害発生時の対応	16	Ⅳ	Ⅳ
	(2) 公衆衛生上の重大な危機が発生した場合の対応	17	Ⅳ	Ⅲ
3 医療に関する地域への貢献				
	(1) 地域の医療機関との連携強化	有 18	Ⅳ	Ⅳ
	(2) 医師不足等の解消への貢献	19	Ⅳ	Ⅳ
4 医療に関する教育及び研修				
	(1) 医師の確保・育成	有 20	Ⅳ	Ⅳ
	(2) 看護師の確保・育成	有 21	Ⅳ	Ⅳ
	(3) コメディカル(医療技術職)の専門性の向上	22	Ⅲ	Ⅲ
	(4) 資格の取得への支援	有 23	Ⅳ	Ⅳ
	(5) 医療従事者の育成への貢献	有 24	Ⅳ	Ⅲ
5 医療に関する調査及び研究				
		25	Ⅲ	Ⅲ

年度計画の項目名		評価項目	法人の 自己評価	評価委員 会の評価
大項目 > 中項目 > 小項目	指標の 有無	No.	評点	評点
第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとすべき措置				
1 適切な運営体制の構築				
		26	Ⅳ	Ⅳ
2 効果的・効率的な業務運営の実現				
		27	Ⅳ	Ⅳ
3 業務改善に継続して取り組む組織文化の醸成				
	(1) 経営関係情報の周知	28	Ⅳ	Ⅳ
	(2) 改善活動の取組	29	Ⅲ	Ⅲ
4 就労環境の向上				
		有 30	Ⅳ	Ⅳ
5 人材の確保、育成を支える仕組みの整備				
		31	Ⅳ	Ⅲ
6 事務部門の専門性の向上と効率化				
		32	Ⅲ	Ⅲ
7 収入の確保と費用の節減				
	(1) 収入の確保	有 33	Ⅳ	Ⅳ
	(2) 費用の節減	有 34	Ⅲ	Ⅲ
8 積極的な情報発信				
		35	Ⅳ	Ⅳ
第3 財務内容の改善に関する事項				
1 予算、2 収支計画、3 資金計画（平成24年度）				
		36	Ⅲ	Ⅲ
第7 その他業務運営に関する重要事項				
1 保健医療行政への協力				
		37	Ⅳ	Ⅳ
2 法令・社会規範の遵守				
		38	Ⅲ	Ⅲ
3 業務運営並びに財務及び会計に関する事項				
	(1) 施設及び設備に関する計画	39	Ⅲ	Ⅲ
	(2) 積立金の処分に関する計画			
	(3) その他法人の業務運営に関し必要な事項			

【評価基準】

区分	評価の基準の説明
V	年度計画を著しく上回って実施している
Ⅳ	年度計画を上回って実施している
Ⅲ	年度計画を概ね計画どおり実施している
Ⅱ	年度計画を十分に実施できていない
I	年度計画を大幅に下回っている、又は実施していない

2 評価を行う大項目ごとの集計結果

項目名(大項目)	評価の対象項目数	V		IV		III		II		I		平均値(点)	
		年度計画を著しく上回って実施している		年度計画を上回って実施している		年度計画を概ね計画どおり実施している		年度計画を十分に実施できていない		年度計画を著しく下回っている、又は実施していない			
		法人の自己評価	評価委員会の評価	法人の自己評価	評価委員会の評価	法人の自己評価	評価委員会の評価	法人の自己評価	評価委員会の評価	法人の自己評価	評価委員会の評価	法人の自己評価	評価委員会の評価
第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置	25	0	0	15	10	10	15	0	0	0	0	3.6	3.4
第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置	10	0	0	7	6	3	4	0	0	0	0	3.7	3.6
第3 財務内容の改善に関する事項	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	3.0	3.0
第7 その他業務運営に関する重要事項	3	0	0	1	1	2	2	0	0	0	0	3.3	3.3
合計	39	0	0	23	17	16	22	0	0	0	0	3.6	3.4

(注意) 平均値(点)は、V=5点、IV=4点、III=3点、II=2点、I=1点とし、合計したものを、評価の対象項目数で除して算出。小数点第2位四捨五入。

3 項目別の状況

≪大項目≫ 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

中期目標	<p>第2 県民に提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項</p> <p>1 医療の提供</p> <p>医療環境の変化や多様化する医療ニーズ等に対応して、県民に良質な医療を提供できるよう体制の充実を図り、本県の政策医療の拠点としての役割を担うこと。</p> <p>(1) 診療機能の充実</p> <p>北勢保健医療圏の中核的な病院としての役割を着実に果たすとともに、以下に掲げる機能の充実について重点的に取り組むこと。</p> <p>ア 高度医療の提供</p> <p>がん、脳卒中、急性心筋梗塞に対する高度医療など多くの分野で県内最高水準の医療を提供し、県民から高い評価を受けられる病院をめざすこと。</p> <p>特に、がん診療については、地域がん診療連携拠点病院として三重大学医学部附属病院と連携し、県全体の医療水準の向上に貢献すること。</p>
------	--

≪評価項目No.1～3≫ 高度医療の提供

中期計画	H27年度計画	業務実績内容／法人の自己評価・課題等		評価委員会の評価	
		自己評価	評価結果	コメント	
<p>第2 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>1 医療の提供</p> <p>三重県の医療政策として求められる高度医療、救急医療等を提供するとともに、医療環境の変化や県民の多様化する医療ニーズに応えるため、法人が有する医療資源を効果的・効率的に活用し、より多くの県民に質の高い医療を提供する。</p>	<p>≪評価項目≫</p> <p>第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>1 医療の提供</p>				

中期計画	H 2 7 年度計画 《評価項目》	業務実績内容／法人の自己評価・課題等		評価委員会の評価
		自己評価	評価結果	コメント
<p>(1) 診療機能の充実</p> <p>北勢保健医療圏の中核的な病院としての役割を着実に果たすため、高度医療の提供などの機能の充実に取り組む。</p> <p>ア 高度医療の提供</p> <p>がん治療については、地域がん診療連携拠点病院として、院内のがん診療評価委員会（がん診療評価委員会（がん診療評価委員会（がん診療評価委員会）を中心に緩和ケアも含めた集学的治療の推進や医師、看護師、薬剤師等をメンバーとする治療チームの活動強化に努めるとともに、定期的な研修会の開催などにより、医療スタッフの知識と技術の向上を図る。</p>	<p>(1) 診療機能の充実</p> <p>ア 高度医療の提供</p> <p>《評価項目No.1》</p> <p>(ア) がん</p> <p>県がん診療連携拠点病院の指定を目指し、引き続きがん医療の均てん化に努め、地域医療機関と連携し、がん患者に質の高い医療を提供する体制の充実を図る。</p> <p>① キャンサーボードの充実</p> <p>院内のがん診療評価委員会（がん診療評価委員会）を原則月1回開催し、集学的治療の推進、診療の質向上のためのP D C Aサイクルを構築、医師、看護師、薬剤師等をメンバーとする治療チームの活動強化に努める。</p> <p>② がん相談体制の充実</p> <p>「がん相談支援センター」の一層の有効活用を行い、看護師、医療ソーシャルワーカーが様々な相談に常時応じることができる体制を継続する。</p> <p>また、「がんサポート室」でのがん情報提供や患者サロンの運用により、患者及び関係者の情報交換、情報提供を促進することで、切れ目のないサポートを行う。</p>	<p>○ 当院のがん診療に対する様々な取組が評価され、平成27年10月1日付けで県がん診療連携拠点病院の指定を受けた。</p> <p>○ キャンサーボードを毎月開催し、各部門の横断的な検討・評価を行うなど、がん診療におけるチーム医療を推進した。</p> <p>○ 三重大学医学部附属病院が主体となって進める「がん診療のP D C Aサイクルに関する調査研究」に参加し、診療体制とその運用についての検証を実施した。</p> <p>○ 肺がん等の呼吸器疾患に対する診療体制の一層の充実、強化を図り、潜在的な患者の確保につなげるため、院内に「北勢呼吸器センター」を平成27年10月1日付けで設置した。</p> <p>○ 「がん相談支援センター」及び「がんサポート室」に専従・専任の看護師・MSW（メディカル・ソーシャル・ワーカー）を配置し、カウンセリング、告知後のサポート（本人、家族）及び心理的相談業務を行った。</p> <p>○ 「がんサポート室」に設置した書籍及びインターネット閲覧コーナーを活用し、患者及びそのご家族の方に情報を提供した。</p>	<p>III</p> <p>III</p>	<p>県がん診療連携拠点病院の指定を受けたこと、並びに呼吸器領域の診療体制が充実しているという強みを活かして「北勢呼吸器センター」を設置し、呼吸器疾患に対する強化が図られたことや、市内の企業内診療所への訪問等により内視鏡検査の件数が増加したことは評価できる。</p> <p>緩和ケアにおいては、入院時に院内共通のスクリーニング指標を用い、早期から患者の苦痛に対して介入ができており、また緩和ケアチームの病棟ラウンド実施件数が増加していることから患者サイドに立った医療の推進に取り組んでいると考える。</p> <p>今後、地域がん診療連携拠点病院の指定を受けるために常勤病理医の確保等に努めるとともに、今後も、がん患者に対しての外科手術・化学療法・放射線治療が合同チームにより適切に行われることを期待する。</p> <p>また、がん相談支援センターの相談件数が前年度から減少していることから、入院患者以外のがん患者に対しても積極的な情報提供を行うとともに、がん患者に質の高い医療を提供できる中心的な病院としての役割を發揮して欲しい。</p>

中期計画	H 2 7 年度計画 《評価項目》	業務実績内容／法人の自己評価・課題等	自己 評価	評価 結果	評価委員会の評価 コメント								
	<p>③ 緩和ケア体制の充実</p> <p>緩和ケア外来の充実を図るとともに、がん治療に携わる医師を対象に疼痛緩和に関する知識や対応方法の習得のための緩和ケア研修を継続して実施する。</p>	<p>●がん相談支援センター相談件数（件）</p> <table border="1" data-bbox="1193 403 1516 541"> <tr> <td>平成27年度</td> <td>2,780</td> </tr> <tr> <td>平成26年度</td> <td>2,997</td> </tr> <tr> <td>平成25年度</td> <td>2,418</td> </tr> <tr> <td>平成24年度</td> <td>2,360</td> </tr> </table> <p>○がん治療の周知・情報提供を行うため、平成28年3月5日に「がん市民公開講座」を開催し、79名の参加者があった。 【テーマ】みんなで支えるがん治療 【会場】三重県立総合医療センター 【内容】 ・院内医師及び外部講師による講演 ・各部門の取組の展示 ・無料がん相談会 等</p> <p>○緩和ケア外来は、緩和ケア専用の診察室を設置し、看護師が同席する等のきめ細かい診療、生活支援を実施した。</p> <p>○また、がんの入院患者の苦痛を早期に把握し対応するため、院内に共通のスクリーニング指標を導入し、治療や療養環境の速やかな調整につなげた。</p> <p>○院内外の医師をはじめとする医療従事者向けに、厚生労働省指定の「緩和ケア研修会」を実施し、がん診療に携わる医師等、医療従事者への緩和ケア知識の習得を行った。</p> <p>●緩和ケア研修会の概要 【開催日】平成27年6月7日、14日 (計2日間) 【内容】緩和ケアに関する知識習得、事例検討など 【修了人員】18名</p>	平成27年度	2,780	平成26年度	2,997	平成25年度	2,418	平成24年度	2,360			
平成27年度	2,780												
平成26年度	2,997												
平成25年度	2,418												
平成24年度	2,360												

中期計画	H27年度計画 《評価項目》	業務実績内容／法人の自己評価・課題等		評価委員会の評価																																	
		自己評価	評価結果	コメント																																	
<p>また、消化器系がんの早期発見・早期治療に貢献できるよう内視鏡室を拡充整備し、検査体制を強化する。</p>	<p>医師、看護師、薬剤師等で構成する「緩和ケアチーム」による病棟ラウンドや院内コンサルを行い、がんに伴う心身の不快を和らげるよう努める。</p> <p>④ 検査体制の強化 消化器系がんの早期発見・早期治療に寄与できるよう、内視鏡センターをはじめとする院内部門と連携し、検査体制を強化する。</p>	<p>○ 北勢地域の医療機関で構成する「北勢緩和ケアネットワーク」に参加し、事務局として事業内容の検討や他関係機関等との調整を行った。また、ネットワークとして、医療関係者向けの研修会を共催することで、医療関係者の緩和ケアの技術習得に努めた。</p> <p>○ 緩和ケアチームによる病棟ラウンドを行い、苦痛に関する新たな指標を活用することで、がん患者の苦痛の軽減に努めた。</p> <p>●緩和ケアチームのメンバー 医師、看護師、薬剤師、臨床心理士 等</p> <p>●病棟ラウンド実施件数（往診件数）</p> <table border="1"> <tr><td>平成27年度</td><td>495</td></tr> <tr><td>平成26年度</td><td>258</td></tr> <tr><td>平成25年度</td><td>257</td></tr> <tr><td>平成24年度</td><td>279</td></tr> </table> <p>○ 定期的に内視鏡センター運営会議を開催し、内視鏡検査に係る課題の抽出や評価を行うなど、検査体制の強化を図った結果、検査件数が大幅に増加した。</p> <p>●内視鏡検査件数（件）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27年度</th> <th>H26年度</th> <th>H25年度</th> <th>H24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上部</td> <td>2,055</td> <td>1,964</td> <td>2,092</td> <td>2,152</td> </tr> <tr> <td>下部</td> <td>1,461</td> <td>1,316</td> <td>1,298</td> <td>1,150</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>537</td> <td>534</td> <td>517</td> <td>484</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>4,053</td> <td>3,814</td> <td>3,907</td> <td>3,786</td> </tr> </tbody> </table> <p>※その他：胆膵、気管支</p>	平成27年度	495	平成26年度	258	平成25年度	257	平成24年度	279		H27年度	H26年度	H25年度	H24年度	上部	2,055	1,964	2,092	2,152	下部	1,461	1,316	1,298	1,150	その他	537	534	517	484	計	4,053	3,814	3,907	3,786		
平成27年度	495																																				
平成26年度	258																																				
平成25年度	257																																				
平成24年度	279																																				
	H27年度	H26年度	H25年度	H24年度																																	
上部	2,055	1,964	2,092	2,152																																	
下部	1,461	1,316	1,298	1,150																																	
その他	537	534	517	484																																	
計	4,053	3,814	3,907	3,786																																	

中期計画	H27年度計画 《評価項目》	業務実績内容／法人の自己評価・課題等		評価委員会の評価																																									
		自己評価	評価結果	コメント																																									
	<p>⑤ 人材育成の推進</p> <p>がん治療体制を充実するため、医師・看護師・医療技術職の各種専門資格の取得や、国立がん研究センター等の先進施設での研修を通しての人材育成と技術の向上を推進する。</p>	<p>○ また、事務局（事務局長、地域連携課長）及び内視鏡センター長による市内企業の診療所への訪問を実施し、2次検診のPR・勧誘を行うなど検診患者の増加に努めた。 【訪問企業】 ・ JSR、味の素、住友電装等、8診療所</p> <p>○ 職員の専門性の向上を図るため、下記の資格取得や研修参加に対して支援を行った。 ・ 緩和医療専門医 ・ 緩和ケア認定看護師 ・ がん相談支援センター相談員基礎研修</p> <p>○ 「国立がん研究センター認定がん相談支援センター」の認定をめざし、職員を関係研修に参加させるなど、必要な体制整備を進めた。</p> <p>○ 「三重県がんにおける質の高い看護師育成研修」（8週間）に看護師1名が参加した。</p>																																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>指 標</th> <th>H22年度実績</th> <th>H28年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>がん手術件数（件）</td> <td>494</td> <td>540</td> </tr> <tr> <td>化学療法患者数（人）</td> <td>4,937</td> <td>5,400</td> </tr> <tr> <td>放射線治療件数（件）</td> <td>4,397</td> <td>4,600</td> </tr> </tbody> </table>	指 標	H22年度実績	H28年度目標	がん手術件数（件）	494	540	化学療法患者数（人）	4,937	5,400	放射線治療件数（件）	4,397	4,600	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指 標</th> <th>H27年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>がん手術件数（件）</td> <td>590</td> </tr> <tr> <td>化学療法患者数（人）</td> <td>4,512</td> </tr> <tr> <td>放射線治療件数（件）</td> <td>4,155</td> </tr> </tbody> </table>	指 標	H27年度目標	がん手術件数（件）	590	化学療法患者数（人）	4,512	放射線治療件数（件）	4,155	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指 標</th> <th>H27年度</th> <th>H26年度</th> <th>H25年度</th> <th>H24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>がん手術件数（件）</td> <td>601</td> <td>620</td> <td>631</td> <td>630</td> </tr> <tr> <td>化学療法患者数（人）</td> <td>3,655</td> <td>3,577</td> <td>4,523</td> <td>4,638</td> </tr> <tr> <td>放射線治療件数（件）</td> <td>4,034</td> <td>3,600</td> <td>4,679</td> <td>4,567</td> </tr> </tbody> </table>	指 標	H27年度	H26年度	H25年度	H24年度	がん手術件数（件）	601	620	631	630	化学療法患者数（人）	3,655	3,577	4,523	4,638	放射線治療件数（件）	4,034	3,600	4,679	4,567			
指 標	H22年度実績	H28年度目標																																											
がん手術件数（件）	494	540																																											
化学療法患者数（人）	4,937	5,400																																											
放射線治療件数（件）	4,397	4,600																																											
指 標	H27年度目標																																												
がん手術件数（件）	590																																												
化学療法患者数（人）	4,512																																												
放射線治療件数（件）	4,155																																												
指 標	H27年度	H26年度	H25年度	H24年度																																									
がん手術件数（件）	601	620	631	630																																									
化学療法患者数（人）	3,655	3,577	4,523	4,638																																									
放射線治療件数（件）	4,034	3,600	4,679	4,567																																									
		<p>○ がん患者各人の状況等を十分考慮して、最適な治療を実施している。</p> <p>○ がん手術件数は、600件台で推移しており、前年度に引き続き中期計画目標(H28年度 540件)を大幅に上回った。</p>																																											

中期計画	H27年度計画 《評価項目》	業務実績内容／法人の自己評価・課題等				評価委員会の評価																									
		自己評価	評価結果	コメント																											
<p>(イ) 脳卒中・心筋梗塞</p> <p>脳卒中、心筋梗塞等については、内科と外科の連携のもと、より安全・確実な治療法を選択し、適切な対応に努める。</p> <p>脳血管救急疾患への迅速な診断、治療をはじめ、頭部外傷、脳腫瘍や頸椎・腰椎変形疾患に対する治療を行う。特に増加傾向にある、発症後3時間以内の治療が望まれる脳梗塞患者に対するt-PA（血栓溶解薬）の急性期静脈内投与や血行再建術等を要する治療に積極的に対応する。</p>	<p>《評価項目No.2》</p> <p>(イ) 脳卒中・心筋梗塞</p> <p>内科系と外科系の連携のもと、より安全・確実な治療法を選択し、適切な対応に努める。</p> <p>① 脳卒中</p> <p>脳血管救急疾患の迅速な診断、治療を行う。特に発症後4.5時間以内の治療が望まれる脳梗塞患者に対するt-PA（血栓溶解薬）の急性期静脈内投与や血行再建術等に積極的に対応する。</p>	<p>○ 化学療法については、診療報酬の改定による抗がん剤の基準が見直されたことや、新薬（経口薬）の使用の増加により、件数が減少傾向にあり、年度計画の目標値を達成できなかったものの、前年度より2%増となった。</p> <p>○ 放射線治療件数についても、年度計画の目標値を達成できなかったものの、患者数の増により前年度より12%増となり、大幅に件数が回復した。</p>	III	III	<p>高度な脳血管救急疾患に対し、迅速に診断・治療を行い、脳卒中以外の脳神経外科分野の疾患に対する治療も積極的に実施した。</p> <p>また、脳卒中患者に対する地域連携クリニカルパスを運用し、回復期リハビリテーション施設への移行等を図った。</p> <p>PCI+冠動脈バイパス手術数及びt-PA+脳血管手術数が目標値と前年度の実績を下回っている。適応にならない脳血管障害が増えているとも考えられるが、引き続き、原因分析を十分に行い、目標達成に向けて努力されたい。</p>																										
		<p>○ t-PAやカテーテルを使用した血栓回収療法等、高度な脳血管救急疾患に対して、迅速に診断し、治療を行った。</p> <p>○ 脳卒中のほか、脳腫瘍、頭部外傷、頸椎・腰椎変形疾患等の神経外科分野の疾患に対する治療も積極的に実施した。</p> <p>●治療件数（件）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27年度</th> <th>H26年度</th> <th>H25年度</th> <th>H24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>脳腫瘍</td> <td>78</td> <td>94</td> <td>88</td> <td>88</td> </tr> <tr> <td>頭部外傷</td> <td>235</td> <td>244</td> <td>230</td> <td>202</td> </tr> <tr> <td>頸椎・腰椎変形疾患</td> <td>157</td> <td>139</td> <td>168</td> <td>168</td> </tr> </tbody> </table> <p>●t-PA実施件数（件）</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>平成27年度</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>平成26年度</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>平成25年度</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>平成24年度</td> <td>7</td> </tr> </tbody> </table>		H27年度		H26年度	H25年度	H24年度	脳腫瘍	78	94	88	88	頭部外傷	235	244	230	202	頸椎・腰椎変形疾患	157	139	168	168	平成27年度	8	平成26年度	9	平成25年度	20	平成24年度	7
	H27年度	H26年度	H25年度	H24年度																											
脳腫瘍	78	94	88	88																											
頭部外傷	235	244	230	202																											
頸椎・腰椎変形疾患	157	139	168	168																											
平成27年度	8																														
平成26年度	9																														
平成25年度	20																														
平成24年度	7																														

中期計画	H27年度計画 《評価項目》	業務実績内容／法人の自己評価・課題等		評価委員会の評価									
		自己評価	評価結果	コメント									
<p>心筋梗塞を代表とする虚血性心疾患については、急性期カテーテル治療の充実を図り、積極的に対応するとともに、冠動脈バイパス術適応例には、低侵襲手術であるオフポンプ（人工心肺を使わない）手術で対応し、高齢者や合併症を有する患者のQOL（生活の質）向上に努める。その他、弁膜疾患、大動脈及び末梢血管の疾患等循環器領域全般においても、適切な対応に努める。</p>	<p>脳卒中を発病した入院患者を中心に、「脳卒中ユニットカンファレンス」（＝神経内科医、脳神経外科医、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、看護師等のメンバー）が対応し、最適な治療方法を検討・実施し、早期の身体機能改善を目指す。</p> <p>また、早期のリハビリテーション、かかりつけ医師への紹介を勧める。 高齢者に対しては、QOL（生活の質）向上を目指した手術方法を勧める。</p> <p>② 心筋梗塞 心筋梗塞を代表とする虚血性心疾患については、急性期カテーテル治療の充実を図り、積極的に対応するとともに、冠動脈バイパス術適応例には、体に優しい低侵襲心臓手術であるオフポンプ（＝人工心肺装置を使わず心臓を止めない）手術での対応に努める。</p>	<p>○ 「脳卒中ユニットカンファレンス」を毎週開催し、脳卒中を発病した入院患者を中心に、早期改善を目指した最適な治療方法の検討を実施している。</p> <p>●脳卒中ユニットカンファレンス（メンバー） ・脳神経外科医師、・神経内科医師 ・リハビリ技師（理学療法士、作業療法士、言語聴覚士） ・薬剤師 ・病棟看護師 ・地域連携課（メディカル・ソーシャル・ワーカー等）</p> <p>○ 脳卒中患者に対する地域連携クリニカルパスの運用等により、急性期を経過した患者の速やかな回復期リハビリテーション施設への移行等を図っている。</p> <p>●地域連携クリニカルパス(脳卒中件数)</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>平成27年度</td> <td>122</td> </tr> <tr> <td>平成26年度</td> <td>118</td> </tr> <tr> <td>平成25年度</td> <td>116</td> </tr> <tr> <td>平成24年度</td> <td>121</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 虚血性心疾患については、オンコールによる365日24時間体制を敷き、ロータブレーター(※)等の使用も含め、カテーテル治療（＝PCI）の充実を図っている。</p> <p>○ 冠動脈バイパス手術適応例には、体に優しい心臓手術を目指し、低侵襲心臓手術であるオフポンプ手術での対応に努めている。</p>	平成27年度	122	平成26年度	118	平成25年度	116	平成24年度	121			
平成27年度	122												
平成26年度	118												
平成25年度	116												
平成24年度	121												

中期計画	H27年度計画 《評価項目》	業務実績内容／法人の自己評価・課題等		評価委員会の評価																															
		自己評価	評価結果	コメント																															
	<p>また、個々の患者の状況等を十分考慮した上で、手術方法の選択を行うとともに、無輸血（＝自己血輸血）手術を推進する等により、高齢者や合併症を有する患者のQOL（生活の質）向上に努める。</p>	<p>※ロータブレード（高速回転冠動脈アテレクトミー）とは、カテーテル先端にダイヤモンドチップをコーティングしたバーが高速回転する機器であり、この活用により、血管内の非常に硬い組織に対する拡張術が可能となる。</p> <p>○ 患者のQOL（クオリティオブライフ）の向上の観点から、個々の患者の状況等を考慮して、自己血輸血手術の推進に努めている。</p> <p>● 単独冠動脈バイパス手術件数（件）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27年度</th> <th>H26年度</th> <th>H25年度</th> <th>H24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>オフポンプ手術数</td> <td>25</td> <td>29</td> <td>35</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>オンポンプ手術数</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>自己血輸血手術数</td> <td>13</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table>		H27年度	H26年度	H25年度	H24年度	オフポンプ手術数	25	29	35	28	オンポンプ手術数	0	0	3	1	自己血輸血手術数	13	8	8	12													
	H27年度	H26年度	H25年度	H24年度																															
オフポンプ手術数	25	29	35	28																															
オンポンプ手術数	0	0	3	1																															
自己血輸血手術数	13	8	8	12																															
<table border="1"> <thead> <tr> <th>指 標</th> <th>H22年度実績</th> <th>H28年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>PCI（経皮的冠動脈形成術）＋冠動脈バイパス手術数（件）</td> <td>217</td> <td>240</td> </tr> <tr> <td>t-PA＋脳血管手術数（件）</td> <td>130</td> <td>180</td> </tr> </tbody> </table>	指 標	H22年度実績	H28年度目標	PCI（経皮的冠動脈形成術）＋冠動脈バイパス手術数（件）	217	240	t-PA＋脳血管手術数（件）	130	180	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指 標</th> <th>H27年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>PCI（経皮的冠動脈形成術）＋冠動脈バイパス手術数（件）</td> <td>212</td> </tr> <tr> <td>t-PA＋脳血管手術数（件）</td> <td>171</td> </tr> </tbody> </table>	指 標	H27年度目標	PCI（経皮的冠動脈形成術）＋冠動脈バイパス手術数（件）	212	t-PA＋脳血管手術数（件）	171	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指 標</th> <th>H27年度</th> <th>H26年度</th> <th>H25年度</th> <th>H24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>PCI（経皮的冠動脈形成術）＋冠動脈バイパス手術数（件）</td> <td>174</td> <td>181</td> <td>201</td> <td>211</td> </tr> <tr> <td>t-PA＋脳血管手術数（件）</td> <td>138</td> <td>152</td> <td>169</td> <td>144</td> </tr> </tbody> </table>	指 標	H27年度	H26年度	H25年度	H24年度	PCI（経皮的冠動脈形成術）＋冠動脈バイパス手術数（件）	174	181	201	211	t-PA＋脳血管手術数（件）	138	152	169	144			
指 標	H22年度実績	H28年度目標																																	
PCI（経皮的冠動脈形成術）＋冠動脈バイパス手術数（件）	217	240																																	
t-PA＋脳血管手術数（件）	130	180																																	
指 標	H27年度目標																																		
PCI（経皮的冠動脈形成術）＋冠動脈バイパス手術数（件）	212																																		
t-PA＋脳血管手術数（件）	171																																		
指 標	H27年度	H26年度	H25年度	H24年度																															
PCI（経皮的冠動脈形成術）＋冠動脈バイパス手術数（件）	174	181	201	211																															
t-PA＋脳血管手術数（件）	138	152	169	144																															

中期計画	H27年度計画 《評価項目》	業務実績内容／法人の自己評価・課題等		評価委員会の評価	
		自己評価	評価結果	コメント	
(ウ) 各診療科の高度化 総合病院として、高水準で良質な医療を提供するために、各々の診療科において、医療の高度化を目指す。	《評価項目No.3》 (ウ) 各診療科における医療の高度化 北勢保健医療圏の中核的な病院として、高水準で良質な医療を提供するため、平成26年度に設置した3.0T(テスラ)のMR I(磁気共鳴画像)をはじめとした高度医療機器の積極的な活用を図る等、各診療科において、医療の高度化を目指す。 さらに、先進医療技術を有する病院において、医師等に研修を受けさせ、そのスキルを習得させる等、医療の高度化に対応した技術の向上を目指す。	○ 各診療科の要望に応じて、医療機器の更新、増設を積極的に行い、各診療科の医療の高度化を促進している。 ・ より浅く広範囲な焼灼凝固が非接触で可能となり、低侵襲な医療を提供できるアルゴンプラズマ凝固装置VI0300Dを購入し、内視鏡センターでの医療の高度化を図った。 ・ 鏡視下手術用カメラヘッドを増設し、当院において年々増加している腹腔鏡下手術に対応できる環境を整備した。 ・ 膝関節 軟骨移植術 (H24.4保険適用)については、平成25年度に当院が東海北陸地域で最初の施設認可を受けたところであり、平成27年度においても引き続き当該医療を提供した。	III	III	3.0T(テスラ)MR Iの本格稼働により、待ち時間が減少したことや、病診連携検査の活用に関わったことは評価できる。 また、内視鏡センターで低侵襲な医療を提供できる装置の購入や年々増加する腹腔鏡下手術への対応を強化できる設備の増設等、医療機器の更新・増設を行うことにより医療の高度化が図られた。 その一方、常に費用対効果の検討も必要である。
		○ 3.0T(テスラ)MR Iの本格稼働に伴い、より詳細な病変(病態)の抽出が可能となるとともに、地域連携検査に大いに活用されるなど、MR I件数が大幅に増加した。 ○ 先進医療技術を有する病院における研修については、平成27年度では、人工膝関節手術に関する技術習得を目的とした海外研修や、高度な気管支鏡治療技術の習得を目的とした国内研修に医師を派遣し、医療技術の向上を図った。			

《大項目》 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

中期目標	第2-1-(1) イ 救急医療 救命救急センターとして、365日24時間体制で重篤な患者に対応すること。また、ヘリポートを活用するなど積極的に広域的な対応を行うこと。
------	---

《評価項目No.4》 救急医療

中期計画	年度計画 《評価項目》	業務実績内容／法人の自己評価・課題等		評価委員会の評価																																																									
		自己評価	評価結果	コメント																																																									
イ 救急医療 三次救急医療の役割を担い、ヘリポートを併設する救命救急センターとして、365日24時間高度・専門的治療が提供できるよう必要な医師の配置に努めるとともに、適切な病床管理により救急医療を提供し、広域的な患者の受け入れに対応する。	《評価項目No.4》 イ 救急医療 三次救急医療に対応できる診療体制を維持し、救命救急センターでは、高度・専門的な救急医療を提供し、重篤な患者を365日24時間体制で受け入れる。 また、一次、二次の役割分担を明確にしながら、地域での救急輪番制における役割を果たす。	○ 三次救急医療の役割を担う診療体制を維持し、救命救急センターとして、救急医療を提供し、365日24時間体制で受け入れている。 ○ 夜間、休日においても、内科系、外科系、産婦人科、小児科医師と臨床研修医（2名）の医師に加え、オンコール体制をとり、常時専門的診療及び手術に対応できる体制を取っている。 ○ 四日市地域の二次救急については、市立四日市病院、四日市羽津医療センターとともに、四日市市及び菰野町の地区内での救急輪番制の役割を果たしている。 また、「四日市市+菰野町」地区外からも、必要に応じて適宜、救急患者を受け入れ、隣接する鈴鹿市からは総数の8%にあたる患者を受け入れている。 ●救急車搬送状況	III	III	救急患者受入数が二次・三次の救急医療の機能分担により減少しているなか、処置ベッドの増床や救急診療体制の維持により救命救急センターへの入院患者数は増加しており、重篤患者に対する高度・専門的医療を提供できた結果と考えられ、評価できる。 今後も、三次救急医療に対応できる体制の維持と強化に努められたい。																																																								
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">H27年度</th> <th colspan="2">H26年度</th> <th colspan="2">H25年度</th> <th colspan="2">H24年度</th> </tr> <tr> <th></th> <th>件数</th> <th>%</th> <th>件数</th> <th>%</th> <th>件数</th> <th>%</th> <th>件数</th> <th>%</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>四日市市+菰野町</td> <td>3,922</td> <td>88.5%</td> <td>3,749</td> <td>89.4%</td> <td>3,961</td> <td>87.2%</td> <td>3,894</td> <td>84.8%</td> </tr> <tr> <td>地区外（鈴鹿市）</td> <td>355</td> <td>8.0%</td> <td>312</td> <td>7.4%</td> <td>377</td> <td>8.3%</td> <td>507</td> <td>11.0%</td> </tr> <tr> <td>地区外（その他）</td> <td>153</td> <td>3.5%</td> <td>133</td> <td>3.2%</td> <td>207</td> <td>4.5%</td> <td>191</td> <td>4.2%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>4,430</td> <td>100.0%</td> <td>4,194</td> <td>100.0%</td> <td>4,545</td> <td>100.0%</td> <td>4,592</td> <td>100.0%</td> </tr> </tbody> </table>			H27年度		H26年度		H25年度		H24年度			件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	四日市市+菰野町	3,922	88.5%	3,749	89.4%	3,961	87.2%	3,894	84.8%	地区外（鈴鹿市）	355	8.0%	312	7.4%	377	8.3%	507	11.0%	地区外（その他）	153	3.5%	133	3.2%	207	4.5%	191	4.2%	計	4,430	100.0%	4,194	100.0%	4,545	100.0%	4,592	100.0%				
	H27年度		H26年度		H25年度		H24年度																																																						
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%																																																					
四日市市+菰野町	3,922	88.5%	3,749	89.4%	3,961	87.2%	3,894	84.8%																																																					
地区外（鈴鹿市）	355	8.0%	312	7.4%	377	8.3%	507	11.0%																																																					
地区外（その他）	153	3.5%	133	3.2%	207	4.5%	191	4.2%																																																					
計	4,430	100.0%	4,194	100.0%	4,545	100.0%	4,592	100.0%																																																					

中期計画	年度計画 《評価項目》	業務実績内容／法人の自己評価・課題等		評価委員会の評価																															
		自己評価	評価結果	コメント																															
		<ul style="list-style-type: none"> ○ 救急患者受入数は、独法化以後、2次及び3次救急医療の機能分担により、減少しており、平成25・26年度に引き続き、目標を下回った。 ○ 一方、救急車での搬送患者数は、処置ベッドを増床したこと等により、件数(4,430人)、応需率(87.5%)とも前年度より増加した。 ○ 救命救急センター入院患者数(5,795人)は、重篤な患者に対し、高度・専門的な医療を提供した結果、前年度対比3.7%増となり、年度計画目標(5,180件)を大幅に上回った。 																																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th>指 標</th> <th>H22年度実績</th> <th>H28年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>救命救急センター入院患者数(人)</td> <td>4,503</td> <td>5,180</td> </tr> <tr> <td>救急患者受入数(人)</td> <td>14,374</td> <td>14,700</td> </tr> </tbody> </table>	指 標	H22年度実績	H28年度目標	救命救急センター入院患者数(人)	4,503	5,180	救急患者受入数(人)	14,374	14,700	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指 標</th> <th>H27年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>救命救急センター入院患者数(人)</td> <td>5,180</td> </tr> <tr> <td>救急患者受入数(人)</td> <td>13,936</td> </tr> </tbody> </table>	指 標	H27年度目標	救命救急センター入院患者数(人)	5,180	救急患者受入数(人)	13,936	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指 標</th> <th>H27年度</th> <th>H26年度</th> <th>H25年度</th> <th>H24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>救命救急センター入院患者数(人)</td> <td>5,795</td> <td>5,589</td> <td>5,427</td> <td>5,106</td> </tr> <tr> <td>救急患者受入数(人)</td> <td>13,104</td> <td>13,125</td> <td>13,887</td> <td>14,751</td> </tr> </tbody> </table>	指 標	H27年度	H26年度	H25年度	H24年度	救命救急センター入院患者数(人)	5,795	5,589	5,427	5,106	救急患者受入数(人)	13,104	13,125	13,887	14,751			
指 標	H22年度実績	H28年度目標																																	
救命救急センター入院患者数(人)	4,503	5,180																																	
救急患者受入数(人)	14,374	14,700																																	
指 標	H27年度目標																																		
救命救急センター入院患者数(人)	5,180																																		
救急患者受入数(人)	13,936																																		
指 標	H27年度	H26年度	H25年度	H24年度																															
救命救急センター入院患者数(人)	5,795	5,589	5,427	5,106																															
救急患者受入数(人)	13,104	13,125	13,887	14,751																															

《大項目》 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

中期目標	第2-1-(1)
	ウ 小児・周産期医療 小児・周産期医療の提供を確保するため、他の医療機関と連携及び機能分担を行いながら、地域周産期母子医療センターとしての機能を充実すること。

《評価項目No.5》 小児・周産期医療

中期計画	年度計画 《評価項目》	業務実績内容／法人の自己評価・課題等		評価委員会の評価																						
		自己評価	評価結果	コメント																						
ウ 小児・周産期医療 北勢地域の周産期医療提供体制の充実が課題となっていることから、NICU、GCUの増床等の施設の整備を進め、周産期における母体の救急搬送や新生児の受入に十分対応できる地域周産期母子医療センターの機能拡充を図る。 さらに、その機能拡充に対応可能な時間外検査の充実を図る。	<p>《評価項目No.5》</p> <p>ウ 小児・周産期医療</p> <p>地域周産期母子医療センターとして、地域の分娩取扱機関及び他のセンターとの連携を強化し、ハイリスクの妊婦・胎児及び新生児を積極的に受け入れるとともに、総合的、専門的な医療を提供する。</p> <p>拡充整備された「周産期母子センター」を適切に運用するとともに、MFICU（母体・胎児集中治療室）や母体・胎児診断センターを活用することにより、小児・周産期医療の質・量のさらなる向上を図る。</p>	<p>○ 北勢地域の周産期医療の需要に応えるため、NICU、GCU及びMFICUを適正に運用し、分娩件数の増加、ハイリスク分娩の受入に取り組むなど、小児・周産期医療の質の向上に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●NICU（新生児特定集中治療室） <ul style="list-style-type: none"> ・6床（H25年4月 3床増床） ●GCU（継続保育室） <ul style="list-style-type: none"> ・12床（H25年4月 5床増床） ●MFICU（母体・胎児集中治療室） <ul style="list-style-type: none"> ・5床（H26年2月設置） <p>○ ハイリスク分娩の積極的な受入に努めたものの、分娩数の減によりNICU患者数は前年度より減少した。</p>	III	III	NICU利用者延べ患者数は減少しているものの、出生率の低下を考慮するとその機能を果たしており、地域の周産期医療を支えていると評価できる。 今後も、拡充された「周産期母子医療センター」を積極的に運用するため、地域の分娩取扱機関との連携強化を行い、引き続きハイリスク分娩の積極的な受入に努め、地域の周産期医療の需要に応じていくことが必要である。																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>H22年度実績</th> <th>H28年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>NICU利用延べ患者数（人） 【新生児特定集中治療室】</td> <td>716</td> <td>1,640</td> </tr> </tbody> </table>	指標	H22年度実績	H28年度目標	NICU利用延べ患者数（人） 【新生児特定集中治療室】	716	1,640	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>H27年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>NICU利用延べ患者数（人） 【新生児特定集中治療室】</td> <td>1,488</td> </tr> </tbody> </table>	指標	H27年度目標	NICU利用延べ患者数（人） 【新生児特定集中治療室】	1,488	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27年度</th> <th>H26年度</th> <th>H25年度</th> <th>H24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>NICU利用延べ患者数（人） 【新生児特定集中治療室】</td> <td>1,188</td> <td>1,359</td> <td>1,231</td> <td>1,015</td> </tr> </tbody> </table>		H27年度	H26年度	H25年度	H24年度	NICU利用延べ患者数（人） 【新生児特定集中治療室】	1,188	1,359	1,231	1,015				
指標	H22年度実績	H28年度目標																								
NICU利用延べ患者数（人） 【新生児特定集中治療室】	716	1,640																								
指標	H27年度目標																									
NICU利用延べ患者数（人） 【新生児特定集中治療室】	1,488																									
	H27年度	H26年度	H25年度	H24年度																						
NICU利用延べ患者数（人） 【新生児特定集中治療室】	1,188	1,359	1,231	1,015																						

《大項目》 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

中期目標	第2-1-(1) エ 感染症医療 感染症指定医療機関、エイズ治療拠点病院としての役割を果たすとともに、新型インフルエンザ等の新たな感染症に率先して対応すること。
------	--

《評価項目No.6》 感染症医療

中期計画	年度計画 《評価項目》	業務実績内容／法人の自己評価・課題等	評価委員会の評価		
			自己評価	評価結果 コメント	
エ 感染症医療 第二種感染症指定医療機関として、新興・再興感染症の発生に備え、PPE（個人防護具）等必要な資器材を確保し、新型インフルエンザ等の新たな感染症に対して、専門的な医療を提供する。	《評価項目No.6》 エ 感染症医療 第二種感染症指定医療機関として、新型インフルエンザ等の新たな感染症に対して、専門的な医療を提供するため、三重県・四日市市の行動計画と整合性をもつ、治療体制の確保を目的とした「診療継続計画」を策定していく。 その計画内容について、研修会等により職員への周知を図り、必要に応じて関係機関と協力した訓練を実施する。 さらに、新型インフルエンザ以外も含めて「感染防止マニュアル」を見直し、適宜改訂をする。	（新型インフルエンザ対策） ○ 「新型インフルエンザ等発生時における診療継続計画（BPC）（案）」（平成26年度作成）について、院内感染防止委員会で審議・決定するとともに、院内掲示板への掲載等により、職員への周知を図った。 ※なお、指定地方公共機関として、H26年度に策定した「新型インフルエンザ等対策に関する業務計画」についても、県、四日市市に提出したほか、当院ホームページ（法人情報欄）にて公表した。 （エボラ出血熱、MERSへの対応） ○ エボラ出血熱流行に関する対応については、平成26年度に関係機関との調整を図ったが、平成27年度では、終息宣言に伴い、終了・継続対応に関して院内へ情報を配信した。 ○ また、中東呼吸器症候群（MERS）の国内発生時の対応について、厚労省からの情報提供や協力依頼を受け、検査、患者搬送、入院措置等が迅速に行えるよう対応フローを作成したほか、資材の準備、関係機関との調整、院内への周知等を実施した。 ● 患者受入れ時の対応フローの作成 ・平成27年6月5日暫定版作成 ・平成27年6月12日 改訂 ● 個人防護具（PPE）着脱マニュアルの見直し、PPEの準備及び関係職員への着脱訓練の実施	IV	III	新型インフルエンザ等新興感染症発生時の対応フローの作成、資材等の準備、関係機関との調整、院内への周知等、日頃の備えや対策を見直し、情報発信を行うなど適宜対応しており評価できる。 今後も県の中核病院として新たな感染症への対応に的確に取り組むとともに、院内感染防止対策においても感染管理認定看護師が中心となって、感染防止対策に関する研修への更なる参加率向上の工夫やICT活動を積極的に推進していただきたい。

中期計画	年度計画 《評価項目》	業務実績内容／法人の自己評価・課題等		評価委員会の評価 コメント
		自己評価	評価結果	
		<ul style="list-style-type: none"> ●MER Sに係る情報交換会（県主催）へのICT（感染対策チーム）メンバーの参加（H27.7.2） ※感染対策室長、感染症専門医、細菌検査技師 ●四日市保健所からの受診要請に対する患者の受入れ及び受診の準備 <ul style="list-style-type: none"> ・受入れ準備（8月） ・受診準備（12月末～1月初旬） ○このほか、随時、感染に関する最新の情報を来院者等に発信するとともに、輸入感染症の院内感染拡大防止への協力を依頼するポスターの作成し、啓発を図った。 <p style="text-align: center;">（院内の感染防止対策等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○院内の感染管理に関する情報の提供やデータのフィードバックを行い、安全な療養環境を確保するとともに、早期発見、介入による感染症アウトブレイクの防止に努めた。 ○「感染防止マニュアル」については、医療環境の変化に対応し、以下の見直しを適宜行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物一覧表 ・器具の洗浄及び消毒一覧表 ・感染症法対象疾患（ジカウイルス感染症追加）の改訂 ○三重県感染対策支援ネットワーク運営会議に参加し、県が実施する感染対策の支援・協力について、検討・調整を行った。今後、改善支援班、相談支援班、微生物検査班など、ネットワーク運営に協力することとした。 <ul style="list-style-type: none"> ●三重県感染対策支援ネットワーク （Mie Infection Control Network : MieICNet） <ul style="list-style-type: none"> ・三重県内の医療機関が行う感染対策の取り組みを支援するとともに、アウトブレイク発生時などの緊急時に医療機関に対して的確な支援を行うため、平成27年10月に設置された。 		

中期計画	年度計画 《評価項目》	業務実績内容／法人の自己評価・課題等		評価委員会の評価 コメント
		自己評価	評価結果	
<p>また、エイズ治療拠点病院として、H I V感染症の治療を行うとともに、相談・検査機関との連携を図り、総合的、専門的な医療を提供する。</p>	<p>また、エイズ治療拠点病院として、H I V感染症の治療を行うとともに、相談・検査機関との連携を図り、患者に対する総合的、専門的な医療を提供する。</p>	<p>○ また、当院職員を対象に下記の感染防止対策に関する研修を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「あなたの手洗いは大丈夫？」 <ul style="list-style-type: none"> ・H27年10月～H28年2月 ・参加者数 579人 (84.9%) ・手洗いキットを使用した実技演習 ● 「E S B L / A m p ・ C産生菌って何だ」 <ul style="list-style-type: none"> ・H28年2～3月 ・参加者 571人 (参加率73.9%) <p>○ I C Tのメンバー（3名以上）による院内ラウンド（巡回）を毎週木曜日に実施した。</p> <p>（エイズ治療拠点病院の取組）</p> <p>○ 毎月1回「H I V診療委員会」を開催し、患者の受診動向について情報共有している。</p> <p>○ 三重県エイズ診療拠点病院連絡会議に参加し、H I V針刺しの感染予防内服プロトコルについて、県、管轄保健所担当者との検討を踏まえ、マニュアルを改訂した。また、歯科口腔外科との連携について、県内の現状報告と課題について協議した。（H27.7.2）</p> <p>○ このほか、県からのA I D S患者の受け入れ困難事例に係る当院での受診要請について、担当医師、関連診療科医師との調整の結果、患者の受け入れを決定した。</p> <p>○ 院内講演会を下記のとおり開催した。 【日時】平成28年1月18日 【演題】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 「H I V感染症の学び直し」 （薬剤師 森 尚義） 2) 「データでみる当院におけるH I V患者の傾向」 3) 「H I V患者の看護と感染対策」 （感染管理認定看護師 岡本真一） 		

《大項目》 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

中期目標	第2-1-(2) 信頼される医療の提供 診療にあたっては、患者との信頼関係の構築に努め、ニーズを踏まえた最適な医療を提供すること。 また、クリニカルパスの導入を推進するとともに、インフォームドコンセントの徹底やセカンドオピニオンの整備など体制の充実を図り、患者の視点に立って信頼される医療を推進すること。
------	--

《評価項目No.7～9》 信頼される医療の提供

中期計画	年度計画 《評価項目》	業務実績内容／法人の自己評価・課題等		評価委員会の評価									
		自己評価	評価結果	コメント									
(2) 信頼される医療の提供 患者との信頼構築に努め、ニーズを踏まえた最適な医療を提供するとともに、より一層県民に信頼される質の高い医療を提供する。	(2) 信頼される医療の提供 患者との信頼構築に努め、ニーズを踏まえた最適な医療を提供するとともに、より一層県民に信頼される質の高い医療を提供する。	○ 患者との十分なコミュニケーションを踏まえ、患者のニーズに対応した最適な医療を提供するよう努めている。 ● 患者アンケート調査での「医師」満足度(%) <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr><td>平成27年度</td><td>88.6</td></tr> <tr><td>平成26年度</td><td>87.3</td></tr> <tr><td>平成25年度</td><td>86.8</td></tr> <tr><td>平成24年度</td><td>84.2</td></tr> </table>	平成27年度	88.6	平成26年度	87.3	平成25年度	86.8	平成24年度	84.2			
平成27年度	88.6												
平成26年度	87.3												
平成25年度	86.8												
平成24年度	84.2												
		○ 医事経営課（病歴管理室）において、診療記録等医療情報の質的・量的点検を実施し、2週間以内のサマリー（退院時要約）完成率が、ほぼ100%となった。 ※サマリーとは、入院から退院までの経過・治療内容を要約し、最終診断名と転帰が記載されたもの											

中期計画	年度計画 《評価項目》	業務実績内容／法人の自己評価・課題等		評価委員会の評価																		
		自己評価	評価結果	コメント																		
<p>そのため、治療内容とタイムスケジュールを明確に示すことで患者の不安を解消するとともに、治療手順の標準化、平均在院日数の適正化など、最適な医療を提供するクリニカルパスを推進する。</p>	<p>《評価項目No.7》 ア クリニカルパスの推進 治療内容とタイムスケジュールを明確に示すことで患者の不安を解消するとともに、治療手順の標準化、平均在院日数の適正化など、最適な医療を提供するクリニカルパスを推進する。</p>	<p>○ クリニカルパスの精度の向上に努めたが、緊急入院患者数が増えたことにより利用率は38.3%となり、前年度よりやや低下した。</p> <p>○ 地域における慢性褥瘡外科的治療を目的とした短期入院については、医師・認定看護師・管理栄養士・地域連携課におけるチーム医療により、効率的な運用を図った。</p>	III	III	<p>救命救急センター入院患者数は増加しており、緊急入院患者の病態が多様化・複雑化しているなかで、限られた在院日数内で治療を行っていることは、クリニカルパスが一定数利用され、利用率の低下が抑えられていることから評価できるとの考え方もある。その一方、病院としてクリニカルパスを推進していることからクリニカルパス利用率が上がらない原因が他にもないのか探って欲しい。</p> <p>クリニカルパスの利用率向上のための積極的な取組を進め、更なる患者との信頼関係に努め、質の高い医療、看護の提供に努められることを期待したい。</p>																	
			<table border="1"> <thead> <tr> <th>指 標</th> <th>H22年度実績</th> <th>H28年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クリニカルパス利用率 (%)</td> <td style="text-align: center;">26.7</td> <td style="text-align: center;">40</td> </tr> </tbody> </table>	指 標	H22年度実績	H28年度目標	クリニカルパス利用率 (%)	26.7	40	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指 標</th> <th>H27年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クリニカルパス利用率 (%)</td> <td style="text-align: center;">40.0</td> </tr> </tbody> </table>	指 標	H27年度目標	クリニカルパス利用率 (%)	40.0	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指 標</th> <th>H27年度</th> <th>H26年度</th> <th>H25年度</th> <th>H24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クリニカルパス利用率 (%)</td> <td style="text-align: center;">38.3</td> <td style="text-align: center;">39.1</td> <td style="text-align: center;">40.5</td> <td style="text-align: center;">38.6</td> </tr> </tbody> </table>	指 標	H27年度	H26年度	H25年度	H24年度	クリニカルパス利用率 (%)	38.3
指 標	H22年度実績	H28年度目標																				
クリニカルパス利用率 (%)	26.7	40																				
指 標	H27年度目標																					
クリニカルパス利用率 (%)	40.0																					
指 標	H27年度	H26年度	H25年度	H24年度																		
クリニカルパス利用率 (%)	38.3	39.1	40.5	38.6																		

中期計画	年度計画 《評価項目》	業務実績内容／法人の自己評価・課題等				評価委員会の評価																	
		自己評価	評価結果	コメント																			
<p>また、検査及び治療の選択における患者の自己決定権を尊重し、疾病の特性、医療行為の内容と効果及び副作用・リスクに関して十分に説明し、理解を得るインフォームドコンセントを一層徹底する。セカンドオピニオンについても、要望に対して的確に対応する。</p>	<p>《評価項目No.8》 イ インフォームドコンセントの徹底</p> <p>検査及び治療の選択における患者の自己決定権を尊重し、疾病の特性、医療行為の内容と効果及び副作用・リスクに関して、患者が理解できる言葉で十分に説明し、理解を得るインフォームドコンセントを一層徹底し、最適な医療を提供する。</p> <p>また、セカンドオピニオンについて、当院の患者が他院での受診を希望する場合は適切に対応し、医療への信頼性の向上に努める。</p>	<p>●患者アンケート調査での「医師」満足度(%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>質問／年度</th> <th>H27年度</th> <th>H26年度</th> <th>H25年度</th> <th>H24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>話を十分聞いてくれたか</td> <td>89.9</td> <td>88.5</td> <td>86.4</td> <td>84.8</td> </tr> <tr> <td>説明を十分してくれたか</td> <td>87.4</td> <td>86.5</td> <td>86.3</td> <td>83.7</td> </tr> </tbody> </table>				質問／年度	H27年度	H26年度	H25年度	H24年度	話を十分聞いてくれたか	89.9	88.5	86.4	84.8	説明を十分してくれたか	87.4	86.5	86.3	83.7	IV	IV	<p>患者アンケートでの医師の満足度が向上しており、インフォームドコンセントが徹底され、患者と医師との信頼関係の積み重ねと考えられ評価できる。</p> <p>また、セカンドオピニオンにも十分に対応しており、地域において信頼される病院としての位置づけであると評価でき、対応件数の更なる増加に努められたい。</p>
		質問／年度	H27年度	H26年度	H25年度	H24年度																	
話を十分聞いてくれたか	89.9	88.5	86.4	84.8																			
説明を十分してくれたか	87.4	86.5	86.3	83.7																			
<p>○セカンドオピニオンについては、院内の掲示やホームページ、各種案内において対応を明記している。</p> <p>○さらに、各診療の際に、他院へのセカンドオピニオンを積極的に勧めるよう働きかけている。</p> <p>○セカンドオピニオンにおける他院からの希望者、当院の希望者には、手続、費用面等についても丁寧な説明を実施している。</p> <p>●セカンドオピニオン対応件数【外来】 (件数)</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>平成27年度</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>平成26年度</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>平成25年度</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>平成24年度</td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table>				平成27年度	13	平成26年度	26	平成25年度	7	平成24年度	12												
平成27年度	13																						
平成26年度	26																						
平成25年度	7																						
平成24年度	12																						

中期計画	年度計画 《評価項目》	業務実績内容／法人の自己評価・課題等		評価委員会の評価						
		自己評価	評価結果	コメント						
さらに、診療科目の充実・拡充を図り、総合病院として患者から信頼される医療を提供することを目指す。	《評価項目No.9》 ウ 診療科目の充実 常勤医が不在の診療科は無くなったため、今後は診療科の維持、充実を図っていく。	○ 標榜診療科については、全ての科で常勤医を配置している。 ○ 診療機能のさらなる充実を図るため、新たに救急科及び北勢呼吸器センターを設置した。北勢呼吸器センターについては、外来診療室の増設（2診→4診）するための内科外来と精神科外来との配置替え及び必要な医療機器の整備を行った。 ○ また、総合内科、消化器外科、乳腺外科の設置（H28.4.1稼働）を決定し、それぞれの科の医師の確保に努めるとともに、外来の窓口業務及び診療業務の体制整備、医事事務の調整を行った。	IV	IV	患者の多様なニーズに対し、北勢呼吸器センター・消化器外科・乳腺外科を開設し、すべてに常勤医を配置できたことは評価できる。 また、受診すべき診療科が不明な患者に対して総合内科を設置したことも大いに評価でき、診療科間での密接な連携に期待する。 今後も診療科の維持、充実に積極的に取り組んでいただきたい。					
						●医師の現在員数（人） ※4月1日現在 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28年度</th> <th>H27年度</th> <th>H26年度</th> <th>H25年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現在員数</td> <td>104</td> <td>100</td> <td>102</td> <td>94</td> </tr> </tbody> </table>		H28年度	H27年度	H26年度
	H28年度	H27年度	H26年度	H25年度						
現在員数	104	100	102	94						

《大項目》 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

中期目標	第2-1-(3) 医療安全対策の徹底 医療事故を未然に防ぎ、患者が安心して治療に専念できる環境を提供するため、医療安全対策を徹底すること。
------	--

《評価項目No.10》 医療安全対策の徹底

中期計画	年度計画 《評価項目》	業務実績内容／法人の自己評価・課題等	評価委員会の評価																					
			自己評価	評価結果 コメント																				
(3) 医療安全対策の徹底 病院におけるインシデントやアクシデントに関する情報の収集・分析の徹底を図り、その結果を全職員で情報共有するとともに医療安全研修の実施などにより、医療安全に対する意識向上と再発防止に努める。	<p>《評価項目No.10》</p> <p>(3) 医療安全対策の徹底</p> <p>院内掲示板等の活用により、職員の医療安全対策に対する意識向上を図る。 引き続きインシデントやアクシデントの収集・分析を行い、職員に周知徹底を行うとともに医療安全研修を実施して再発防止に努めていく。 また、研修に参加できなかった職員に対しても各部門のリスクマネージャーと連携して研修内容の伝達を行う。</p>	<p>○ 患者誤認防止キャンペーンや指差し呼称ラウンドを実施し、医療事故を未然に防止する環境づくりに努めた。</p> <p>● 患者誤認防止キャンペーン 平成27年12月～平成28年2月において 7日間実施</p> <p>● 指差し呼称ラウンド 随時実施</p> <p>○ 毎月開催される「リスクマネジメント部会」において、インシデント、アクシデントの情報を収集・分析し、「医療安全管理委員会」に報告するとともに、注意事例に係る予防策の共有を図っている。</p> <p>併せて、これらの情報を「Med Safe News」（医療安全ニュース）として、全職員に周知することにより、意識向上と再発防止に努めている。</p> <p>● インシデント・アクシデント件数（件）</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27年度</th> <th>H26年度</th> <th>H25年度</th> <th>H24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>インシデント</td> <td>1,628</td> <td>1,511</td> <td>1,329</td> <td>1162</td> </tr> <tr> <td>アクシデント</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>8</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,634</td> <td>1,517</td> <td>1,337</td> <td>1167</td> </tr> </tbody> </table>		H27年度	H26年度	H25年度	H24年度	インシデント	1,628	1,511	1,329	1162	アクシデント	6	6	8	5	計	1,634	1,517	1,337	1167	III	III インシデントレポートが増加している一方、アクシデントレポートが比較的増加していないことは医療安全に対する職員の意識が向上していると考えられ評価できる。 しかしながら、組織全体で医療安全対策に取り組む姿勢が弱いと感じられ、職員の研修参加への働きかけが十分ではない。研修不参加者への情報共有も必要であるが職員が研修に参加できる体制づくりを行っていただきたい。
	H27年度	H26年度	H25年度	H24年度																				
インシデント	1,628	1,511	1,329	1162																				
アクシデント	6	6	8	5																				
計	1,634	1,517	1,337	1167																				

中期計画	年度計画 《評価項目》	業務実績内容／法人の自己評価・課題等		評価委員会の評価 コメント
		自己 評価	評価 結果	
<p>さらに、医療事故を未然に防ぎ、患者が安心して治療に専念できる環境を提供するなど、医療安全対策を徹底する。</p>	<p>医療の安全のために制定された「院内感染対策指針」や「医療安全管理指針」を適宜改訂するとともに、その遵守に努める。</p>	<p>○ 平成27年10月から運用が開始された「医療事故調査制度」に的確に対応するとともに、職員の医療安全意識のより一層の向上を図るため、院内研修会を開催した。</p> <p>○ 研修に使用した資料については、各所属に配布したほか、研修時の様子を録画したDVDを、院内の共有フォルダ内で閲覧できるようにし、研修不参加者への情報共有を図った。</p> <p>● 医療安全に関する研修実績</p> <p>a) 接遇・医療安全研修 【日時】 平成27年9月18日 【内容】 接遇ビデオ「ある看護師と患者の1日」、寸劇「医療事故調査制度に該当する事例が起きたら」</p> <p>b) 医療安全研修 【日時】 平成27年10月29日 【内容】 児童虐待の未然防止及び早期発見・早期対応を図るための医学的研修</p>		

《大項目》 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

中期目標	第2-1-(4) 患者・県民サービスの向上 診察、検査、会計等にかかる待ち時間の改善、プライバシーの確保に配慮した院内環境の整備、相談体制の充実など、病院が提供するサービスについて患者の利便性の向上を図ること。 また、患者や家族、県民から信頼を得られるよう、職員の意識を高め接遇の向上に取り組むこと。
------	--

《評価項目No.1 1～1 5》 患者・県民サービスの向上

中期計画	年度計画 《評価項目》	業務実績内容／法人の自己評価・課題等		評価委員会の評価	
		自己評価	評価結果	コメント	
(4) 患者・県民サービスの向上 定期的に患者満足度調査を実施し、課題等を把握して対策を講じ、患者の利便性や満足度の向上を図るとともに、電子カルテ導入によるペーパーレス化、フィルムレス化や他科の診療情報の共有など医療体制の充実や業務の効率化を図りつつ、診療予約制度の効率的な運用などを行い、待ち時間の短縮に努める。	(4) 患者・県民サービスの向上 《評価項目No.1 1》 ア 患者満足度の向上 入院患者・外来患者を対象に患者満足度調査を年1回実施し、その結果の分析により把握した課題等への対策を病院の管理・運営に反映させ、患者の利便性や満足度の向上を図る。	(患者アンケート調査) ●入院：平成27年9月 (回答者数546名) ●外来：平成27年10月22日、23日 (回答者数428名) ○患者満足度の指標である「当院推薦」に関しては、入院85.7%、外来81.4%となり、年度目標に対して4.4ポイント下回ったものの、依然として高い数値で安定している。 ○患者アンケートの結果及び「みなさまの声」による意見・要望等については、定期的に会議で検討し、関連部門へ改善を促すことで、患者満足度の向上に努めた。 ●改善例 ・コンビニエンスストアの営業開始(H27年12月開店) ・再診予約受付機稼働開始時間を8時から開始するよう変更し、一般受付開始時間前からフロアマネージャーを配置した。	IV	III	再診予約受付機の開始時間を早め、一般受付開始時間前からフロアマネージャーを配置するなど、患者の利便性の向上が図られた。 以前より要望が多かった院内へのコンビニエンスストアの設置を実現し、12月に営業を開始させたが、患者アンケート調査では、実施時期により結果に反映できなかったため、来年のアンケート調査を期待したい。 患者アンケートでの患者満足度は1つの指標に過ぎず、「みなさまの声」に対しても積極的に応えていくことが満足度の向上につながる。 また、満足度の低い病棟と満足度が低下した病棟についての原因究明を図り、改善に努められたい。

中期計画			年度計画 《評価項目》		業務実績内容／法人の自己評価・課題等		評価委員会の評価 コメント																	
						自己 評価	評価 結果																	
指 標	H22年度実績	H28年度目標	指 標	H27年度目標	指 標	H27年度	H26年度	H25年度	H24年度															
患者満足度 (%)	86.7	90	患者満足度 (%)	88.0	患者満足度 (%)	83.6	86.3	87.1	84.3															
			《評価項目No.1 2》 イ 待ち時間の短縮 診察における待ち時間の短縮を図るため、人材配置の効率化等に努める。 また、会計窓口での時間短縮や利便性向上のため、カード決済や自動精算機の利用率の向上を図る。				IV	III	会計窓口やフロアマネージャーによる積極的な働きかけの結果、クレジットカードや自動精算機の利用が増え、時間短縮や利便性の向上につながっているが、自動精算機利用率はほぼ横ばい状態が続いており、これ以上の利用率増加は難しいところである。その他の違った方法で待ち時間の短縮方法を考案されることを期待する。 また、どの程度の待ち時間短縮ができたのかの改善状況について数値的なものがないため、患者の評価を検証する必要がある。															
					●クレジットカード利用実績																			
					<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成27年度</th> <th>平成26年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>18,604</td> <td>16,004</td> <td>14,057</td> <td>11,501</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td>293,514千円</td> <td>262,576千円</td> <td>235,498千円</td> <td>220,756千円</td> </tr> </tbody> </table>			平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	件数	18,604	16,004	14,057	11,501	金額	293,514千円	262,576千円	235,498千円	220,756千円			
	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度																				
件数	18,604	16,004	14,057	11,501																				
金額	293,514千円	262,576千円	235,498千円	220,756千円																				
					●自動精算機利用実績 (%)																			
					<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成27年度</th> <th>平成26年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用率</td> <td>85.0</td> <td>86.0</td> <td>85.7</td> <td>54.9</td> </tr> </tbody> </table>			平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	利用率	85.0	86.0	85.7	54.9								
	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度																				
利用率	85.0	86.0	85.7	54.9																				

中期計画	年度計画 《評価項目》	業務実績内容／法人の自己評価・課題等		評価委員会の評価											
		自己評価	評価結果	コメント											
<p>また、患者のプライバシー確保に配慮し、個人情報の保護対策等と院内環境の整備に努める。</p>	<p>《評価項目No.13》 ウ 個人情報の保護 患者のプライバシーに配慮し、個人情報の保護に関する意識向上のための研修を実施し、院内環境の整備に努める。 また、カルテ開示やその他の情報公開請求に対する医療情報提供は適切に行う。</p>	<p>○ 法人職員に対して情報公開及び個人情報保護に関する研修を実施した。</p> <p>● 研修概要 a) 新規採用者全体研修 【日時】 平成27年4月2日 【対象】 新規採用者 【内容】 患者情報の取扱等</p> <p>b) 個人情報保護研修 【日時】 平成27年11月16, 17, 18日 【対象】 全職員 【内容】 全職員を対象とする人権・交通安全・個人情報保護研修の中で個人情報保護制度について研修を実施し、のべ721名が参加した。</p> <p>○ 個人情報保護条例に基づき、請求者が求める情報を聴き取り、全ての請求に適切に対応することができた。</p> <p>● カルテ開示請求件数・開示件数（件）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成27年度</th> <th>平成26年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>請求・開示件数</td> <td>128</td> <td>101</td> <td>84</td> <td>72</td> </tr> </tbody> </table>		平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	請求・開示件数	128	101	84	72	<p>III</p>	<p>III</p>	<p>カルテ開示件数が増え、開示請求に積極的に対応できていることは評価できる。 また、医療の質の観点から、適切に開示できるよう記載内容の質向上に努められたい。</p>
				平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度								
請求・開示件数	128	101	84	72											

中期計画	年度計画 《評価項目》	業務実績内容／法人の自己評価・課題等		評価委員会の評価																										
		自己評価	評価結果	コメント																										
<p>さらに、退院相談、医療費・医療扶助等の相談や、医療・健康に関する情報提供など、相談支援体制を充実させる。</p>	<p>《評価項目No.14》 エ 相談体制の充実 地域連携課「かけはし」において、退院相談、医療扶助制度・福祉施設等の相談、医療・健康に関する情報提供などについて、入院初期から対応し、相談支援体制の充実を図る。</p>	<p>○ 地域連携課において、相談等各種のきめ細かな対応を行った。また、当院における退院支援のシステムが定着しており、十分な相談体制を維持するとともに、病棟との役割分担が適正に機能した。 この結果、着実に相談件数が増加するとともに、紹介患者数が大幅に増加した。また、退院調整患者数も順調に推移した。 また、退院支援に主治医が同席することで、患者家族や地域の関係者から「安心して相談できる」との評価が得られた。 ○ 服薬指導室及び栄養指導室を、売店跡地に移動することを決定し、指導・相談環境の充実を図り、患者の利便性の向上につなげることにした。</p> <p>○ 在宅移行の割合については、入院時からの円滑な退院支援を実施する体制が整備された一方で、患者をとりまく経済環境や家族構成等の要因も影響し、概ね30%台で推移している。</p> <p>●相談件数、在宅移行の割合等の推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27年度</th> <th>H26年度</th> <th>H25年度</th> <th>H24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談件数（件）</td> <td>4,491</td> <td>4,526</td> <td>3,726</td> <td>4,656</td> </tr> <tr> <td>紹介患者数（人）</td> <td>9,173</td> <td>8,034</td> <td>7,297</td> <td>6,737</td> </tr> <tr> <td>退院調整患者数（人）</td> <td>959</td> <td>994</td> <td>904</td> <td>935</td> </tr> <tr> <td>在宅移行の割合（%）</td> <td>34.1</td> <td>32.8</td> <td>38.4</td> <td>36.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>※在宅移行の割合（%）＝在宅移行者数／転院調整患者数×100</p>		H27年度	H26年度	H25年度	H24年度	相談件数（件）	4,491	4,526	3,726	4,656	紹介患者数（人）	9,173	8,034	7,297	6,737	退院調整患者数（人）	959	994	904	935	在宅移行の割合（%）	34.1	32.8	38.4	36.5	<p>IV</p>	<p>IV</p>	<p>紹介患者数は大幅に増加し、退院調整患者数も順調に推移しており、相談体制が機能し、地域医療機関や住民に対しての信頼関係が深まってきていると考えられる。この信頼を維持し、患者や家族の立場に立った相談体制を維持していただきたい。 また相談件数はわずかに減少しているものの、在宅移行率が上昇していることから個々の症例で患者及び家族の要望を十分に聞いている結果と思われる評価できる。</p>
				H27年度	H26年度	H25年度	H24年度																							
相談件数（件）	4,491	4,526	3,726	4,656																										
紹介患者数（人）	9,173	8,034	7,297	6,737																										
退院調整患者数（人）	959	994	904	935																										
在宅移行の割合（%）	34.1	32.8	38.4	36.5																										

中期計画	年度計画 《評価項目》	業務実績内容／法人の自己評価・課題等	評価委員会の評価		
			自己評価	評価結果 コメント	
<p>また、病院の持つ専門的医療情報を基に、県民を対象にした公開講座の開催や、ホームページ等により、疾病や健康等に関する保健医療情報の発信及び普及に取り組む。</p>	<p>《評価項目No.15》 オ 保健医療情報の発信</p> <p>病院の持つ専門的医療情報を基に、がん等をテーマに県民を対象にした公開講座を開催し、年4回発行する広報誌「医療センターニュース」やホームページ等に疾病や健康等に関する必要な情報を掲載するなど、保健医療情報の発信及び普及に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成28年3月に開催した「市民公開講座」では、現在のがん治療の内容や、がんと診断された場合の入院から退院、在宅医療に至るまでの支援等について、当院医師、スタッフに加え、連携する医療機関、在宅介護サービスセンター等による講演を行った。併せて、がんに関する無料相談コーナーや展示・体験コーナーを設け、がん治療及びケアに対する総合的な情報提供を行った。 ○ 広報紙「医療センターニュース」を年間8回発行し、がんの診療や感染症の予防策等の保健医療情報を発信した。 ○ また、地域の医療機関等に向けて、地域連携課が発行（月1回程度）する「かけはし通信」により、専門外来や病診連携の取組（内視鏡検査、MRI検査等）について、情報を発信した。 ○ ホームページで、各診療科の診療情報や各種イベント等の最新の情報を提供するとともに、「県がん診療連携拠点病院」や「基幹災害拠点病院」等の役割、特徴について積極的な発信に努めた。 	IV	IV	<p>ホームページや広報紙等を利用して積極的に地域住民や関係医療機関に保健医療情報の発信を行っているほか、市民公開講座を開催し、がん治療や治療支援、ケア等に関する総合的な情報提供を行っており評価できる。</p> <p>今後も地域住民のニーズに応じた情報提供に努めていくことを期待する。</p>

《大項目》 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

中期目標	第2-2 非常時における医療救護等
	<p>大規模災害の発生等非常時には、県全体の医療提供体制を確保するため、県民に対するセーフティネットの役割を的確に果たすとともに、県外における大規模災害発生時にも医療救護等の協力を行うこと。</p> <p>(1) 大規模災害発生時の対応</p> <p>東海地震、東南海・南海地震など大規模災害発生時には、医療救護活動の拠点としての機能を担うとともに、災害派遣医療支援チーム（DMAT）の県内外への派遣など医療救護活動に取り組むこと。</p> <p>また、基幹災害医療センターとして、DMATなどの要員の育成や災害医療訓練を行うなど大規模災害発生時に備えた機能の充実を図ること。</p>

《評価項目No.16》 大規模災害発生時の対応

中期計画	年度計画 《評価項目》	業務実績内容／法人の自己評価・課題等	評価委員会の評価		
			自己評価	評価結果 コメント	
<p>2 非常時における医療救護等</p> <p>大規模災害の発生等非常時には、県全体の医療提供体制を確保するため、県民に対するセーフティネットの役割を的確に果たすとともに、県外における大規模災害発生時にも医療救護等の協力を行う。</p> <p>(1) 大規模災害発生時の対応</p> <p>東海地震、東南海・南海地震など大規模災害発生時には、基幹災害医療センターとして、被災患者を受け入れるとともに、知事の要請に応じて災害派遣医療チーム（DMAT）を県内外へ派遣するなど、救護活動を行う。</p> <p>また、大規模災害を想定したトリアージ訓練や、基幹災害医療センターとして他の災害拠点病院を対象とした研修などを定期的に行い、災害医療に対応可能な体制を整備し、機能の拡充を図る。</p>	<p>2 非常時における医療救護等</p> <p>大規模災害の発生等非常時には、県全体の医療提供体制を確保するため、県民に対するセーフティネットの役割を的確に果たすとともに、県外における大規模災害発生時にも医療救護等の協力を行う。</p> <p>《評価項目No.16》</p> <p>(1) 大規模災害発生時の対応</p> <p>大規模災害発生時には、「災害拠点病院」として、被災者を受け入れるとともに、知事の要請に応じて災害派遣医療チーム（DMAT）を県内外へ派遣するなど救護活動を実施するとともに、災害時に備え防災訓練を実施す。</p> <p>また、「基幹災害拠点病院」として、他の災害拠点病院と連携した実践的な訓練・研修を計画する。</p>	<p>○ DMAT（災害派遣医療チーム）隊員は19名が登録（H28.3.31時点）されており、3チーム体制（H26年度から1チーム増加）を維持している。また各隊員を災害派遣チーム技能維持研修等に参加させている。</p> <p>○ 大規模災害など有事の際に職員一人ひとりが責任を持って最善の医療救護活動が実践できるよう、災害訓練机上シミュレーション（エマルゴ）及び防災訓練を次のとおり実施した。</p> <p>●エマルゴ訓練</p> <p>【日時】平成27年7月24日</p> <p>【訓練内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 県庁からエマルゴトレーニングキットを借り受け、本部運営を中心に机上訓練を実施 <p>【参加職員】職員80名</p> <p>【見学者】志摩病院5名</p>	IV	IV	<p>災害時の病院としての事業継続計画（BCP）の策定に向け、DMAT隊員を中心とする部会を組織して検討を行い、案を策定した。</p> <p>県内の基幹災害拠点病院として近隣地域の医療機関との連携を図る体制づくりを行い、訓練を定期的に行い、また隊員を様々な院外の訓練や研修に派遣した。</p> <p>さらに、地元医師会をはじめ、歯科医師会や薬剤師会等の関係団体と災害発生時の行動計画の策定においても複数名の隊員を参加させ専門的な意見を述べるなど地域との連携についても積極的な取組を行っており評価できる。</p>

中期計画	年度計画 《評価項目》	業務実績内容／法人の自己評価・課題等		評価委員会の評価 コメント
		自己 評価	評価 結果	

●防災訓練
【日時】平成27年11月7日
【訓練内容】
・緊急地震速報対応訓練
・災害対策本部設置運営訓練
・医療救護活動訓練
・患者搬送訓練
・災害時給食調理訓練
【参加者】
・職員167名
・看護等学生57名
・地元自治会、ボランティア37名
・病院関係見学者2名

○内閣府が主催する総合防災訓練にDMAT 隊員1名をコーディネーターとして派遣したほか、中部DMAT 訓練、近畿総合防災訓練、三重県防災訓練、愛知県防災訓練、NBC 災害対応研修等にDMAT 隊員を派遣した。

○災害時の病院としての事業継続計画（BCP）の策定に向け、DMAT 隊員を中心とする部会を組織し検討を行い、BCP 案を策定した。

○平成26年度から、県内唯一の基幹災害拠点病院として近隣病院との連携や訓練、研修を企画実施する常設組織（災害対策室）を設置し、地域の災害拠点病院との連携や訓練（本部訓練、エマルゴ訓練）の活性化等に取り組んでいる。

●他病院との連携（ネットワーク化）
・災害時に北勢地域で中心となる市立四日市病院、四日市羽津医療センターの災害医療担当者と意見交換を2回実施した。
【日時】H27年10月7日、H28年2月12日
【参加病院】市立四日市病院
四日市羽津医療センター
県立総合医療センター

中期計画	年度計画 《評価項目》	業務実績内容／法人の自己評価・課題等	評価委員会の評価	
			自己 評価	評価 結果 コメント
		<p>【内容】災害時の役割分担及びBCP策定状況の確認を行うとともに、県が実施した災害医療に関する情報伝達訓練において3病院で情報伝達の手順確認を行った。</p>		

《大項目》 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

中期目標	第2-2-(2) 公衆衛生上の重大な危機が発生した場合の対応 新型インフルエンザ等の新たな感染症が発生した場合には、知事の要請に応じて患者を受け入れるなど、迅速に対応すること。
------	---

《評価項目No.17》 公衆衛生上の重大な危機が発生した場合の対応

中期計画	年度計画 《評価項目》	業務実績内容／法人の自己評価・課題等	評価委員会の評価		
			自己評価	評価結果 コメント	
(2) 公衆衛生上の重大な危機が発生した場合の対応 新型インフルエンザ等の新たな感染症が発生した場合には、知事の要請に応じて、県と連携しながら、患者を受け入れるなど迅速、的確に対応する。	《評価項目No.17》 (2) 公衆衛生上の重大な危機が発生した場合の対応 新型インフルエンザ等の公衆衛生上の重大な危機が発生した場合には、知事の要請に応じて、県と連携しながら、迅速・的確に対応する。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 指定地方公共機関として、H26年度に策定した「新型インフルエンザ等対策に関する業務計画」を県、四日市市に提出するとともに、ホームページに掲載し、公表した。(H27.12) ○ 「新型インフルエンザ等発生時における診療継続計画(BCP)(案)」(平成26年度作成)について、院内感染防止委員会で審議・決定するとともに、院内掲示板への掲載等により、職員への周知を図った。 ○ また、新型インフルエンザ等対策に係る会議等に参加し、情報交換等を行った。 <ul style="list-style-type: none"> a) 新型インフルエンザ等に関する指定地方公共機関担当者会議(県主催)に参加(H27.7) b) 平成27年度三重県新型インフルエンザ等対策訓練への参加(H27.11) c) 四日市港における検疫措置訓練への参加(新型インフルエンザを想定した防護服着脱訓練など)(H28.1) ○ エボラ出血熱流行に関する対応については、平成26年度に関係機関との調整を図ったが、平成27年度では、終息宣言に伴い、終了・継続対応に関して院内へ情報を配信した。 	IV	III	指定地方公共機関として、重大な危機発生時の対応について職員に周知するとともに、ホームページを利用して地域の関係機関を始め、一般の住民に積極的に情報発信している。 また、多様な訓練を行っていることは、病院が持つ機能を十分に発揮していることであり評価できる。

《大項目》 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

中期目標	第2-3 医療に関する地域への貢献
	地域医療を支える他の医療機関と密接に連携し支援することにより、地域の医療機関からも信頼される病院となること。 (1) 地域の医療機関との連携強化 地域連携クリニカルパスの活用など病病連携・病診連携を推進し、県民に適切な医療を提供できる体制を構築すること。

《評価項目No.18》 地域の医療機関との連携強化

中期計画	年度計画 《評価項目》	業務実績内容／法人の自己評価・課題等		評価委員会の評価	
		自己評価	評価結果	コメント	
3 医療に関する地域への貢献 地域医療を支える周辺の医療機関と密接に連携し支援することにより、地域の医療機関からも信頼される病院を目指す。また、四日市公害患者に対する治療は引き続き的確に対応していく。 (1) 地域の医療機関との連携強化 救命救急センターを併設する急性期病院として、紹介患者の受入れ、逆紹介による退院調整及び地域連携クリニカルパスの更なる活用等により、地域の医療機関との一層の連携を図り効果的で質の高い医療を提供し、地域医療の向上に貢献する。	3 医療における地域への貢献 地域医療を支える周辺の医療機関と密接に連携・支援することにより、地域の医療機関からも信頼される病院を目指す。また、四日市公害患者に対する治療は引き続き的確に対応する。 《評価項目No.18》 (1) 地域の医療機関との連携強化 四日市医師会との病診連携運営委員会を定期的に開催するとともに、地域の中核病院として、地域の医療機関との連携を強化し、紹介患者を積極的に受け入れるとともに、退院調整が必要な患者に対するケア及び地域連携クリニカルパスの更なる活用等による患者の逆紹介も推進する。	○ 地域の中核的病院として、「病診連携運営委員会」を定期的に開催するなど、地域の医療機関、四日市医師会との連携を強化した。 ○ また、「地域医療支援病院」として、「地域医療支援病院運営委員会」の開催を通じて、紹介患者の受入、患者の逆紹介を積極的に推進した。 ○ 加えて、地域の医療機関との機能分化をさらに進めるため選定療養費の見直しを行った。 ○ この結果、平成27年度では、紹介患者数は前年度に引き続き大幅に増加するとともに、紹介率も65.5%となり、地域医療支援病院の承認に係る新基準65%（H26年度改定）を達成した。 ○ 一方、逆紹介率も72.6%と基準となる70%を超えた。	IV	IV	病診連携運営委員会を開催するなど地域の医療機関や四日市医師会との連携を強化して紹介率65.5%、逆紹介率72.6%と、地域医療支援病院の承認にかかる新基準を達成したことは評価できる。 入院患者増、病床稼働率アップのためにも地域医療連携の取組は重要であり、また地域連携クリニカルパス件数についても増加させるよう努力されたい。

中期計画	年度計画 《評価項目》	業務実績内容／法人の自己評価・課題等				評価委員会の評価																																									
		自己評価	評価結果	コメント																																											
		<p>●紹介率・逆紹介率の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27年度</th> <th>H26年度</th> <th>H25年度</th> <th>H24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介患者数(人)</td> <td>9,173</td> <td>8,034</td> <td>7,297</td> <td>6,737</td> </tr> <tr> <td>紹介率(%)</td> <td>65.5</td> <td>62.1</td> <td>65.0</td> <td>63.4</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率(%)</td> <td>72.6</td> <td>63.8</td> <td>54.5</td> <td>49.8</td> </tr> </tbody> </table> <p>(委員会開催状況)</p> <p>●病診連携運営委員会の開催状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回 H27年5月25日 ・第2回 H27年9月28日 ・第3回 H28年1月25日 <p>●地域医療支援病院運営委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回 H27年6月29日 ・第2回 H27年11月16日 ・第3回 H28年3月14日 <p>○地域の医療機関との相互連携を一層進めるため、「セミオープンベッド」(開放型病床5床)の運用を行った。利用率は前年度と比べて若干減少したものの、法人化以後、増加傾向にある。ただし、入院期間の延長により1件当たりの利用日数が増加したことで、共同診療件数は低下した。</p> <p>○地域の医療機関からの当日分のCT・MRIの検査についても調整を円滑に行うなど、病診連携検査数の増加に対応し、地域の医療機関と病院との機能分化を進めた。</p> <p>○登録医制度については、新規登録が7件あり、累計499件となった。</p> <p>●セミオープンベッド等の利用状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27年度</th> <th>H26年度</th> <th>H25年度</th> <th>H24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>セミオープンベッド利用率(%)</td> <td>77.4</td> <td>82.8</td> <td>71.3</td> <td>73.0</td> </tr> <tr> <td>セミオープンベッド(共同診療)(件)</td> <td>96</td> <td>121</td> <td>136</td> <td>167</td> </tr> <tr> <td>病診連携検査(件)</td> <td>2,204</td> <td>1,773</td> <td>1,640</td> <td>1,305</td> </tr> </tbody> </table>					H27年度	H26年度	H25年度	H24年度	紹介患者数(人)	9,173	8,034	7,297	6,737	紹介率(%)	65.5	62.1	65.0	63.4	逆紹介率(%)	72.6	63.8	54.5	49.8		H27年度	H26年度	H25年度	H24年度	セミオープンベッド利用率(%)	77.4	82.8	71.3	73.0	セミオープンベッド(共同診療)(件)	96	121	136	167	病診連携検査(件)	2,204	1,773	1,640	1,305		
	H27年度	H26年度	H25年度	H24年度																																											
紹介患者数(人)	9,173	8,034	7,297	6,737																																											
紹介率(%)	65.5	62.1	65.0	63.4																																											
逆紹介率(%)	72.6	63.8	54.5	49.8																																											
	H27年度	H26年度	H25年度	H24年度																																											
セミオープンベッド利用率(%)	77.4	82.8	71.3	73.0																																											
セミオープンベッド(共同診療)(件)	96	121	136	167																																											
病診連携検査(件)	2,204	1,773	1,640	1,305																																											
	<p>「登録医制度」や「セミオープンベッド」(開放型病床)、病診連携検査の効果的活用により、地域の医療機関との相互連携を一層進め、それぞれの特性を生かしながら機能分担を図り、地域医療全体にとって効果的で質の高い医療の提供に貢献する。</p>																																														

中期計画	年度計画 《評価項目》	業務実績内容／法人の自己評価・課題等			評価委員会の評価																																																																
		自己評価	評価結果	コメント																																																																	
<p>また、医療機関、県民を対象とした研究会・講演会等を定期的に行い、地域医療水準の向上に寄与していく。</p>	<p>さらに、医療機関や福祉施設の職員を対象に、地域ニーズや時宜を得たテーマによる研究会・講演会等を実施し、地域医療水準の向上に寄与する。 また、「地域医療支援病院」として、患者の紹介率・逆紹介率の向上を図るとともに、地域の医療機関との連携強化をさらに推進する。</p>	<p>○ 地域の医療機関や福祉施設の職員、県内の他施設の新人看護師、後方病院を対象とした講演会・研究会を計18回実施し、地域の医療水準の向上に努めた。</p> <p>● 講演会・研究会実施状況</p>																																																																			
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="3">H27年度</th> <th colspan="3">H26年度</th> <th colspan="3">H25年度</th> </tr> <tr> <th></th> <th>回数</th> <th>院外出席者数</th> <th>院内出席者数</th> <th>回数</th> <th>院外出席者数</th> <th>院内出席者数</th> <th>回数</th> <th>院外出席者数</th> <th>院内出席者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学術講演会</td> <td>10</td> <td>104</td> <td>330</td> <td>10</td> <td>93</td> <td>400</td> <td>11</td> <td>101</td> <td>484</td> </tr> <tr> <td>症例検討会</td> <td>2</td> <td>15</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>23</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>6</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>地域支援講習会</td> <td>6</td> <td>210</td> <td>—</td> <td>3</td> <td>145</td> <td>—</td> <td>3</td> <td>134</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>18</td> <td>329</td> <td>332</td> <td>15</td> <td>261</td> <td>404</td> <td>15</td> <td>241</td> <td>519</td> </tr> </tbody> </table>				H27年度			H26年度			H25年度				回数	院外出席者数	院内出席者数	回数	院外出席者数	院内出席者数	回数	院外出席者数	院内出席者数	学術講演会	10	104	330	10	93	400	11	101	484	症例検討会	2	15	2	2	23	4	1	6	35	地域支援講習会	6	210	—	3	145	—	3	134	—	計	18	329	332	15	261	404	15	241	519					
			H27年度			H26年度			H25年度																																																												
			回数	院外出席者数	院内出席者数	回数	院外出席者数	院内出席者数	回数	院外出席者数	院内出席者数																																																										
学術講演会	10	104	330	10	93	400	11	101	484																																																												
症例検討会	2	15	2	2	23	4	1	6	35																																																												
地域支援講習会	6	210	—	3	145	—	3	134	—																																																												
計	18	329	332	15	261	404	15	241	519																																																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>H22年度実績</th> <th>H28年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介患者数（人）</td> <td>5,747</td> <td>6,400</td> </tr> <tr> <td>紹介率（%）</td> <td>55.6</td> <td>65</td> </tr> <tr> <td>地域連携クリニカルバス件数（件）</td> <td>160</td> <td>180</td> </tr> <tr> <td>退院調整患者数（人）</td> <td>734</td> <td>800</td> </tr> <tr> <td>医療機関、県民を対象とした研究会・講演会等の実施回数（回）</td> <td>12</td> <td>12以上</td> </tr> </tbody> </table>	指標	H22年度実績	H28年度目標	紹介患者数（人）	5,747	6,400	紹介率（%）	55.6	65	地域連携クリニカルバス件数（件）	160	180	退院調整患者数（人）	734	800	医療機関、県民を対象とした研究会・講演会等の実施回数（回）	12	12以上	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>H27年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介患者数（人）</td> <td>6,767</td> </tr> <tr> <td>紹介率（%）</td> <td>65.0</td> </tr> <tr> <td>地域連携クリニカルバス件数（件）</td> <td>180</td> </tr> <tr> <td>退院調整患者数（人）</td> <td>800</td> </tr> <tr> <td>医療機関、県民を対象とした研究会・講演会等の実施回数（回）</td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table>	指標	H27年度目標	紹介患者数（人）	6,767	紹介率（%）	65.0	地域連携クリニカルバス件数（件）	180	退院調整患者数（人）	800	医療機関、県民を対象とした研究会・講演会等の実施回数（回）	12	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>H27年度</th> <th>H26年度</th> <th>H25年度</th> <th>H24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介患者数（人）</td> <td>9,173</td> <td>8,034</td> <td>7,297</td> <td>6,737</td> </tr> <tr> <td>紹介率（%）</td> <td>65.5</td> <td>62.1</td> <td>65.0</td> <td>63.4</td> </tr> <tr> <td>地域連携クリニカルバス件数（件）</td> <td>203</td> <td>201</td> <td>195</td> <td>201</td> </tr> <tr> <td>退院調整患者数（人）</td> <td>959</td> <td>994</td> <td>904</td> <td>935</td> </tr> <tr> <td>医療機関、県民を対象とした研究会・講演会等の実施回数（回）</td> <td>18</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>17</td> </tr> </tbody> </table>	指標	H27年度	H26年度	H25年度	H24年度	紹介患者数（人）	9,173	8,034	7,297	6,737	紹介率（%）	65.5	62.1	65.0	63.4	地域連携クリニカルバス件数（件）	203	201	195	201	退院調整患者数（人）	959	994	904	935	医療機関、県民を対象とした研究会・講演会等の実施回数（回）	18	15	15	17							
指標	H22年度実績	H28年度目標																																																																			
紹介患者数（人）	5,747	6,400																																																																			
紹介率（%）	55.6	65																																																																			
地域連携クリニカルバス件数（件）	160	180																																																																			
退院調整患者数（人）	734	800																																																																			
医療機関、県民を対象とした研究会・講演会等の実施回数（回）	12	12以上																																																																			
指標	H27年度目標																																																																				
紹介患者数（人）	6,767																																																																				
紹介率（%）	65.0																																																																				
地域連携クリニカルバス件数（件）	180																																																																				
退院調整患者数（人）	800																																																																				
医療機関、県民を対象とした研究会・講演会等の実施回数（回）	12																																																																				
指標	H27年度	H26年度	H25年度	H24年度																																																																	
紹介患者数（人）	9,173	8,034	7,297	6,737																																																																	
紹介率（%）	65.5	62.1	65.0	63.4																																																																	
地域連携クリニカルバス件数（件）	203	201	195	201																																																																	
退院調整患者数（人）	959	994	904	935																																																																	
医療機関、県民を対象とした研究会・講演会等の実施回数（回）	18	15	15	17																																																																	

《大項目》 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

中期目標	第2-3-(2) 医師不足等の解消への貢献 へき地医療拠点病院として、へき地の医療に対する支援体制を充実するとともに、医師不足の深刻な公立病院に対して医師を派遣するなど、地域の医療提供体制の確保に貢献すること。
------	--

《評価項目No.19》 医師不足等の解消への貢献

中期計画	年度計画 《評価項目》	業務実績内容／法人の自己評価・課題等				評価委員会の評価																	
		自己評価	評価結果	コメント																			
(2) 医師不足等の解消への貢献 臨床研修医の確保・育成を遅く医師を充足させ、へき地医療拠点病院として、代診医の派遣や、医師不足が深刻な公立病院を中心に外来診療等の診療応援をするなど、地域の医療提供体制の確保に貢献する。	《評価項目No.19》 (2) 医師不足等の解消への貢献 地域の医療提供体制の確保に貢献するため、臨床研修医の確保・育成等を通じて医師の充足を図っていく。 また、医師不足が深刻な公的病院に対して、「へき地医療拠点病院」として、県や三重大学等と連携しながら代診要請への対応等の支援を行う。	○ 臨床研修医については、院内各部署の積極的な取組により、平成28年4月採用における初期研修医については、9名を採用できた。 ○ 今後も初期臨床研修医の確保対策として、医学生のニーズ・動向を的確に把握するとともに、当院の充実した研修体制とアメニティ面の積極的なPRを行う。 ●臨床研修医の内訳（4月1日時点）	IV	IV	院内各部署の積極的な取組が臨床研修医の確保につながり、また勤務医師数も増加しており関係機関への働きかけが功を奏していると考えられ評価する。 より優秀な臨床研修医の確保は病院の発展のために重要なことである。 今後も研修体制の充実やアメニティの充実を図ることに期待する。 へき地代診医師派遣には、へき地医療拠点病院として積極的に支援することが必要である。																		
		<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27年度</th> <th>H26年度</th> <th>H25年度</th> <th>H24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>初期臨床研修医</td> <td>16</td> <td>13</td> <td>15</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>後期臨床研修医等</td> <td>16</td> <td>17</td> <td>10</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>32</td> <td>30</td> <td>25</td> <td>30</td> </tr> </tbody> </table>		H27年度		H26年度	H25年度	H24年度	初期臨床研修医	16	13	15	17	後期臨床研修医等	16	17	10	13	計	32	30	25	30
	H27年度	H26年度	H25年度	H24年度																			
初期臨床研修医	16	13	15	17																			
後期臨床研修医等	16	17	10	13																			
計	32	30	25	30																			
		○ へき地代診医要請に伴う医師派遣については、平成27年度においては日程が合わず実施できなかったものの、今後とも代診要請については、積極的に支援に努めることとする。 ●代診医派遣件数(件)																					
		<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27年度</th> <th>H26年度</th> <th>H25年度</th> <th>H24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>代診医派遣件数</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> ※但し、平成28年度は、4月に1件の実績あり。		H27年度	H26年度	H25年度	H24年度	代診医派遣件数	0	3	2	0											
	H27年度	H26年度	H25年度	H24年度																			
代診医派遣件数	0	3	2	0																			

《大項目》 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

中期目標	第2-4 医療に関する教育及び研修
	医療従事者にとって魅力ある病院となるよう関係機関と連携して教育及び研修の充実を図ること。また、院内のみならず県内の医療水準の向上が図られるよう医療従事者の育成を行うこと (1) 医師の確保・育成 三重大学等と連携して指導医を確保するとともに、積極的に臨床研修医等を受け入れ、優れた医師の育成を行うこと。

《評価項目No.20》 医師の確保・育成

中期計画	年度計画 《評価項目》	業務実績内容／法人の自己評価・課題等		評価委員会の評価																						
		自己評価	評価結果	コメント																						
<p>4 医療に関する教育及び研修</p> <p>医療従事者の向上心に応える病院となるよう関係機関と連携して教育及び研修の充実を図る。また、院内のみならず県内の医療水準の向上が図られるよう医療従事者の育成に努める。</p> <p>(1) 医師の確保・育成</p> <p>医療の水準の維持・向上のため、三重大学等と連携して、診療能力の向上及び診療技術の習得に関する指導・研修体制を整備し、研修プログラムの内容の充実を図ることによって積極的に臨床研修医等を受け入れ、優れた医師を育成し、本県への医師の定着を促進する。</p> <p>さらには、「臨床研修センター」を設置し、シミュレーターを使った研修ができるなど研修環境を整備するとともに、三重大学の連携大学院を効果的に運営する。</p>	<p>4 医療に関する教育及び研修</p> <p>院内のみならず県内の医療水準の向上を図るため、引き続き、医療従事者のニーズに応える研修を実施する。</p> <p>《評価項目No.20》</p> <p>(1) 医師の確保・育成</p> <p>「臨床研修センター」において、シミュレーターを使った研修ができるなど研修環境を整備するとともに、三重大学等と連携して、診療能力の向上及び診療技術の習得に関する指導・研修体制を整備し、研修プログラムの内容の充実を図る。</p> <p>これらの取組を通して、積極的に臨床研修医等を受け入れ、優れた医師を確保・育成する。</p> <p>また、三重大学との連携大学院を効果的に運用することにより、医師の専門性の向上を図るとともに、最先端の医療技術・知識の修得のため、各種学会や研修会、講習会等へ参加できるように支援する。</p>	<p>○ シミュレーターを活用した研修について、より効果的な研修内容となるよう継続的に検討、見直しを行った。</p> <p>○ 臨床研修医数は、法人化以後、増加傾向にあり、平成27年度では32名となり、研修医の受入れ環境の整備や研修内容の評価が増加につながったものと考えられる。</p> <p>○ 三重大学の連携大学院として、病態制御医学講座病態解析内科学分野を担当し、平成23年度から継続して大学院生の受け入れを行っており、平成26年度に受け入れた大学院生1名について、平成27年度まで受入れを継続した。</p> <p>○ 各種学会や研修会、講演会等への参加を支援し、最先端の医療技術・知識の取得を促した。</p>	IV	IV	<p>研修医の受け入れ環境の整備、研修内容の充実等のほか、指導にあたる医師やコメディカルの対応といったヒューマンファクターの結果、中期計画目標人数が達成され評価できる。</p> <p>今後も、さらに臨床研修センターの充実を期待したい。</p>																					
<table border="1"> <tr> <th>指標</th> <th>H22年度実績</th> <th>H28年度目標</th> </tr> <tr> <td>初期及び後期研修医数（人）</td> <td>30</td> <td>32</td> </tr> </table>	指標	H22年度実績	H28年度目標	初期及び後期研修医数（人）	30	32	<table border="1"> <tr> <th>指標</th> <th>H27年度目標</th> </tr> <tr> <td>初期及び後期研修医数（人）</td> <td>30</td> </tr> </table>	指標	H27年度目標	初期及び後期研修医数（人）	30	<table border="1"> <tr> <th>指標</th> <th>H27年度</th> <th>H26年度</th> <th>H25年度</th> <th>H24年度</th> </tr> <tr> <td>初期及び後期研修医数（人）</td> <td>32</td> <td>30</td> <td>25</td> <td>30</td> </tr> </table>	指標	H27年度	H26年度	H25年度	H24年度	初期及び後期研修医数（人）	32	30	25	30				
指標	H22年度実績	H28年度目標																								
初期及び後期研修医数（人）	30	32																								
指標	H27年度目標																									
初期及び後期研修医数（人）	30																									
指標	H27年度	H26年度	H25年度	H24年度																						
初期及び後期研修医数（人）	32	30	25	30																						

《大項目》 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

中期目標	第2-4-(2) 看護師の確保・育成 看護師の確保・定着を図り、質の高い看護が継続的に提供できるよう研修の充実を図ること。
------	--

《評価項目No.21》 看護師の確保・育成

中期計画	年度計画 《評価項目》	業務実績内容／法人の自己評価・課題等		評価委員会の評価	
		自己評価	評価結果	コメント	
<p>(2) 看護師の確保・育成</p> <p>「臨床研修センター」の設置や、新人看護師の卒後臨床研修システムの効果的な運用を行うことにより研修環境を整えるなど、専門知識・技術の向上を図ることができ魅力のある働きやすい職場環境の整備に取り組み、看護師の確保・定着に努める。</p>	<p>《評価項目No.21》</p> <p>(2) 看護師の確保・育成</p> <p>新人看護師研修プログラムを効果的に運用するとともに、看護師養成校への働きかけを強化し、看護師確保に努める。</p> <p>また、高等学校別の1日看護体験実習等を通じて、将来の看護師候補の裾野拡大にも寄与していく。</p> <p>さらに、院内認定看護師を活用した専門研修の充実を図り、専門性の高い看護師を育成する。</p>	<p>【看護師の育成・定着】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 新人看護師の卒後臨床研修システムを効果的に運用し、育成に努めるとともに、新人看護師担当として専従の副師長を配置し、技術的なサポートだけでなく、メンタルフォローにも対応した。 ○ 実習指導者養成研修1名、看護教員養成研修1名を参加させるとともに、院内実習指導の質的向上のために、県立看護大学の教授を指導者委員会に招聘し検討を進めた。 ○ 各セクションの年休取得状況を定期的に情報共有するとともに、応援体制の機能を定着させ、業務の不均衡の軽減に努めるなど、時間外削減・年休取得の平準化に取り組んだ。 ○ 育児休暇取得中の看護師の不安軽減と情報提供のため、研修企画案内・看護部ニューズレターを毎月1回送付するとともに、産・育休中の職員に対して、復帰へのサポート対策として情報交換会を開催した。 <p>【看護師の確保】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域の看護師養成校から実習生を積極的に受け入れるとともに、実習環境の整備に努めた。また要請に応じて講師として各学校に看護師を派遣するなど将来の看護師確保に繋げている。 	IV	IV	<p>院内実習指導の質的向上に向け、県立看護大学の教授を指導者委員会に招聘するなど外部の意見も取り入れて教育体制を充実させている。</p> <p>また、看護師間の応援体制機能の定着化を図り、業務の不均衡の軽減に努めるなど魅力ある職場環境整備に継続して取り組んでいる。</p> <p>看護師養成施設から多くの看護実習生の受け入れを行い、県全体の看護師の確保に貢献している。</p> <p>また、病院としても43名の看護師を確保できており評価できる。</p>

中期計画			年度計画 《評価項目》		業務実績内容／法人の自己評価・課題等		評価委員会の評価 コメント			
							自己 評価	評価 結果		
					<ul style="list-style-type: none"> ○ インターンシップを6回開催し、45名の参加を得た。 ○ 院外就職ガイダンスへの出展に加え、県内看護大学、看護師養成校への訪問、近隣高校への訪問、資料送付を行っている。 ○ また、1日看護体験のほか、当院独自の「高校生の看護体験」を企画・実施した。 ○ その結果、看護師43名（うち、40名はH28.4.1採用）を確保することができた。 					
指 標	H22年度実績	H28年度目標	指 標	H27年度目標	指 標	H27年度	H26年度	H25年度	H24年度	
看護師定着率 (%)	91.6	92	看護師定着率 (%)	92.0	看護師定着率 (%)	92.5	92.6	91.9	92.2	
看護実習受入数 (人)	4,223	4,000	看護実習受入数 (人)	4,000	看護実習受入数 (人)	4,066	4,162	3,809	4,037	

《大項目》 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

中期目標	第2-4-(3) コメディカル（医療技術職）の専門性の向上 薬剤師、放射線技師、検査技師等の医療技術職について、専門性の向上を図るため、研修の充実を図ること。
------	--

《評価項目No.22》 コメディカル（医療技術職）の専門性の向上

中期計画	年度計画 《評価項目》	業務実績内容／法人の自己評価・課題等	評価委員会の評価	
			自己評価	評価結果 コメント
<p>(3) コメディカル（医療技術職）の専門性の向上 コメディカル職員の専門性の向上を図るため、病院の機能や職員の能力・経験等を踏まえ、県機関、学会等が実施する外部研修も活用するなど、研修を効果的に実施する。</p>	<p>《評価項目No.22》 (3) 医療技術職員の専門性の向上 病院の機能や職員の能力・経験等を踏まえて、診療放射線技師、臨床検査技師、薬剤師等の医療技術職員の専門性の向上を図るため、県機関、学会等が実施する外部研修等への参加を支援し、高度医療に対する知識・技術を有する職員を養成する。</p>	<p>○ 医療技術職員（コメディカル）の専門性向上のため、外部研修等への参加支援を行い、職員の知識・技術の向上を図った。</p> <p>● 主な参加研修等 【薬剤師】 ・日本医療薬学会年会 ・日本和漢医薬学会学術大会、年会 ・日本静脈経腸栄養学会学術大会 【臨床検査技師】 ・日本臨床細胞学会 ・臨床神経生理学学会 ・日本医学検査学会 ・日本臨床微生物学会 ・日本臨床検査自動化学会 ・日本感染症学会 【診療放射線技師】 ・日本放射線技術学会総会学術大会 ・日本診療放射線技師総合学術大会 ・三重県超音波研究会 ・第1種放射線取扱主任者講習 ・日本医学物理学会</p>	III	III 幅広い分野の研修等への参加がみられ、病院が職員の知識・技術の向上を支援し、最新の知識の吸収に努めていることが伺える。職場でのモチベーションの向上にもつながっていると考えられ評価できる。 引き続き、専門職として多くの学会で発表することができるよう期待する。 なお、放射線技師の研修参加人数が減少し続けており、参加を促す取組をしていただきたい。

中期計画	年度計画 《評価項目》	業務実績内容／法人の自己評価・課題等		評価委員会の評価																												
		自己評価	評価結果	コメント																												
		●コメディカル専門研修参加延べ人数（人） <table border="1" data-bbox="1198 338 1803 512"> <thead> <tr> <th>内訳／年度</th> <th>H27年度</th> <th>H26年度</th> <th>H25年度</th> <th>H24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬剤師</td> <td>14</td> <td>15</td> <td>11</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>臨床検査技師</td> <td>135</td> <td>115</td> <td>131</td> <td>128</td> </tr> <tr> <td>診療放射線技師</td> <td>106</td> <td>118</td> <td>124</td> <td>146</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>255</td> <td>248</td> <td>266</td> <td>287</td> </tr> </tbody> </table>				内訳／年度	H27年度	H26年度	H25年度	H24年度	薬剤師	14	15	11	13	臨床検査技師	135	115	131	128	診療放射線技師	106	118	124	146	計	255	248	266	287		
内訳／年度	H27年度	H26年度	H25年度	H24年度																												
薬剤師	14	15	11	13																												
臨床検査技師	135	115	131	128																												
診療放射線技師	106	118	124	146																												
計	255	248	266	287																												

《大項目》 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

中期目標	第2-4-(4) 資格の取得への支援 専門医、認定看護師など職員の資格取得に向けた支援を行うこと。
------	--

《評価項目No.23》 資格の取得への支援

中期計画	年度計画 《評価項目》	業務実績内容／法人の自己評価・課題等		評価委員会の評価	
		自己評価	評価結果	コメント	
(4) 資格の取得への支援 研修体制の充実や専門医・認定医等の資格取得を支援するとともに、医師の専門性の向上を図る。また、認定看護師及びコメディカルの専門資格取得を支援するため、部分休業制度の導入など、資格を取得しやすい環境を整える。	《評価項目No.23》 (4) 資格の取得への支援 専門医・認定医、認定看護師等の資格取得を支援するとともに、医師、看護師、医療技術職員において、職員の専門性の向上を図る。 また、部分休業制度等を活用し、看護師及び医療技術職員が資格を取得しやすい環境を整える。	○ 平成24年度に整備された臨床研修実施要綱等に則り、引き続き研修体制を充実するとともに、専門医・認定医等の資格取得を支援した。 ○ 平成24年度に導入した部分休業制度は実績がなかったものの、看護師、コメディカルの資格取得に関して、予算措置を行い、積極的に支援した。 ※資格取得については、医療職員の専門性の向上を図るため、当初予算での各部署への配分のほか、病院経営に必要な資格取得に関して別枠で予算を充当している。 ○ その結果、以下にあるような難関試験の合格者も誕生した。 ● 医師・コメディカルの資格取得状況 【医師】 ・ 各科専門医・認定医資格の取得・更新 【薬剤師】 ・ NST 専門療法士 ・ 小児薬物療法認定薬剤師 【臨床検査技師】 ・ 日本心血管インターベンション治療学会 心血管インターベンション技師 【診療放射線技師】 ・ 第1種放射線取扱主任者	IV	IV	資格取得支援のための予算を各部署に配分したほか、一部については別枠を設けるなど、より取得に向かいやすい支援を行った。その結果、様々な職種において難関資格の取得につながっており、提供できる医療サービス・技術の質的向上が期待できる。 医療現場においてコメディカルの専門性が重要視されており、特に看護師の専門資格の取得は医師業務の負担軽減になるとともに看護師の意識も向上し、療養環境の改善につながり評価できる。 今後、資格取得後の職員がより活躍できる体制を整えることが重要である。 また、診療報酬上においては専門資格や認定資格がある医師、看護師、薬剤師等の配置が加算点の条件となることから、それに対応した準備をしていく必要がある。

中期計画	年度計画 《評価項目》	業務実績内容／法人の自己評価・課題等		評価委員会の評価 コメント																																																																																																																		
		自己評価	評価結果																																																																																																																			
		<p>●認定看護師の資格取得</p> <ul style="list-style-type: none"> ・救急看護認定看護（1名） ・緩和ケア認定看護師（1名） <p>※上記の他、がん看護専門看護師取得 （CNS）に向け、現在1名修学中</p> <p>●認定看護師数（H28.3.31時点）</p>																																																																																																																				
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">平成27年度</th> <th colspan="2">平成26年度</th> <th colspan="2">平成25年度</th> <th colspan="2">平成24年度</th> </tr> <tr> <th>分野</th> <th>人数</th> <th>分野</th> <th>人数</th> <th>分野</th> <th>人数</th> <th>分野</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>救急看護</td> <td>2</td> <td>救急看護</td> <td>1</td> <td>救急看護</td> <td>1</td> <td>救急看護</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>皮膚・排泄ケア</td> <td>2</td> <td>皮膚・排泄ケア</td> <td>2</td> <td>皮膚・排泄ケア</td> <td>2</td> <td>皮膚・排泄ケア</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>集中ケア</td> <td>2</td> <td>集中ケア</td> <td>2</td> <td>集中ケア</td> <td>1</td> <td>集中ケア</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>がん性疼痛看護</td> <td>1</td> <td>がん性疼痛看護</td> <td>1</td> <td>がん性疼痛看護</td> <td>1</td> <td>がん性疼痛看護</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>感染管理</td> <td>2</td> <td>感染管理</td> <td>2</td> <td>感染管理</td> <td>2</td> <td>感染管理</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>摂食・嚥下障害看護</td> <td>1</td> <td>摂食・嚥下障害看護</td> <td>1</td> <td>摂食・嚥下障害看護</td> <td>1</td> <td>摂食・嚥下障害看護</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>小児救急看護</td> <td>1</td> <td>小児救急看護</td> <td>1</td> <td>小児救急看護</td> <td>1</td> <td>小児救急看護</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>新生児集中ケア</td> <td>1</td> <td>新生児集中ケア</td> <td>1</td> <td>新生児集中ケア</td> <td>1</td> <td>新生児集中ケア</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>がん化学療法看護</td> <td>1</td> <td>がん化学療法看護</td> <td>1</td> <td>がん化学療法看護</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>手術看護</td> <td>1</td> <td>手術看護</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>緩和ケア</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>15</td> <td>計</td> <td>13</td> <td>計</td> <td>11</td> <td>計</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table>		平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度		分野	人数	分野	人数	分野	人数	分野	人数	救急看護	2	救急看護	1	救急看護	1	救急看護	1	皮膚・排泄ケア	2	皮膚・排泄ケア	2	皮膚・排泄ケア	2	皮膚・排泄ケア	2	集中ケア	2	集中ケア	2	集中ケア	1	集中ケア	1	がん性疼痛看護	1	がん性疼痛看護	1	がん性疼痛看護	1	がん性疼痛看護	1	感染管理	2	感染管理	2	感染管理	2	感染管理	1	摂食・嚥下障害看護	1	摂食・嚥下障害看護	1	摂食・嚥下障害看護	1	摂食・嚥下障害看護	1	小児救急看護	1	小児救急看護	1	小児救急看護	1	小児救急看護	1	新生児集中ケア	1	新生児集中ケア	1	新生児集中ケア	1	新生児集中ケア	1	がん化学療法看護	1	がん化学療法看護	1	がん化学療法看護	1			手術看護	1	手術看護	1					緩和ケア	1							計	15	計	13	計	11	計	9			
平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度																																																																																																																
分野	人数	分野	人数	分野	人数	分野	人数																																																																																																															
救急看護	2	救急看護	1	救急看護	1	救急看護	1																																																																																																															
皮膚・排泄ケア	2	皮膚・排泄ケア	2	皮膚・排泄ケア	2	皮膚・排泄ケア	2																																																																																																															
集中ケア	2	集中ケア	2	集中ケア	1	集中ケア	1																																																																																																															
がん性疼痛看護	1	がん性疼痛看護	1	がん性疼痛看護	1	がん性疼痛看護	1																																																																																																															
感染管理	2	感染管理	2	感染管理	2	感染管理	1																																																																																																															
摂食・嚥下障害看護	1	摂食・嚥下障害看護	1	摂食・嚥下障害看護	1	摂食・嚥下障害看護	1																																																																																																															
小児救急看護	1	小児救急看護	1	小児救急看護	1	小児救急看護	1																																																																																																															
新生児集中ケア	1	新生児集中ケア	1	新生児集中ケア	1	新生児集中ケア	1																																																																																																															
がん化学療法看護	1	がん化学療法看護	1	がん化学療法看護	1																																																																																																																	
手術看護	1	手術看護	1																																																																																																																			
緩和ケア	1																																																																																																																					
計	15	計	13	計	11	計	9																																																																																																															
		<table border="1"> <tr> <td>指 標</td> <td>H22年度実績</td> <td>H28年度目標</td> </tr> <tr> <td>認定看護師数（人）</td> <td>6分野7人</td> <td>10分野12人</td> </tr> </table>	指 標	H22年度実績	H28年度目標	認定看護師数（人）	6分野7人	10分野12人	<table border="1"> <tr> <td>指 標</td> <td>H27年度目標</td> </tr> <tr> <td>認定看護師数（人）</td> <td>11分野14人</td> </tr> </table>	指 標	H27年度目標	認定看護師数（人）	11分野14人	<table border="1"> <tr> <td>指 標</td> <td>H27年度</td> <td>H26年度</td> <td>H25年度</td> <td>H24年度</td> </tr> <tr> <td>認定看護師数（人）</td> <td>11分野15人</td> <td>10分野13人</td> <td>9分野11人</td> <td>8分野9人</td> </tr> </table>	指 標	H27年度	H26年度	H25年度	H24年度	認定看護師数（人）	11分野15人	10分野13人	9分野11人	8分野9人																																																																																														
指 標	H22年度実績	H28年度目標																																																																																																																				
認定看護師数（人）	6分野7人	10分野12人																																																																																																																				
指 標	H27年度目標																																																																																																																					
認定看護師数（人）	11分野14人																																																																																																																					
指 標	H27年度	H26年度	H25年度	H24年度																																																																																																																		
認定看護師数（人）	11分野15人	10分野13人	9分野11人	8分野9人																																																																																																																		

《大項目》 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

中期目標	第2-4-(5) 医療従事者の育成への貢献 医学生、看護学生の実習を積極的に受け入れるなど、県内の医療従事者の育成に貢献すること。
------	--

《評価項目No.2 4》 医療従事者の育成への貢献

中期計画	年度計画 《評価項目》	業務実績内容／法人の自己評価・課題等		評価委員会の評価																																	
		自己評価	評価結果	コメント																																	
<p>(5) 医療従事者の育成への貢献 県内医療従事者の育成を図るため、医学生、看護学生等の実習の受入体制を整備し、積極的に実習を受け入れる。そのため、必要となる指導者の養成等その受入体制を充実する。</p> <p>また、医療従事者を対象とした研修会等への講師派遣要請については積極的に対応していく。</p> <p>さらには、海外の学会への参加や海外からの研修生の受入れ等を通して、国際的な視野をもった医療従事者の育成を図る。</p>	<p>《評価項目No.2 4》 (5) 医療従事者の育成への貢献 県内医療従事者の育成を図るため、医学生、看護学生等の実習を積極的に受け入れる。受入体制の充実のため、指導者の養成等の指導体制の整備を図る。</p> <p>また、医療従事者を対象とした研修会等への講師派遣要請については積極的に対応するとともに、院内看護専門研修の一部公開も実施していく。</p>	<p>○ 医学生、看護学生等の実習を受け入れ、県内医療従事者の育成を図った。 ● 医学実習生 108人 ● 看護実習生 4,066人</p> <p>○ 実習受入体制を充実するため、必要となる指導者の養成を図った。平成27年度は、医師は1人、看護師は3人の指導者を養成した。 ※なお、医師の指導医養成講習会については、医師 3名で申し込んだものの、1名の参加しか認められなかったため、平成28年度においても引き続き多数の参加ができるよう要請する。</p> <p>○ 研修会等への講師派遣要請に、積極的に対応した。 ● 主な講師派遣要請例 ・ 三重大学講師 ・ 三重県立看護大学講師 ・ 四日市看護医療大学 ・ 鈴鹿医療科学大学 ・ ユマニテク看護助産専門学校講師 ・ 四日市医師会看護専門学校講師 ・ 桑名高校衛生看護科講師 ・ 聖十字看護専門学校</p>	IV	III	<p>実習生の受け入れ体制を充実するため指導者の育成を計画的に実施し、実習生の受け入れも積極的に行ったが、一方、医師の指導医養成講習参加者数は、実施機関の都合により目標数を達成できなかった。</p> <p>医師及び看護師の実習受け入れ状況を評価するにあたり、量的なものとして指導者数があるが、質的なものとして指導者数があげられると思う。質的評価に伴い量的評価が追従すると考えられ指導者数が着実に増加していることは質的向上が推測され、評価に値すると考える。</p> <p>今後、職場環境を工夫することにより、一更の実習生の受け入れにつながるよう期待する。 なお、中期計画にある海外研修や海外からの研修生受け入れについても一定の成果が欲しい。</p>																																
<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>H22年度実績</th> <th>H28年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>臨床研修指導医養成講習参加者数(人/各年度)</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">3</td> </tr> <tr> <td>看護実習指導者養成数(人)</td> <td style="text-align: center;">22</td> <td style="text-align: center;">32</td> </tr> </tbody> </table>	指標	H22年度実績	H28年度目標	臨床研修指導医養成講習参加者数(人/各年度)	3	3	看護実習指導者養成数(人)	22	32	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>H27年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>臨床研修指導医養成講習参加者数(人/各年度)</td> <td style="text-align: center;">3</td> </tr> <tr> <td>看護実習指導者養成数(人)</td> <td style="text-align: center;">30</td> </tr> </tbody> </table>	指標	H27年度目標	臨床研修指導医養成講習参加者数(人/各年度)	3	看護実習指導者養成数(人)	30	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>H27年度</th> <th>H26年度</th> <th>H25年度</th> <th>H24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>臨床研修指導医養成講習参加者数(人/各年度)</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">3</td> </tr> <tr> <td>看護実習指導者養成数(人)</td> <td style="text-align: center;">33</td> <td style="text-align: center;">29</td> <td style="text-align: center;">27</td> <td style="text-align: center;">24</td> </tr> </tbody> </table>	指標	H27年度	H26年度	H25年度	H24年度	臨床研修指導医養成講習参加者数(人/各年度)	1	1	3	3	看護実習指導者養成数(人)	33	29	27	24	<p>※平成27年度は、業務補助職員1名を含む。</p>				
指標	H22年度実績	H28年度目標																																			
臨床研修指導医養成講習参加者数(人/各年度)	3	3																																			
看護実習指導者養成数(人)	22	32																																			
指標	H27年度目標																																				
臨床研修指導医養成講習参加者数(人/各年度)	3																																				
看護実習指導者養成数(人)	30																																				
指標	H27年度	H26年度	H25年度	H24年度																																	
臨床研修指導医養成講習参加者数(人/各年度)	1	1	3	3																																	
看護実習指導者養成数(人)	33	29	27	24																																	

《大項目》 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

中期目標	第2-5 医療に関する調査及び研究 提供する医療の質の向上や県内の医療水準の向上、新たな医療技術への貢献のため、調査及び研究に取り組むこと。
------	---

《評価項目No.25》 医療に関する調査及び研究

中期計画	年度計画 《評価項目》	業務実績内容／法人の自己評価・課題等		評価委員会の評価 コメント
		自己評価	評価結果	
<p>5 医療に関する調査及び研究</p> <p>提供する医療の質の向上や県内の医療水準の向上、新たな医療技術に貢献するため、豊富な臨床事例をもとに、各種調査研究を積極的に推進する。</p> <p>また、各種学会等での研究論文の発表や高度・特殊医療の実績等、医療に関する研究に有用な情報を公表する。</p>	<p>《評価項目No.25》</p> <p>5 医療に関する調査及び研究</p> <p>各種学会等での研究論文の発表や高度・特殊医療の実績等、医療に関する研究に有用な情報を公表するとともに、豊富な臨床事例をもとに、各種調査研究を積極的に推進する。</p> <p>また、電子カルテの入力情報に基づくデータ分析を実施し、診療記録を含む医療情報の充実を図る。</p>	<p>○ 各種学会等での研究論文の発表実績や、高度・特殊医療の診療実績等をホームページにおいて公表するとともに、各診療科の診療実績をまとめた「総合医療センター年報」を電子ベースにおいて公表している。</p> <p>○ DPC（診断）データを分析し、効果的な医療実施に向けた情報提供を行った。</p> <p>※DPC（診断群分類包括評価）とは、病気のグループごとに入院1日当たりの診療報酬を病院ごとに定める定額支払い制度のこと。</p> <p>○ 三重大学医学部附属病院が主体となって進める「がん診療のPDCAサイクルに関する調査研究」に参加し、診療体制とその運用についての検証を実施した。</p>	<p>III</p> <p>III</p>	<p>学術・学会での発表が若干増えている。</p> <p>多忙な診療等の間、精神的にも肉体的にも負担をかけることではあるが更なる努力を期待する。</p>

中期計画	年度計画 《評価項目》	業務実績内容／法人の自己評価・課題等		評価委員会の評価	
		自己評価	評価結果	コメント	
		<p>○ 院内の診療データを活用し、各診療科のニーズに対応するため統計データ等を抽出し、カンファレンス、症例検討会等に積極的に活用できるよう情報提供の充実を図った。</p> <p>● 学会・学術発表等の代表例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第101回日本消化器病学会総会 H27. 4. 23 「次世代シーケンスを用いた大腸腺腫内癌患者と健常者の腸内細菌の比較検討」 ・ 第70回日本消化器外科学会総会 H27. 7. 15 「T-shaped anastomosisによる腹腔鏡下胃全摘後の再建法の導入」ほか2例 ・ 第53回日本癌治療学会学術大会 H27. 10. 31 「当院におけるがん性疼痛の突出痛に対する粘膜吸収性フェンタニル製剤の使用経験」 ・ 第28回日本内視鏡外科学会総会 H27. 12. 12 「閉塞機転からみた術後癒着性腸閉塞に対する腹腔鏡手術の検討」 ・ 第68回日本胸部外科学会総会 H27. 10. 17～20 「ハイリスク難治性気胸に対するリスク評価と治療戦略」 ・ 第103回日本泌尿器科学会総会 H27. 4. 19 「膀胱癌plasmacytoid carcinomaの2例」 ・ 第89回日本感染症学会総会 H27. 4. 16～17 「当院における血液培養検査状況について」 <p style="text-align: right;">他</p>			

《大項目》 第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

中期目標	第3 業務運営の改善及び効率化に関する事項
	医療サービスの一層の向上と経営基盤の強化を図るため、業務運営の改善及び効率化を推進すること。 1 適切な運営体制の構築 医療環境の変化に柔軟かつ迅速に対応できるよう、運営体制を構築すること。

《評価項目No.26》 適切な運営体制の構築

中期計画	年度計画 《評価項目》	業務実績内容／法人の自己評価・課題等		評価委員会の評価	
		自己評価	評価結果	コメント	
<p>第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>1 適切な運営体制の構築</p> <p>理事長のリーダーシップのもと、全職員が目標に向けて取り組んでいくため、マネジメントツールとしてバランス・スコア・カード（BSC）を活用するとともに、各部門が専門性を発揮し、医療環境の変化に的確かつ迅速に対応できるよう副院長の役割分担を柔軟に行うなど効果的・効率的な運営体制を構築する。</p>	<p>第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>《評価項目No.26》</p> <p>1 適切な運営体制の構築</p> <p>地方独立行政法人として、理事長のリーダーシップのもと、全職員が目標に向けて取り組んでいくため、組織体制を円滑に運用するとともに、医療環境の変化や県民の医療需要の変化等に対応し、業務の質的向上につながる効率的な組織づくりを進める。</p>	<p>○ 地域の医療ニーズや近年の医療動向を踏まえ、院内の各診療科の協力体制及び地域の医療機関等との連携体制の一層の強化を進めながら、当院の診療機能の充実を図るため、診療体制（組織）の見直しを行い、下記の診療科を設置した。（H28.4.1設置の決定を含む。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・救急科の新設（H27.9.1） ・北勢呼吸器センターの新設（H27.10.1） ・消化器外科の新設（H28.4.1） ・乳腺外科の新設（H28.4.1） ・総合内科の新設（H28.4.1） <p>○ 地域の医療機関との機能分化を推進するため、診療部、地域連携課、医事経営課等、院内各部課の連携による紹介率の向上（紹介患者の増）に向けた対策を検討、実施した。</p> <p>（対策例）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選定療養費の見直し（H28.2.1） ・電子カルテの「転帰」記載の徹底 ・退院時情報提供書の添付の徹底による逆紹介率の向上 	IV	IV	<p>地域の医療機関との機能分化を推進するため、各々が協力して紹介率の向上に向けた対策を行ったことは評価できる。</p> <p>また、診療機能の充実を図るため、診療体制（組織）の見直しを行い、5つの診療科の設置を実現した。</p> <p>総合的な診療と専門診療は診療の両輪であり、両者を新設したことは評価に値する。これら各々が密接に連携し、機能することを強く期待する。</p>

中期計画	年度計画 《評価項目》	業務実績内容／法人の自己評価・課題等		評価委員会の評価																
		自己評価	評価結果	コメント																
	<p>また、マネジメントツールとしてバランス・スコア・カード（BSC）を活用し、各部門が専門性を発揮しつつマネジメントサイクルを回していく仕組みを維持する。</p>	<p>○ バランス・スコア・カード（BSC）の活用により、理事長等との対話を通じて、各部門や各診療科が各々の目標を設定し、その達成を目指す仕組みを維持している。</p> <p>● BSCによる対話実施数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27年度</th> <th>H26年度</th> <th>H25年度</th> <th>H24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>部門レベル</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>課・診療科レベル</td> <td>20</td> <td>19</td> <td>19</td> <td>18</td> </tr> </tbody> </table>		H27年度	H26年度	H25年度	H24年度	部門レベル	12	12	12	8	課・診療科レベル	20	19	19	18			
	H27年度	H26年度	H25年度	H24年度																
部門レベル	12	12	12	8																
課・診療科レベル	20	19	19	18																

《大項目》 第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

中期目標	第3-2 効果的・効率的な業務運営の実現 医療環境の変化に応じて職員の配置や予算執行を弾力的に行うなど、効果的・効率的な業務運営を行うこと。
------	---

《評価項目No.27》 効果的・効率的な業務運営の実現

中期計画	年度計画 《評価項目》	業務実績内容／法人の自己評価・課題等	評価委員会の評価	
			自己評価	評価結果 コメント
2 効果的・効率的な業務運営の実現 経営基盤を強化し、より一層医療サービスを向上させるため、医療ニーズの多様化・高度化、患者動向などの変化に対応できるよう必要となる職員配置や業務推進体制等について柔軟に対応していく。	<p>《評価項目No.27》</p> <p>2 効果的・効率的な業務運営の実現</p> <p>医療ニーズの多様化・高度化、患者動向などの変化への対応に必要な職員配置や業務推進体制等について柔軟に対応する。</p> <p>また、医療情報システム、人事給与システム、財務管理システム等を最大限に活用して、効果的・効率的な業務運営を推進する。</p> <p>さらに、定型的な業務の委託化、派遣職員化について、費用対効果や将来性、業務の質の確保を考慮し、検討を行ったうえで、一定の結論を出していく。</p>	<p>○ 医療環境の変化に対応するため、平成28年4月採用予定の薬剤師1名、臨床検査技師1名、事務職員1名の採用を決定した。</p> <p>○ 職員の意欲・能力の向上、人材育成を目的に、人事評価制度の導入の検討、制度の構築、試行を実施し、平成28年度からの本格的な導入を決定した。</p> <p>○ 平成23年度に導入した医療情報システムに対する使用者の疑問点を解決していくとともに、他の関連システムとのつながりを精査する等、より効果的な活用を推進した。</p> <p>○ 定型業務の委託化、派遣職員化については、当面の間、プロパー職員の育成及び採用を優先することとした。</p>	IV	IV <p>コメディカル及び事務職員の採用を決定し、現状に必要な職員配置を行った。また人事評価制度の導入検討・制度構築・試行・導入決定を行い、より効果的で効率的な人材育成・評価が期待できる。ただし、職員にとって人事評価制度が有益な制度となるよう運用を期待する。</p> <p>また、電子的ツールを用いて業務改善に努めていることは評価できる。業務を継続的に円滑に進めていくため、システムの維持管理の核となるプロパー職員は重要であり、その育成に努めていただきたい。</p> <p>なお、今期の給与費は前期比で大幅に増加しており、人員確保という面を差し引いても効果的で効率的な業務運営であるのか再検討も必要であろう。</p>

《大項目》 第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

中期目標	第3-3 業務改善に継続して取り組む組織文化の醸成 すべての職員が病院の基本理念を共有し、継続して業務改善に取り組む組織文化を醸成すること。
------	---

《評価項目No.28, 29》 業務改善に継続して取り組む組織文化の醸成

中期計画	年度計画 《評価項目》	業務実績内容／法人の自己評価・課題等		評価委員会の評価 コメント
		自己評価	評価結果	
3 業務改善に継続して取り組む組織文化の醸成 すべての職員が病院の基本理念を共有し、継続して業務改善に取り組むことのできる組織文化の醸成を目指す。	3 業務改善に継続して取り組む組織文化の醸成 すべての職員が病院の基本理念を共有し、継続して業務改善に取り組む組織文化の醸成を目指す。	○ 病院の基本理念は、病院各所に掲げられ、院内職員に周知され、共有されている。 ○ 部門長及び診療科部長のBSCにおける業務改善目標を浸透させるだけでなく、TQM活動（※）等を通じて、不断の業務改善を目指していくべき組織文化の醸成を図っている。 ※TQM (Total Quality Management) 活動とは、組織全体として統一した品質管理目標への取り組みを経営戦略へ適用した活動をいう。		
(1) 経営関係情報の周知 例月の収益分析データ等の経営関係情報について、わかりやすく職員に周知し、職員の経営参画意識を高めるとともに、DPC（診断群分類包括評価）データの分析情報を提供し収益改善に資する。	《評価項目No.28》 (1) 経営関係情報の周知 毎月開催する「経営会議」において、経営分析資料として、診療科別、行為別収益分析データ等の経営関係情報を、分かりやすく経営会議メンバーに周知する。 それとともに経営会議資料・議事録の院内周知を通じて、更なる経営改善に対する職員の意識向上を図る。	○ 毎月開催する「経営会議」において、診療科別収益等の経営データに基づき、経営状況を分析・報告している。また、その資料及び経営会議の議論の概要を院内掲示板を通じて、職員全員に周知している。 ○ 日々の入院患者数及び外来患者数を、院内掲示板に常時更新掲示することによって、職員の病院経営に対する意識向上を図っている。 ○ 平成26年度の決算状況等について、説明会の開催（4回）や各種会議の場で説明し、経営関係情報の周知に努めた。 この結果、職員の病院経営に対する意識が向上し、収益の確保及び経費の削減の取組が進んだ。	IV	IV 経営会議での報告、院内掲示板や説明会の開催により職員に対して経営状況を周知したことによって、病院経営に対する意識が向上し、収益の確保や経費削減の取組が進んだことを評価する。 平成28年度診療報酬改定によりさらに厳しい環境になっているが現在の状況の維持に努めていただきたい。

中期計画	年度計画 《評価項目》	業務実績内容／法人の自己評価・課題等		評価委員会の評価 コメント								
		自己評価	評価結果									
<p>(2) 改善活動の取組</p> <p>医療の質の向上に向け効果的・効率的な業務運営を推進するため、TQM等の継続的な改善活動に取り組む</p>	<p>《評価項目No.29》</p> <p>(2) 改善活動の取組</p> <p>医療の質の向上に向けた経営改善ツールとして、TQMの手法を活用する。QCサークルを多数募り、その活動を支援して、継続的な改善活動に取り組む。</p>	<p>○ TQMの手法を医療の質の向上に向けた経営改善ツールとして活用している。</p> <p>○ 院内の15のTQMサークルが、各々のテーマに沿って改善活動に取り組み、TQM発表大会において、その成果を披露した。</p> <p>TQMサークルの活動においては、TQM推進委員会メンバーが、毎月相談会（計7回）を実施し、各サークルの改善活動の進捗をサポートした。</p> <p>○ なお、TQM活動のさらなる充実を図るため、活動内容の翌年度以降における標準化（院内各部門での横展開）の取組が必要と考えられる。</p> <p>● TQM発表大会 【日時】平成28年2月6日 【場所】当院 7階講堂 【テーマ】すべてはみんなの笑顔のために 【発表者】院内15サークル 【参加者】院外 6名 院内 94名</p> <p>● TQMサークル数</p> <table border="1"> <tr> <td>平成27年度</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>平成26年度</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>平成25年度</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>平成24年度</td> <td>12</td> </tr> </table> <p>○ また、QCサークル東海支部三重地区が主催する「QCサークル 青葉大会」に参加し、事例発表を行った結果、「体験事例優秀賞」を授賞した。</p>	平成27年度	15	平成26年度	14	平成25年度	12	平成24年度	12	<p>III</p>	<p>III</p> <p>TQMのサークル数が前年より増えており、TQM推進委員会は毎月相談会を実施するなど各サークルの改善活動をサポートした。「QCサークル 青葉大会」で賞を受賞したり、全国フォーラムで事例発表するなど医療の質の改善・向上に向けた取組として評価できる。</p> <p>今後も引き続き積極的な活動に期待したい。</p>
平成27年度	15											
平成26年度	14											
平成25年度	12											
平成24年度	12											

中期計画	年度計画 《評価項目》	業務実績内容／法人の自己評価・課題等		評価委員会の評価	
		自己評価	評価結果	コメント	
		○ このほか、「医療のTQM推進協議会」が主催する「第17回フォーラム 医療の改善活動全国大会in伊勢」に、当院から1サークルが参加し、事例発表を行った。			

《大項目》 第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

中期目標	第3-4 就労環境の向上 職員が働きやすく、また、働きがいのある病院となるよう、就労環境の向上を図ること。
------	--

《評価項目No.30》 就労環境の向上

中期計画	年度計画 《評価項目》	業務実績内容／法人の自己評価・課題等		評価委員会の評価	
		自己評価	評価結果	コメント	
<p>4 就労環境の向上</p> <p>ワークライフバランスに配慮した、働きやすく、働きがいのある職場環境の実現に向け、職員満足度調査を定期的に行い、職員の意見、要望をより的確に把握して、就労環境の向上を図る。</p> <p>また、院内保育所の維持・サービスの向上や、更衣室、休憩室の充実、さらには駐車場不足の解消など、働きやすい環境づくりを進める。</p>	<p>4 就労環境の向上</p> <p>ワークライフバランスに配慮した勤務環境、職場環境の整備に努めるとともに、病院全体での職員満足度調査を年1回実施し、そこでの職員の意見、要望をより的確に把握、分析するとともに、それに基づいた就労環境の向上策を検討する。</p> <p>また、適切な人員配置による業務分担の効率化や業務内容の見直し等により、時間外勤務の縮減を目指す。</p> <p>さらに、職員からの要望の多いコンビニ設置の具体化など、働きやすい環境づくりを進める。</p>	<p>(職員アンケート調査)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 職員アンケート調査を平成27年11月に実施した結果(回答者数612名)では、職員満足度は68.1%となり、ほぼ前年度と同じ結果(68.5%)となった。 ○ 満足度の高い項目は、「研修参加機会の公平さ」で、低い項目は、「仕事の内容に見合った給与」と前回と同じ結果であった。 ○ このアンケート結果を踏まえ、自由記述での意見及び満足度が低い項目への対応を検討し、地域手当の見直しや福利厚生面におけるコンビニのオープン、更衣室の整備等を行った。 <p>(職場労働安全衛生委員会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 職場労働安全衛生委員会が年1回実施する職場巡視の結果を受けて、職場環境の改善を実施した。 <p>(時間外勤務削減)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 時間外勤務時間については、ワークライフバランスに配慮した勤務の意識向上や環境の定着により、一人当たりの時間外勤務時間が減少しており、平成27年度においては、勤務時間数が約10%減少した。 	IV	IV	<p>職員アンケートで得られた意見から地域手当の見直しやコンビニエンスストアの設置、施設の整備を実現し、またワークライフバランスに配慮した意識の向上や環境の改善により時間外勤務時間数の削減ができたことは評価できる。ただし、個々にさらに検討を重ねる必要がある。</p> <p>一方、職員満足度が前年より下がっており、また目標値に達していない。引き続き働きやすく働き甲斐のある環境づくりに努められたい。</p>

中期計画			年度計画 《評価項目》		業務実績内容／法人の自己評価・課題等		評価委員会の評価 コメント														
							自己 評価	評価 結果													
					●職員一人当たり時間外勤務時間の状況(時間) <table border="1"> <tr><td>平成27年度</td><td>187.50</td></tr> <tr><td>平成26年度</td><td>215.34</td></tr> <tr><td>平成25年度</td><td>233.50</td></tr> <tr><td>平成24年度</td><td>237.64</td></tr> </table>		平成27年度	187.50	平成26年度	215.34	平成25年度	233.50	平成24年度	237.64							
平成27年度	187.50																				
平成26年度	215.34																				
平成25年度	233.50																				
平成24年度	237.64																				
					●職員満足度(%) <table border="1"> <tr><td>指標</td><td>H27年度</td><td>H26年度</td><td>H25年度</td><td>H24年度</td></tr> <tr><td>職員満足度(%)</td><td>68.1</td><td>68.5</td><td>67.8</td><td>68.1</td></tr> </table>		指標	H27年度	H26年度	H25年度	H24年度	職員満足度(%)	68.1	68.5	67.8	68.1					
指標	H27年度	H26年度	H25年度	H24年度																	
職員満足度(%)	68.1	68.5	67.8	68.1																	
<table border="1"> <tr><td>指標</td><td>H22年度実績</td><td>H28年度目標</td></tr> <tr><td>職員満足度(%)</td><td>65.0</td><td>70.0</td></tr> </table>			指標	H22年度実績	H28年度目標	職員満足度(%)	65.0	70.0	<table border="1"> <tr><td>指標</td><td>H27年度目標</td></tr> <tr><td>職員満足度(%)</td><td>69.0</td></tr> </table>		指標	H27年度目標	職員満足度(%)	69.0							
指標	H22年度実績	H28年度目標																			
職員満足度(%)	65.0	70.0																			
指標	H27年度目標																				
職員満足度(%)	69.0																				

《大項目》 第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

中期目標	第3-5 人材の確保・育成を支えるしくみの整備 人材の確保・育成を支えるしくみを整備し、組織力の向上に向けて、職員一人ひとりが、その意欲と能力を最大限発揮できる環境づくりを行うこと。
------	--

《評価項目No.3 1》 人材育成を支える仕組みの整備

中期計画	年度計画 《評価項目》	業務実績内容／法人の自己評価・課題等	評価委員会の評価	
			自己評価	評価結果 コメント
5 人材の確保、育成を支える仕組みの整備 職員の意欲向上と人材育成に資するとともに、より適切な人事管理に活用できるような業績や能力を評価する仕組みについて検討する。	《評価項目No.3 1》 5 人材育成を支える仕組みの整備 職員の意欲向上と人材育成に努めるとともに、より適切な人事管理を目指して、業績や能力を評価する仕組み、及びその評価結果を反映した給与制度の構築に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 部門長等の基本的な人事評価は、バランス・スコア・カード（BSC）を基にして実施している。 ○ 医師の人事評価制度を構築するため、外部委託による制度検討を開始し、平成28年度からの導入を決定した。 ○ また、医師以外の職員の人事評価制度についての検討を行い、平成28年度からの導入を決定した。 	IV	III 医師をはじめ医師以外の職員の人事評価制度についての検討を行い、仕組みの整備を行うことができたことは評価できる。 今後、制度導入によりその結果をどのように活用するのか。職員のモチベーションが高まるようになることを期待する。 人事評価制度が機能した成果が現れる次年度の報告を待ち、判断していきたい。

《大項目》 第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

中期目標	<p>第3-6 事務部門の専門性の向上と効率化</p> <p>病院経営や医療事務に精通した職員を確保、育成することにより、事務部門の専門性の向上を図ること。また、業務の継続的な見直しを行い、事務部門の効率化を図ること。</p>
------	---

《評価項目No.3 2》 事務部門の専門性の向上と効率化

中期計画	年度計画 《評価項目》	業務実績内容／法人の自己評価・課題等		評価委員会の評価	
		自己評価	評価結果	コメント	
<p>6 事務部門の専門性の向上と効率化</p> <p>病院経営を支える事務部門としての専門性の向上を図るため、計画的に職員を採用するとともに、診療報酬制度や財務経営分析等に関する研修を実施、充実し、病院経営や医療事務に精通した職員を育成、確保する。</p> <p>また、業務の継続的な見直しや改善を行い、事務部門における業務運営の効率化を図る。</p>	<p>6 事務部門の専門性の向上と効率化</p> <p>病院経営を支える事務部門の専門性の向上を図るため、事務部門のプロパー化計画のもと、計画的に職員を採用するとともに、診療報酬制度や財務経営分析等に関する研修を実施し、病院経営や医療事務に精通した職員を育成、確保する。</p> <p>また、業務の継続的な見直しや改善を行い、事務部門における業務運営の効率化を図る。</p>	<p>○ 事務部門のプロパー化計画に基づき、職員確保を引き続き進め、事務職員1名を採用（H28.4.1）した。</p> <p>○ 病院経営に関する経営分析結果を、代表者会議（毎月）、看護師長会（毎月）等においてわかりやすく解説している。</p> <p>○ 平成26年度の業務実績評価・決算報告に関する説明会を平成27年9～10月に4回実施し、法人の運営状況について職員への周知を図った。</p> <p>○ また、新たに採用したプロパー職員や県からの転入者を対象に、法人会計の概要や経理に関する研修を実施したほか、中間決算時や決算時に説明会を開催し、経理事務に関する知識やノウハウの共有化に努めた。</p> <p>○ 法人化に伴い、平成24年度から導入した「人事給与システム」「財務管理システム」の運用がより定着するとともに、継続的な業務改善に努めた結果、事務部門では一人あたりの時間外勤務時間が約11%減少した。</p>	III	III	<p>計画に基づいた事務部門のプロパー職員の確保に努め、病院の経営状況に関する情報を会議等で職員に積極的に説明し、理解を得て日常の業務に反映させたことで事務部門の時間外勤務時間数が大幅に減少したことは評価できる。</p> <p>一方、今期の収支計画において、薬品費に係る過年度損益修正益が発生した事実は重く、経理部門の専門性の向上とチェック体制の強化に努められたい。</p>

《大項目》 第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

中期目標	<p>第3-7 収入の確保と費用の節減</p> <p>病床利用率の向上、診療報酬制度への適切な対応、診療報酬の請求漏れ防止や未収金対策の徹底などにより収入の確保を図ること。また、薬品や診療材料の在庫管理の徹底や、多様な契約手法の検討などにより費用の節減に取り組むこと。</p>
------	--

《評価項目No.33, 34》 収入の確保と費用の節減

中期計画	年度計画 《評価項目》	業務実績内容／法人の自己評価・課題等		評価委員会の評価									
		自己評価	評価結果	コメント									
<p>7 収入の確保と費用の節減</p> <p>(1) 収入の確保 各部門間の連携を円滑に進め、7対1看護基準体制を維持しながら、DPC（診断群分類包括評価）で設定されている平均在院日数を目標に稼働率の向上に努めるなど、適正で効果的な病床管理を行う。さらに、病棟看護師数の充足状況に応じて稼働病床数を増床し、診療体制を充実させることにより収入の確保に努める。</p>	<p>7 収入の確保と費用の節減 《評価項目No.33》</p> <p>(1) 収入の確保 各部門間の連携を円滑に進め、7対1看護基準体制を維持する。</p> <p>病床管理委員会を活用することにより、新たな「病床機能報告制度」に応じた適正で効率的な病床管理を行い、各病棟の稼働率の向上に努める。</p>	<p>○ 外来患者数及び単価の増加により、医業（入・外）収益の確保に努めた結果、法人化以後、過去最高の医業収益額を確保できた。</p> <p>○ また、7対1看護基準体制を維持するため、各部門間の連携を円滑に進め、看護師の勤務状況及び医療・看護必要度データを随時把握し、看護体制を管理するよう努めた。</p> <p>● 医業収益額（千円）</p> <table border="1"> <tr><td>平成27年度</td><td>9,859,996</td></tr> <tr><td>平成26年度</td><td>9,527,390</td></tr> <tr><td>平成25年度</td><td>9,205,219</td></tr> <tr><td>平成24年度</td><td>8,942,878</td></tr> </table> <p>○ 紹介患者の積極的な受入れに取り組むとともに、病棟間でのフレキシブルな患者移動等、効率的な病床管理を図り、入院患者の増に努めた。しかしながら、紹介患者数は、前年度に比べて1100人増加したものの、入院患者全体では減少し、稼働率は年度計画の目標値を下回った。</p>	平成27年度	9,859,996	平成26年度	9,527,390	平成25年度	9,205,219	平成24年度	8,942,878	IV	IV	<p>高額な新薬使用に伴う収入増のほか、紹介率アップによる来院患者の増加により過去最高の医業収益を達成することができた。また診療報酬減点率の低水準での維持、7対1看護基準体制による入院基本料金の維持並びに未収金残高を減少できたことは評価できる。</p> <p>一方、医療環境の変化に伴い、入院患者数が減少し、病床稼働率が目標値を下回っており入院収益が減少した。</p> <p>県の中核病院として紹介による外来患者数と入院患者数の増加を図り、及び病床稼働率が年度計画目標値を上回るよう期待したい。</p>
平成27年度	9,859,996												
平成26年度	9,527,390												
平成25年度	9,205,219												
平成24年度	8,942,878												

中期計画	年度計画 《評価項目》	業務実績内容／法人の自己評価・課題等				評価委員会の評価																													
		自己評価	評価結果	コメント																															
<p>また、診療報酬の査定率の減少及び改定時の的確な対応、未収金発生抑止策の強化等に取り組む。</p>	<p>また、「医療経営委員会」の定期的開催と効果的運用により、診療報酬の査定率の減少を目指すとともに、未収金発生の未然防止を徹底する取組の強化を図る。</p> <p>さらに、発生した未収金については、これまでの法的対応策を継続的に実施するとともに、弁護士委託等を活用して回収を推進する。</p>	<p>○ 診療報酬の査定率減少を図るため、「医療経営委員会」を定期的に開催し、審査担当医師からの査定率や減点等に関する情報に基づく検討及び情報共有を進めた結果、診療報酬査定率を低い水準で維持することができた。</p> <p>● 診療報酬査定推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27年度</th> <th>H26年度</th> <th>H25年度</th> <th>H24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>減点率 (%)</td> <td>0.16</td> <td>0.15</td> <td>0.18</td> <td>0.16</td> </tr> <tr> <td>減点額 (千円)</td> <td>13,730</td> <td>12,592</td> <td>14,029</td> <td>12,208</td> </tr> <tr> <td>高額減点件数(3千点以上)</td> <td>61</td> <td>57</td> <td>53</td> <td>51</td> </tr> <tr> <td>返戻件数 (件)</td> <td>603</td> <td>621</td> <td>399</td> <td>313</td> </tr> <tr> <td>過誤件数 (件)</td> <td>322</td> <td>313</td> <td>402</td> <td>421</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 未収金については、未然抑止策と発生した未収金の回収策の両面をもって対処している。</p> <p>● 未収金未然防止策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入院時に概算費用の提示や各種医療福祉制度等を説明している。 ・救急搬送患者に対する身元確認、保険確認等を早期に行い、医療保険制度の活用を促し紹介等を行っている。 ・クレジットカード決済を導入することにより、高額支払の円滑化を図っている。 ・患者案内の強化により、カード決済の利用件数及び支払金額は向上している。 <p>● 未収金回収策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的に督促状を発送し、早期に未収金回収に着手している。 ・未納者が受診した際には、面談による納付催告を実施している。 ・回収困難な未収金について、裁判所への支払督促の申立てをしている。 		H27年度	H26年度	H25年度	H24年度	減点率 (%)	0.16	0.15	0.18	0.16	減点額 (千円)	13,730	12,592	14,029	12,208	高額減点件数(3千点以上)	61	57	53	51	返戻件数 (件)	603	621	399	313	過誤件数 (件)	322	313	402	421			
	H27年度	H26年度	H25年度	H24年度																															
減点率 (%)	0.16	0.15	0.18	0.16																															
減点額 (千円)	13,730	12,592	14,029	12,208																															
高額減点件数(3千点以上)	61	57	53	51																															
返戻件数 (件)	603	621	399	313																															
過誤件数 (件)	322	313	402	421																															

中期計画	年度計画 《評価項目》	業務実績内容／法人の自己評価・課題等		評価委員会の評価																																																		
		自己評価	評価結果	コメント																																																		
		<p>●クレジットカード利用実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27年度</th> <th>H26年度</th> <th>H25年度</th> <th>H24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>18,604</td> <td>16,004</td> <td>14,057</td> <td>11,501</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td>293,514千円</td> <td>262,576千円</td> <td>235,498千円</td> <td>220,756千円</td> </tr> </tbody> </table>			H27年度	H26年度	H25年度	H24年度	件数	18,604	16,004	14,057	11,501	金額	293,514千円	262,576千円	235,498千円	220,756千円																																				
	H27年度	H26年度	H25年度	H24年度																																																		
件数	18,604	16,004	14,057	11,501																																																		
金額	293,514千円	262,576千円	235,498千円	220,756千円																																																		
		<p>●未収金残高</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">H27年度</th> <th colspan="2">H26年度</th> <th colspan="2">H25年度</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>金額(千円)</th> <th>件数</th> <th>金額(千円)</th> <th>件数</th> <th>金額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現年度分</td> <td>258</td> <td>47,847</td> <td>292</td> <td>59,032</td> <td>233</td> <td>53,488</td> </tr> <tr> <td>過年度分</td> <td>148</td> <td>16,526</td> <td>203</td> <td>20,243</td> <td>317</td> <td>47,103</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>406</td> <td>64,373</td> <td>495</td> <td>79,275</td> <td>550</td> <td>100,591</td> </tr> <tr> <td>破産更正債権</td> <td colspan="2">68,591</td> <td colspan="2">55,784</td> <td colspan="2">53,091</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td colspan="2">132,964</td> <td colspan="2">135,059</td> <td colspan="2">153,682</td> </tr> </tbody> </table> <p>※各年度、翌年3月31日現在。</p>			H27年度		H26年度		H25年度		件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	現年度分	258	47,847	292	59,032	233	53,488	過年度分	148	16,526	203	20,243	317	47,103	小計	406	64,373	495	79,275	550	100,591	破産更正債権	68,591		55,784		53,091		合計	132,964		135,059		153,682				
	H27年度		H26年度		H25年度																																																	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)																																																
現年度分	258	47,847	292	59,032	233	53,488																																																
過年度分	148	16,526	203	20,243	317	47,103																																																
小計	406	64,373	495	79,275	550	100,591																																																
破産更正債権	68,591		55,784		53,091																																																	
合計	132,964		135,059		153,682																																																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th>指 標</th> <th>H22年度実績</th> <th>H28年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病床稼働率 (%)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 実働病床数ベース</td> <td>88.8</td> <td>90</td> </tr> <tr> <td> 許可病床数ベース</td> <td>66.1</td> <td>72.6</td> </tr> </tbody> </table>	指 標	H22年度実績	H28年度目標	病床稼働率 (%)			実働病床数ベース	88.8	90	許可病床数ベース	66.1	72.6	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指 標</th> <th>H27年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病床稼働率 (%)</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 実働病床数ベース</td> <td>87.0</td> </tr> <tr> <td> 許可病床数ベース</td> <td>72.4</td> </tr> </tbody> </table>	指 標	H27年度目標	病床稼働率 (%)		実働病床数ベース	87.0	許可病床数ベース	72.4	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指 標</th> <th>H27年度</th> <th>H26年度</th> <th>H25年度</th> <th>H24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病床稼働率 (%)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 実働病床数ベース</td> <td>82.9</td> <td>84.3</td> <td>84.2</td> <td>87.2</td> </tr> <tr> <td> 許可病床数ベース</td> <td>69.1</td> <td>70.1</td> <td>68.0</td> <td>66.1</td> </tr> </tbody> </table>	指 標	H27年度	H26年度	H25年度	H24年度	病床稼働率 (%)					実働病床数ベース	82.9	84.3	84.2	87.2	許可病床数ベース	69.1	70.1	68.0	66.1												
指 標	H22年度実績	H28年度目標																																																				
病床稼働率 (%)																																																						
実働病床数ベース	88.8	90																																																				
許可病床数ベース	66.1	72.6																																																				
指 標	H27年度目標																																																					
病床稼働率 (%)																																																						
実働病床数ベース	87.0																																																					
許可病床数ベース	72.4																																																					
指 標	H27年度	H26年度	H25年度	H24年度																																																		
病床稼働率 (%)																																																						
実働病床数ベース	82.9	84.3	84.2	87.2																																																		
許可病床数ベース	69.1	70.1	68.0	66.1																																																		

中期計画	年度計画 《評価項目》	業務実績内容／法人の自己評価・課題等		評価委員会の評価																					
		自己評価	評価結果	コメント																					
<p>(2) 費用の節減</p> <p>医薬品や診療材料の適正な在庫管理や後発医薬品の採用及び使用促進、多様な調達手法の導入など材料費のコスト管理を行いながら、その抑制に努める。</p> <p>また、職員全員のコスト意識や省エネ意識を向上させ、経常経費の節減を図っていく。</p>	<p>《評価項目No.34》</p> <p>(2) 費用の節減</p> <p>医薬品については、ベンチマークシステムを活用し、データに裏付けされた実効性のある薬価交渉を実施するとともに、後発医薬品の効率的な導入を推進することによって、薬品費の節減を図る。</p> <p>診療材料についても、業者間の競争を促すとともに必要に応じた価格交渉を実施したうえで、SPD（価格交渉を主体とする物品物流管理システム）の外部委託を引き続き検討していく。</p>	<p>○ ベンチマークシステムと他の自治体病院の値引状況等を基に、ディーラー及び主たるメーカーとの価格交渉を行った結果、薬品コストの削減を実現できた。</p> <p>○ 薬事審議委員会において策定した基本方針のもと、機能評価係数Ⅱを確保することができた。後発品使用率については、年度計画の目標値には届かなかったものの、高額な新薬が上市する中においても高位な率を確保することができた。</p> <p>○ 他の自治体病院の実勢価格以上で当院が取引している診療材料について、価格交渉を実施するとともに、ディーラーに安価な代替品の提案を募集し、経費の節減（値下げ）に努め、一定の成果をあげることができた。</p> <p>○ なお、SPDについては、業者からヒアリングし、価格交渉代行に重きを置くものから、適正な物流管理に重きを置くスタイルの外部委託を引き続き検討することとした。</p> <p>●薬品比率・診療材料比率推移（％）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27年度</th> <th>H26年度</th> <th>H25年度</th> <th>H24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬品比率</td> <td>16.7</td> <td>16.0</td> <td>15.5</td> <td>15.5</td> </tr> <tr> <td>診療材料比率</td> <td>10.7</td> <td>10.7</td> <td>10.8</td> <td>10.2</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>27.4</td> <td>26.7</td> <td>26.3</td> <td>25.7</td> </tr> </tbody> </table> <p>※両比率とも、医業収益に対する割合</p>		H27年度	H26年度	H25年度	H24年度	薬品比率	16.7	16.0	15.5	15.5	診療材料比率	10.7	10.7	10.8	10.2	計	27.4	26.7	26.3	25.7	Ⅲ	Ⅲ	<p>ディーラー及びメーカーとの価格交渉を行い、薬品コストの削減を実現した。また診療材料についても価格交渉を行ったほか、他メーカーの代替品の提案を募集するなど積極的に経費削減に努めた。</p> <p>一方、給与費については大幅な増加となったが、給与の削減は職員のモチベーションに反映するため避けるべきである。</p> <p>経営会議や院内掲示版等で職員に経営情報を周知するとともに、材料費や経費の更なる削減に努めるなど、経常収支100%に向けての取組みを再検討する必要がある。</p>
	H27年度	H26年度	H25年度	H24年度																					
薬品比率	16.7	16.0	15.5	15.5																					
診療材料比率	10.7	10.7	10.8	10.2																					
計	27.4	26.7	26.3	25.7																					

中期計画	年度計画 《評価項目》	業務実績内容／法人の自己評価・課題等		評価委員会の評価																						
		自己評価	評価結果	コメント																						
	引き続き、職員全員のコスト意識や省エネ意識を啓発し、経常経費の節減を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 職員の省エネ意識の向上を図るため、イントラネット掲示板により啓発を実施し、病院全体での省エネ活動に取り組んでいる。 ○ 夜間のエレベーター（1台）の停止、エレベーターホールの間接照明の消灯等を引き続き実施するとともに、ブラインド及びカーテンにより夏季の遮熱、冬季の保温を図り空調の節電に努める。 																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>指 標</th> <th>H22年度実績</th> <th>H28年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>後発医薬品使用率 (%)</td> <td>6.7</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>	指 標	H22年度実績	H28年度目標	後発医薬品使用率 (%)	6.7	10	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指 標</th> <th>H27年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>後発医薬品使用率 (%)</td> <td>9.3</td> </tr> </tbody> </table>	指 標	H27年度目標	後発医薬品使用率 (%)	9.3	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指 標</th> <th>H27年度</th> <th>H26年度</th> <th>H25年度</th> <th>H24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>後発医薬品使用率 (%)</td> <td>8.9</td> <td>9.3</td> <td>8.4</td> <td>7.5</td> </tr> </tbody> </table>	指 標	H27年度	H26年度	H25年度	H24年度	後発医薬品使用率 (%)	8.9	9.3	8.4	7.5				
指 標	H22年度実績	H28年度目標																								
後発医薬品使用率 (%)	6.7	10																								
指 標	H27年度目標																									
後発医薬品使用率 (%)	9.3																									
指 標	H27年度	H26年度	H25年度	H24年度																						
後発医薬品使用率 (%)	8.9	9.3	8.4	7.5																						

《大項目》 第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

中期目標	第3-8 積極的な情報発信 県民の医療に関する意識の向上を図るとともに、運営の透明性を一層確保するため、法人の取組や運営状況などを積極的に情報発信すること。
------	---

《評価項目No.35》 積極的な情報発信

中期計画	年度計画 《評価項目》	業務実績内容／法人の自己評価・課題等	評価委員会の評価	
			自己評価	評価結果 コメント
8 積極的な情報発信 定期的な広報誌の発行や、ホームページ等の多様な広報手段の活用により、病院の診療実績や決算状況等の経営情報、病院が有する保険医療情報の情報発信に積極的に取り組む。	8 《評価項目No.35》 積極的な情報発信 広報誌やホームページ等の多様な広報手段の活用により、病院の診療情報や運営状況、保健医療情報の情報発信に積極的に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 広報誌「医療センターニュース」を年間8回発行し、病院の診療情報のほか、防災実地訓練や市民公開講座の開催、また連携医療機関の紹介等、当院の病院機能に応じた事業や病診連携の取組に係る情報提供を行った。 ○ また、北勢呼吸器センターの開設や講演会・市民講座の開催等の取組について、地域連携課が発行（月1回程度）する「かけはし通信」により、連携している開業医（約400）や地域の医療機関、関係団体へ積極的に情報を発信した。 ○ ホームページで「がん診療」や「災害拠点」等の病院の特長について、積極的に情報発信するとともに、マスコミへの資料提供、新聞の医療記事特集への広告掲載、医療情報誌への掲載等、効率的な広報に努めた。 ○ さらに、ホームページでの「法人情報」について、義務付けられている情報提供に加え、決算概要、理事会事項書も情報発信しているほか、各年度の「病院年報」を掲載し、各診療科・部門の状況（学会・研究会、論文等の発表の状況等を含む。）のほか、統計データ等を公表している。 	IV	IV 北勢呼吸器センター開設に伴い、紹介患者数をメーリングリストを用いて、連携する地域の医療機関に情報提供を始めたことについては、紹介率アップに有効な取組として大いに評価できる。

中期計画	年度計画 《評価項目》	業務実績内容／法人の自己評価・課題等		評価委員会の評価										
		自己評価	評価結果	コメント										
		<p>●ホームページアクセス数（件数）</p> <table border="1"> <tr> <td>平成27年度</td> <td>226,175</td> </tr> <tr> <td>平成26年度</td> <td>274,862</td> </tr> <tr> <td>平成25年度</td> <td>192,750</td> </tr> <tr> <td>平成24年度</td> <td>171,141</td> </tr> </table> <p>※ホームページのアクセス数は、H26年度では突発的な要因により急増したが、その要因を除いても、増加傾向にある。</p> <p>○また、院内掲示板において、当院を受診する患者の皆さんに逐次、がん市民講座等の催しや内視鏡検査等の検査情報、また医療機器の紹介等、様々な診療情報を提供している。</p>		平成27年度	226,175	平成26年度	274,862	平成25年度	192,750	平成24年度	171,141			
平成27年度	226,175													
平成26年度	274,862													
平成25年度	192,750													
平成24年度	171,141													

《大項目》 第3 財務内容の改善に関する事項

中期目標	<p>第4 財務内容の改善に関する事項</p> <p>医療環境の変化に対応して、良質で満足度の高い医療を安定的、継続的に提供できる経営基盤を確立すること。</p> <p>そのため、業務運営の改善及び効率化などを進め、中期目標の期間に経常収支比率100%以上を達成し、維持すること。</p> <p>なお、地方独立行政法人法に基づき、政策医療の提供に必要な経費については、引き続き県が負担する。</p>
------	---

《評価項目No.36》 予算、収支計画、資金計画

中期計画	年度計画 《評価項目》	業務実績内容／法人の自己評価・課題等		評価委員会の評価																					
		自己評価	評価結果	コメント																					
<p>第4 財務内容の改善に関する事項</p> <p>良質で満足度の高い医療を安定的、継続的に提供するとともに、業務運営の改善、効率化を図り、中期目標期間内に経常収支比率100%以上を達成し、維持する。</p> <p>ただし、地方独立行政法人法に基づき、政策医療の提供に必要な経費については、引き続き県から負担を受ける。</p>	<p>第3 財務内容の改善に関する事項</p> <p>経常収支比率100%以上を目指し、良質で満足度の高い医療を安定的、継続的に提供するとともに、業務運営の改善、効率化を図る。</p> <p>ただし、地方独立行政法人法に基づき、政策医療の提供に必要な経費については、引き続き県から負担を受ける。</p>	<p>○ 紹介患者及び救急患者の積極的な受入れに取り組み、外来患者数及び外来単価が大幅に増加したことで、過去最高の医業収益額を確保した。</p> <p>○ 給与改定や地域手当の見直し、人件体制の充実などにより、人件費が増加したが、一人当たりの時間外勤務時間は、平成26年度より約10%減少した。</p> <p>○ ディーラーやメーカーとの価格交渉に努め、薬品費及び診材料費に係るコスト削減を実現したが、高額な新薬の使用等により、材料費は増加した。</p> <p>○ 医業収益は、過去最高を確保したが、人件費及び材料費が増加したことで、経常収支比率は97.2%となり、年度計画における収支目標値（96.1%）に対しては収支を改善したものの、4年連続の100%以上は満たすことができなかった。</p>																							
		<p>●各種比率の推移（%）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27年度</th> <th>H26年度</th> <th>H25年度</th> <th>H24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経常収支比率</td> <td>97.2</td> <td>100.9</td> <td>101.3</td> <td>100.4</td> </tr> <tr> <td>人件費比率</td> <td>55.7</td> <td>52.0</td> <td>51.4</td> <td>53.0</td> </tr> <tr> <td>材料費比率</td> <td>28.2</td> <td>27.5</td> <td>27.0</td> <td>26.4</td> </tr> </tbody> </table>					H27年度	H26年度	H25年度	H24年度	経常収支比率	97.2	100.9	101.3	100.4	人件費比率	55.7	52.0	51.4	53.0	材料費比率	28.2	27.5	27.0	26.4
	H27年度	H26年度	H25年度	H24年度																					
経常収支比率	97.2	100.9	101.3	100.4																					
人件費比率	55.7	52.0	51.4	53.0																					
材料費比率	28.2	27.5	27.0	26.4																					
		<p>※人件費比率、材料費比率とも、医業収益に対する割合</p>																							

中期計画	年度計画 《評価項目》	業務実績内容／法人の自己評価・課題等	評価委員会の評価																																																																																																																																																																																																				
			自己評価	評価結果 コメント																																																																																																																																																																																																			
<p>1 予算（平成24年度～28年度） （単位：百万円）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収入</td> <td>58,559</td> </tr> <tr> <td> 営業収益</td> <td>50,588</td> </tr> <tr> <td> 医業収益</td> <td>45,336</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金収益</td> <td>5,252</td> </tr> <tr> <td> その他営業収益</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td> 営業外収益</td> <td>1,178</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金収益</td> <td>984</td> </tr> <tr> <td> その他営業外収益</td> <td>194</td> </tr> <tr> <td> 臨時収益</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td> 資本収入</td> <td>6,793</td> </tr> <tr> <td> 長期借入金</td> <td>2,271</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金収入</td> <td>2,619</td> </tr> <tr> <td> その他資本収入</td> <td>1,903</td> </tr> <tr> <td>支出</td> <td>55,287</td> </tr> <tr> <td> 営業費用</td> <td>44,767</td> </tr> <tr> <td> 医業費用</td> <td>44,767</td> </tr> <tr> <td> 給与費</td> <td>24,243</td> </tr> <tr> <td> 材料費</td> <td>12,996</td> </tr> <tr> <td> 経費</td> <td>7,326</td> </tr> <tr> <td> その他医業費用</td> <td>202</td> </tr> <tr> <td> 一般管理費</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td> 営業外費用</td> <td>2,205</td> </tr> <tr> <td> 臨時損失</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td> 資本支出</td> <td>8,315</td> </tr> <tr> <td> 建設改良費</td> <td>2,897</td> </tr> <tr> <td> 地方債償還金</td> <td>5,060</td> </tr> <tr> <td> その他資本支出</td> <td>358</td> </tr> </tbody> </table>	区分	金額	収入	58,559	営業収益	50,588	医業収益	45,336	運営費負担金収益	5,252	その他営業収益	0	営業外収益	1,178	運営費負担金収益	984	その他営業外収益	194	臨時収益	0	資本収入	6,793	長期借入金	2,271	運営費負担金収入	2,619	その他資本収入	1,903	支出	55,287	営業費用	44,767	医業費用	44,767	給与費	24,243	材料費	12,996	経費	7,326	その他医業費用	202	一般管理費	0	営業外費用	2,205	臨時損失	0	資本支出	8,315	建設改良費	2,897	地方債償還金	5,060	その他資本支出	358	<p>《評価項目No.36》 1 予算（平成27年度） （単位：百万円）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収入</td> <td>11,539</td> </tr> <tr> <td> 営業収益</td> <td>10,426</td> </tr> <tr> <td> 医業収益</td> <td>9,486</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金収益</td> <td>940</td> </tr> <tr> <td> その他営業収益</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td> 営業外収益</td> <td>238</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金収益</td> <td>176</td> </tr> <tr> <td> その他営業外収益</td> <td>62</td> </tr> <tr> <td> 臨時収益</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td> 資本収入</td> <td>875</td> </tr> <tr> <td> 長期借入金</td> <td>296</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金収入</td> <td>579</td> </tr> <tr> <td> その他資本収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>支出</td> <td>11,619</td> </tr> <tr> <td> 営業費用</td> <td>9,631</td> </tr> <tr> <td> 医業費用</td> <td>9,270</td> </tr> <tr> <td> 給与費</td> <td>4,975</td> </tr> <tr> <td> 材料費</td> <td>2,577</td> </tr> <tr> <td> 経費</td> <td>1,674</td> </tr> <tr> <td> その他医業費用</td> <td>44</td> </tr> <tr> <td> 一般管理費</td> <td>361</td> </tr> <tr> <td> 営業外費用</td> <td>480</td> </tr> <tr> <td> 臨時損失</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td> 資本支出</td> <td>1,508</td> </tr> <tr> <td> 建設改良費</td> <td>361</td> </tr> <tr> <td> 地方債償還金</td> <td>1,147</td> </tr> <tr> <td> その他資本支出</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>【人件費の見積り】 平成26年度は総額5,359百万円を支出する。なお、当該金額は、法人の役職員にかかる報酬、基本給、諸手当、法定福利費、及び退職手当の額に相当するものである。</p>	区分	金額	収入	11,539	営業収益	10,426	医業収益	9,486	運営費負担金収益	940	その他営業収益	0	営業外収益	238	運営費負担金収益	176	その他営業外収益	62	臨時収益	0	資本収入	875	長期借入金	296	運営費負担金収入	579	その他資本収入	0	支出	11,619	営業費用	9,631	医業費用	9,270	給与費	4,975	材料費	2,577	経費	1,674	その他医業費用	44	一般管理費	361	営業外費用	480	臨時損失	0	資本支出	1,508	建設改良費	361	地方債償還金	1,147	その他資本支出	0	<p>1 決算（平成27年度） （単位：百万円）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H27年度</th> <th>H26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収入</td> <td>11,971</td> <td>11,789</td> </tr> <tr> <td> 営業収益</td> <td>10,846</td> <td>10,622</td> </tr> <tr> <td> 医業収益</td> <td>9,877</td> <td>9,544</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金収益</td> <td>939</td> <td>1,042</td> </tr> <tr> <td> その他営業収益</td> <td>30</td> <td>37</td> </tr> <tr> <td> 営業外収益</td> <td>241</td> <td>265</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金収益</td> <td>172</td> <td>188</td> </tr> <tr> <td> その他営業外収益</td> <td>69</td> <td>77</td> </tr> <tr> <td> 臨時収益</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td> 資本収入</td> <td>884</td> <td>902</td> </tr> <tr> <td> 長期借入金</td> <td>296</td> <td>375</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金収入</td> <td>579</td> <td>527</td> </tr> <tr> <td> その他資本収入</td> <td>9</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>支出</td> <td>11,830</td> <td>11,184</td> </tr> <tr> <td> 営業費用</td> <td>9,922</td> <td>9,388</td> </tr> <tr> <td> 医業費用</td> <td>9,540</td> <td>9,041</td> </tr> <tr> <td> 給与費</td> <td>5,051</td> <td>4,614</td> </tr> <tr> <td> 材料費</td> <td>2,881</td> <td>2,716</td> </tr> <tr> <td> 経費</td> <td>1,575</td> <td>1,673</td> </tr> <tr> <td> その他医業費用</td> <td>33</td> <td>38</td> </tr> <tr> <td> 一般管理費</td> <td>382</td> <td>347</td> </tr> <tr> <td> 営業外費用</td> <td>437</td> <td>339</td> </tr> <tr> <td> 臨時損失</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td> 資本支出</td> <td>1,471</td> <td>1,456</td> </tr> <tr> <td> 建設改良費</td> <td>325</td> <td>407</td> </tr> <tr> <td> 地方債償還金</td> <td>1,147</td> <td>1,049</td> </tr> <tr> <td> その他資本支出</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 計数は、端数をそれぞれ四捨五入している。</p>	区分	H27年度	H26年度	収入	11,971	11,789	営業収益	10,846	10,622	医業収益	9,877	9,544	運営費負担金収益	939	1,042	その他営業収益	30	37	営業外収益	241	265	運営費負担金収益	172	188	その他営業外収益	69	77	臨時収益	0	0	資本収入	884	902	長期借入金	296	375	運営費負担金収入	579	527	その他資本収入	9	0	支出	11,830	11,184	営業費用	9,922	9,388	医業費用	9,540	9,041	給与費	5,051	4,614	材料費	2,881	2,716	経費	1,575	1,673	その他医業費用	33	38	一般管理費	382	347	営業外費用	437	339	臨時損失	0	0	資本支出	1,471	1,456	建設改良費	325	407	地方債償還金	1,147	1,049	その他資本支出	0	0	<p>III</p> <p>III</p> <p>医業収益は増加したが、人件費及び材料費の増加もあり、経常収支比率が97.2%となった。 人件費は手当の見直しや人件体制の拡充等により増加したものの、時間外勤務時間数は減少しており、適正な費用の使い方がなされている。また材料費は高額な新薬の使用等で増加したが価格交渉等により下げられる部分は下げるなど、積極的な費用削減に努めた。 経常収支比率については、4年目で赤字となり、今期のような人件費の大幅な増加は運営費負担金収益の増額でもなければ、医業収益でのカバーは難しいと思われる。 しかし、人件費の増加は人材の確保・育成の観点からやむを得ない側面がある。 職員処遇改善が7対1看護基準体制の維持と加算の算定等医業収益の増加につながるようになると良いし、また材料費・経費の削減にも努め、経常収支比率100%以上を目指していただきたい。 今期の資金計画から考えると今後の独立採算的な運営がいかにか分る。</p>
区分	金額																																																																																																																																																																																																						
収入	58,559																																																																																																																																																																																																						
営業収益	50,588																																																																																																																																																																																																						
医業収益	45,336																																																																																																																																																																																																						
運営費負担金収益	5,252																																																																																																																																																																																																						
その他営業収益	0																																																																																																																																																																																																						
営業外収益	1,178																																																																																																																																																																																																						
運営費負担金収益	984																																																																																																																																																																																																						
その他営業外収益	194																																																																																																																																																																																																						
臨時収益	0																																																																																																																																																																																																						
資本収入	6,793																																																																																																																																																																																																						
長期借入金	2,271																																																																																																																																																																																																						
運営費負担金収入	2,619																																																																																																																																																																																																						
その他資本収入	1,903																																																																																																																																																																																																						
支出	55,287																																																																																																																																																																																																						
営業費用	44,767																																																																																																																																																																																																						
医業費用	44,767																																																																																																																																																																																																						
給与費	24,243																																																																																																																																																																																																						
材料費	12,996																																																																																																																																																																																																						
経費	7,326																																																																																																																																																																																																						
その他医業費用	202																																																																																																																																																																																																						
一般管理費	0																																																																																																																																																																																																						
営業外費用	2,205																																																																																																																																																																																																						
臨時損失	0																																																																																																																																																																																																						
資本支出	8,315																																																																																																																																																																																																						
建設改良費	2,897																																																																																																																																																																																																						
地方債償還金	5,060																																																																																																																																																																																																						
その他資本支出	358																																																																																																																																																																																																						
区分	金額																																																																																																																																																																																																						
収入	11,539																																																																																																																																																																																																						
営業収益	10,426																																																																																																																																																																																																						
医業収益	9,486																																																																																																																																																																																																						
運営費負担金収益	940																																																																																																																																																																																																						
その他営業収益	0																																																																																																																																																																																																						
営業外収益	238																																																																																																																																																																																																						
運営費負担金収益	176																																																																																																																																																																																																						
その他営業外収益	62																																																																																																																																																																																																						
臨時収益	0																																																																																																																																																																																																						
資本収入	875																																																																																																																																																																																																						
長期借入金	296																																																																																																																																																																																																						
運営費負担金収入	579																																																																																																																																																																																																						
その他資本収入	0																																																																																																																																																																																																						
支出	11,619																																																																																																																																																																																																						
営業費用	9,631																																																																																																																																																																																																						
医業費用	9,270																																																																																																																																																																																																						
給与費	4,975																																																																																																																																																																																																						
材料費	2,577																																																																																																																																																																																																						
経費	1,674																																																																																																																																																																																																						
その他医業費用	44																																																																																																																																																																																																						
一般管理費	361																																																																																																																																																																																																						
営業外費用	480																																																																																																																																																																																																						
臨時損失	0																																																																																																																																																																																																						
資本支出	1,508																																																																																																																																																																																																						
建設改良費	361																																																																																																																																																																																																						
地方債償還金	1,147																																																																																																																																																																																																						
その他資本支出	0																																																																																																																																																																																																						
区分	H27年度	H26年度																																																																																																																																																																																																					
収入	11,971	11,789																																																																																																																																																																																																					
営業収益	10,846	10,622																																																																																																																																																																																																					
医業収益	9,877	9,544																																																																																																																																																																																																					
運営費負担金収益	939	1,042																																																																																																																																																																																																					
その他営業収益	30	37																																																																																																																																																																																																					
営業外収益	241	265																																																																																																																																																																																																					
運営費負担金収益	172	188																																																																																																																																																																																																					
その他営業外収益	69	77																																																																																																																																																																																																					
臨時収益	0	0																																																																																																																																																																																																					
資本収入	884	902																																																																																																																																																																																																					
長期借入金	296	375																																																																																																																																																																																																					
運営費負担金収入	579	527																																																																																																																																																																																																					
その他資本収入	9	0																																																																																																																																																																																																					
支出	11,830	11,184																																																																																																																																																																																																					
営業費用	9,922	9,388																																																																																																																																																																																																					
医業費用	9,540	9,041																																																																																																																																																																																																					
給与費	5,051	4,614																																																																																																																																																																																																					
材料費	2,881	2,716																																																																																																																																																																																																					
経費	1,575	1,673																																																																																																																																																																																																					
その他医業費用	33	38																																																																																																																																																																																																					
一般管理費	382	347																																																																																																																																																																																																					
営業外費用	437	339																																																																																																																																																																																																					
臨時損失	0	0																																																																																																																																																																																																					
資本支出	1,471	1,456																																																																																																																																																																																																					
建設改良費	325	407																																																																																																																																																																																																					
地方債償還金	1,147	1,049																																																																																																																																																																																																					
その他資本支出	0	0																																																																																																																																																																																																					

【運営費負担金の算定ルール】
 救急医療などの行政的経費及び高度医療などの不採算経費については、地方独立行政法人法第85条第1項の規定を基に算定された額とする。建設改良費及び償還金に充当される運営費負担金は、資本助成とする。

中期計画

年度計画
 ≪評価項目≫

業務実績内容／法人の自己評価・課題等

評価委員会の評価
 コメント

2 収支計画（平成24年度～28年度）

(単位：百万円)

区分	金額
収入の部	51,893
営業収益	50,715
医業収益	45,336
運営費負担金収益	5,252
その他営業収益	127
営業外収益	1,178
運営費負担金収益	984
その他営業外収益	194
臨時収益	0
支出の部	52,209
営業費用	50,004
医業費用	49,954
給与費	24,841
材料費	12,996
経費	7,326
減価償却費	4,589
その他医業費用	202
一般管理費	50
営業外費用	2,205
臨時損失	0
純利益	▲316

2 収支計画（平成27年度）

(単位：百万円)

区分	金額
収入の部	10,675
営業収益	10,437
医業収益	9,486
運営費負担金収益	940
その他営業収益	11
営業外収益	238
運営費負担金収益	176
その他営業外収益	62
臨時収益	0
支出の部	11,109
営業費用	10,629
医業費用	10,259
給与費	5,078
材料費	2,578
経費	1,674
減価償却費	885
その他医業費用	44
一般管理費	370
営業外費用	480
臨時損失	0
純利益	▲434

注) 計数は、端数をそれぞれ四捨五入している。

2 収支計画（平成27年度）

(単位：百万円)

区分	H27年度	H26年度
収入の部	11,193	10,878
営業収益	10,839	10,617
医業収益	9,860	9,527
運営費負担金収益	939	1,042
その他営業収益	40	48
営業外収益	237	261
運営費負担金収益	172	188
その他営業外収益	65	73
臨時収益	117	0
支出の部	11,418	10,785
営業費用	10,713	10,109
医業費用	10,325	9,756
給与費	5,192	4,683
材料費	2,779	2,616
経費	1,479	1,567
減価償却費	844	854
その他医業費用	31	36
一般管理費	388	353
営業外費用	679	676
臨時損失	27	0
純利益	▲225	93

注) 計数は、端数をそれぞれ四捨五入している。

中期計画	年度計画 《評価項目》	業務実績内容／法人の自己評価・課題等		評価委員会の評価																																																																																																																																																																																
		自己評価	評価結果	コメント																																																																																																																																																																																
3 資金計画（平成24年度～28年度） (単位：百万円)	3 資金計画（平成27年度） (単位：百万円)	3 資金計画（平成27年度） (単位：百万円)																																																																																																																																																																																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>資金収入</td> <td>58,559</td> </tr> <tr> <td> 業務活動による収入</td> <td>51,766</td> </tr> <tr> <td> 診療業務による収入</td> <td>45,336</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金による収入</td> <td>6,236</td> </tr> <tr> <td> その他業務活動による収入</td> <td>194</td> </tr> <tr> <td> 投資活動による収入</td> <td>2,619</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金による収入</td> <td>2,619</td> </tr> <tr> <td> その他投資活動による収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td> 財務活動による収入</td> <td>4,174</td> </tr> <tr> <td> 長期借入による収入</td> <td>2,271</td> </tr> <tr> <td> その他財務活動による収入</td> <td>1,903</td> </tr> <tr> <td>資金支出</td> <td>55,287</td> </tr> <tr> <td> 業務活動による支出</td> <td>46,972</td> </tr> <tr> <td> 給与費支出</td> <td>24,243</td> </tr> <tr> <td> 材料費支出</td> <td>12,996</td> </tr> <tr> <td> その他業務活動による支出</td> <td>9,733</td> </tr> <tr> <td> 投資活動による支出</td> <td>3,255</td> </tr> <tr> <td> 有形固定資産の取得による支出</td> <td>2,897</td> </tr> <tr> <td> その他の投資活動による支出</td> <td>358</td> </tr> <tr> <td> 財務活動による支出</td> <td>5,060</td> </tr> <tr> <td> 長期借入金返済による支出</td> <td>483</td> </tr> <tr> <td> 移行前地方債償還債務の償還による支出</td> <td>4,577</td> </tr> <tr> <td> その他財務活動による支出</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>次期中期目標期間への繰越金</td> <td>3,272</td> </tr> </tbody> </table>	区分	金額	資金収入	58,559	業務活動による収入	51,766	診療業務による収入	45,336	運営費負担金による収入	6,236	その他業務活動による収入	194	投資活動による収入	2,619	運営費負担金による収入	2,619	その他投資活動による収入	0	財務活動による収入	4,174	長期借入による収入	2,271	その他財務活動による収入	1,903	資金支出	55,287	業務活動による支出	46,972	給与費支出	24,243	材料費支出	12,996	その他業務活動による支出	9,733	投資活動による支出	3,255	有形固定資産の取得による支出	2,897	その他の投資活動による支出	358	財務活動による支出	5,060	長期借入金返済による支出	483	移行前地方債償還債務の償還による支出	4,577	その他財務活動による支出	0	次期中期目標期間への繰越金	3,272	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>資金収入</td> <td>11,539</td> </tr> <tr> <td> 業務活動による収入</td> <td>10,664</td> </tr> <tr> <td> 診療業務による収入</td> <td>9,486</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金による収入</td> <td>1,115</td> </tr> <tr> <td> その他業務活動による収入</td> <td>63</td> </tr> <tr> <td> 投資活動による収入</td> <td>579</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金による収入</td> <td>579</td> </tr> <tr> <td> その他投資活動による収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td> 財務活動による収入</td> <td>296</td> </tr> <tr> <td> 長期借入による収入</td> <td>296</td> </tr> <tr> <td> その他財務活動による収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>資金支出</td> <td>11,619</td> </tr> <tr> <td> 業務活動による支出</td> <td>10,111</td> </tr> <tr> <td> 給与費支出</td> <td>4,975</td> </tr> <tr> <td> 材料費支出</td> <td>2,577</td> </tr> <tr> <td> その他業務活動による支出</td> <td>2,559</td> </tr> <tr> <td> 投資活動による支出</td> <td>361</td> </tr> <tr> <td> 有形固定資産の取得による支出</td> <td>361</td> </tr> <tr> <td> その他の投資活動による支出</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td> 財務活動による支出</td> <td>1,147</td> </tr> <tr> <td> 長期借入金返済による支出</td> <td>213</td> </tr> <tr> <td> 移行前地方債償還債務の償還による支出</td> <td>934</td> </tr> <tr> <td> その他財務活動による支出</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>次期中期目標期間への繰越金</td> <td>▲80</td> </tr> </tbody> </table>	区分	金額	資金収入	11,539	業務活動による収入	10,664	診療業務による収入	9,486	運営費負担金による収入	1,115	その他業務活動による収入	63	投資活動による収入	579	運営費負担金による収入	579	その他投資活動による収入	0	財務活動による収入	296	長期借入による収入	296	その他財務活動による収入	0	資金支出	11,619	業務活動による支出	10,111	給与費支出	4,975	材料費支出	2,577	その他業務活動による支出	2,559	投資活動による支出	361	有形固定資産の取得による支出	361	その他の投資活動による支出	0	財務活動による支出	1,147	長期借入金返済による支出	213	移行前地方債償還債務の償還による支出	934	その他財務活動による支出	0	次期中期目標期間への繰越金	▲80	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H27年度</th> <th>H26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>資金収入</td> <td>11,761</td> <td>11,578</td> </tr> <tr> <td> 業務活動による収入</td> <td>10,887</td> <td>10,661</td> </tr> <tr> <td> 診療業務による収入</td> <td>9,743</td> <td>9,393</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金による収入</td> <td>1,111</td> <td>1,230</td> </tr> <tr> <td> その他業務活動による収入</td> <td>33</td> <td>38</td> </tr> <tr> <td> 投資活動による収入</td> <td>579</td> <td>542</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金による収入</td> <td>579</td> <td>527</td> </tr> <tr> <td> その他投資活動による収入</td> <td>0</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td> 財務活動による収入</td> <td>295</td> <td>375</td> </tr> <tr> <td> 長期借入による収入</td> <td>295</td> <td>375</td> </tr> <tr> <td> その他財務活動による収入</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>資金支出</td> <td>11,696</td> <td>11,047</td> </tr> <tr> <td> 業務活動による支出</td> <td>10,306</td> <td>9,600</td> </tr> <tr> <td> 給与費支出</td> <td>5,299</td> <td>4,859</td> </tr> <tr> <td> 材料費支出</td> <td>2,745</td> <td>2,530</td> </tr> <tr> <td> その他業務活動による支出</td> <td>2,262</td> <td>2,210</td> </tr> <tr> <td> 投資活動による支出</td> <td>240</td> <td>394</td> </tr> <tr> <td> 有形固定資産の取得による支出</td> <td>240</td> <td>389</td> </tr> <tr> <td> その他の投資活動による支出</td> <td>0</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td> 財務活動による支出</td> <td>1,150</td> <td>1,053</td> </tr> <tr> <td> 長期借入金返済による支出</td> <td>212</td> <td>89</td> </tr> <tr> <td> 移行前地方債償還債務の償還による支出</td> <td>934</td> <td>960</td> </tr> <tr> <td> その他財務活動による支出</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>次期中期目標期間への繰越金</td> <td>65</td> <td>531</td> </tr> </tbody> </table>	区分	H27年度	H26年度	資金収入	11,761	11,578	業務活動による収入	10,887	10,661	診療業務による収入	9,743	9,393	運営費負担金による収入	1,111	1,230	その他業務活動による収入	33	38	投資活動による収入	579	542	運営費負担金による収入	579	527	その他投資活動による収入	0	15	財務活動による収入	295	375	長期借入による収入	295	375	その他財務活動による収入	0	0	資金支出	11,696	11,047	業務活動による支出	10,306	9,600	給与費支出	5,299	4,859	材料費支出	2,745	2,530	その他業務活動による支出	2,262	2,210	投資活動による支出	240	394	有形固定資産の取得による支出	240	389	その他の投資活動による支出	0	5	財務活動による支出	1,150	1,053	長期借入金返済による支出	212	89	移行前地方債償還債務の償還による支出	934	960	その他財務活動による支出	4	4	次期中期目標期間への繰越金	65	531			
区分	金額																																																																																																																																																																																			
資金収入	58,559																																																																																																																																																																																			
業務活動による収入	51,766																																																																																																																																																																																			
診療業務による収入	45,336																																																																																																																																																																																			
運営費負担金による収入	6,236																																																																																																																																																																																			
その他業務活動による収入	194																																																																																																																																																																																			
投資活動による収入	2,619																																																																																																																																																																																			
運営費負担金による収入	2,619																																																																																																																																																																																			
その他投資活動による収入	0																																																																																																																																																																																			
財務活動による収入	4,174																																																																																																																																																																																			
長期借入による収入	2,271																																																																																																																																																																																			
その他財務活動による収入	1,903																																																																																																																																																																																			
資金支出	55,287																																																																																																																																																																																			
業務活動による支出	46,972																																																																																																																																																																																			
給与費支出	24,243																																																																																																																																																																																			
材料費支出	12,996																																																																																																																																																																																			
その他業務活動による支出	9,733																																																																																																																																																																																			
投資活動による支出	3,255																																																																																																																																																																																			
有形固定資産の取得による支出	2,897																																																																																																																																																																																			
その他の投資活動による支出	358																																																																																																																																																																																			
財務活動による支出	5,060																																																																																																																																																																																			
長期借入金返済による支出	483																																																																																																																																																																																			
移行前地方債償還債務の償還による支出	4,577																																																																																																																																																																																			
その他財務活動による支出	0																																																																																																																																																																																			
次期中期目標期間への繰越金	3,272																																																																																																																																																																																			
区分	金額																																																																																																																																																																																			
資金収入	11,539																																																																																																																																																																																			
業務活動による収入	10,664																																																																																																																																																																																			
診療業務による収入	9,486																																																																																																																																																																																			
運営費負担金による収入	1,115																																																																																																																																																																																			
その他業務活動による収入	63																																																																																																																																																																																			
投資活動による収入	579																																																																																																																																																																																			
運営費負担金による収入	579																																																																																																																																																																																			
その他投資活動による収入	0																																																																																																																																																																																			
財務活動による収入	296																																																																																																																																																																																			
長期借入による収入	296																																																																																																																																																																																			
その他財務活動による収入	0																																																																																																																																																																																			
資金支出	11,619																																																																																																																																																																																			
業務活動による支出	10,111																																																																																																																																																																																			
給与費支出	4,975																																																																																																																																																																																			
材料費支出	2,577																																																																																																																																																																																			
その他業務活動による支出	2,559																																																																																																																																																																																			
投資活動による支出	361																																																																																																																																																																																			
有形固定資産の取得による支出	361																																																																																																																																																																																			
その他の投資活動による支出	0																																																																																																																																																																																			
財務活動による支出	1,147																																																																																																																																																																																			
長期借入金返済による支出	213																																																																																																																																																																																			
移行前地方債償還債務の償還による支出	934																																																																																																																																																																																			
その他財務活動による支出	0																																																																																																																																																																																			
次期中期目標期間への繰越金	▲80																																																																																																																																																																																			
区分	H27年度	H26年度																																																																																																																																																																																		
資金収入	11,761	11,578																																																																																																																																																																																		
業務活動による収入	10,887	10,661																																																																																																																																																																																		
診療業務による収入	9,743	9,393																																																																																																																																																																																		
運営費負担金による収入	1,111	1,230																																																																																																																																																																																		
その他業務活動による収入	33	38																																																																																																																																																																																		
投資活動による収入	579	542																																																																																																																																																																																		
運営費負担金による収入	579	527																																																																																																																																																																																		
その他投資活動による収入	0	15																																																																																																																																																																																		
財務活動による収入	295	375																																																																																																																																																																																		
長期借入による収入	295	375																																																																																																																																																																																		
その他財務活動による収入	0	0																																																																																																																																																																																		
資金支出	11,696	11,047																																																																																																																																																																																		
業務活動による支出	10,306	9,600																																																																																																																																																																																		
給与費支出	5,299	4,859																																																																																																																																																																																		
材料費支出	2,745	2,530																																																																																																																																																																																		
その他業務活動による支出	2,262	2,210																																																																																																																																																																																		
投資活動による支出	240	394																																																																																																																																																																																		
有形固定資産の取得による支出	240	389																																																																																																																																																																																		
その他の投資活動による支出	0	5																																																																																																																																																																																		
財務活動による支出	1,150	1,053																																																																																																																																																																																		
長期借入金返済による支出	212	89																																																																																																																																																																																		
移行前地方債償還債務の償還による支出	934	960																																																																																																																																																																																		
その他財務活動による支出	4	4																																																																																																																																																																																		
次期中期目標期間への繰越金	65	531																																																																																																																																																																																		
	注) 計数は、端数をそれぞれ四捨五入している。	注) 計数は、端数をそれぞれ四捨五入している。																																																																																																																																																																																		
	第6 剰余金の使途 決算において剰余金が生じた場合は、病院施設の整備、医療機器の購入、人材育成及び能力開発の充実等に充てる。																																																																																																																																																																																			

《大項目》 第7 その他業務運営に関する事項

中期目標	第5 その他業務運営に関する重要事項
	1 保健医療行政への協力 県などが進める保健医療行政の取組に対し積極的に協力すること。

《評価項目No.37》 保健医療行政への協力

中期計画	年度計画 《評価項目》	業務実績内容／法人の自己評価・課題等		評価委員会の評価	
		自己評価	評価結果	コメント	
第9 その他業務運営に関する重要事項	第7 その他業務運営に関する重要事項 《評価項目No.37》				
1 保健医療行政への協力 北勢保健医療圏の中核的病院として、保健医療行政の取組に対し積極的に協力する。	1 保健医療行政への協力 北勢保健医療圏の中核的病院として、保健医療行政の取組に対し積極的に協力する。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 北勢医療圏の中核的な病院として、四日市地域救急医療対策協議会及び新型コロナウイルス感染症等対策部会の委員に、各1名が就任し、地域での保健医療行政に参画・協力している。 ○ 地域周産期母子医療センターとして、北勢保健医療圏における周産期医療の需要増に応えるため、NICU、GCU及びMFICU及び母体・胎児診断センターを適正に運用している。 ○ IDリンク（三重医療安心ネットワーク）を活用した医療情報の共有化については、四日市医師会、市立四日市病院及び四日市羽津医療センターとともに、平成26年4月から運用している。 	IV	IV	<p>四日市モデルといわれる在宅医療システムやアルコールと健康を考えるネットワーク等、医療福祉を含む多職種が協同して地域社会に貢献する仕組みづくりの中心的存在として長くその役目を果たしていることは評価できる。</p> <p>今後あらゆる分野においてもその牽引役となるよう期待する。</p>
		●平成27年度 IDリンク活用実績 92件			

《大項目》 第7 その他業務運営に関する事項

中期目標	第5-2 法令・社会規範の遵守 県民に信頼され、県内の他の医療機関の模範となるよう法令や社会規範を遵守すること。
------	---

《評価項目No.38》 法令・社会規範の遵守

中期計画	年度計画 《評価項目》	業務実績内容／法人の自己評価・課題等	評価委員会の評価	
			自己評価	評価結果 コメント
2 法令・社会規範の遵守 県民や他の医療機関に信頼され、公的使命を適切に果たすよう、医療法をはじめとする関係法令を遵守して、健全な病院運営に努める。	《評価項目No.38》 2 法令・社会規範の遵守 県民や他の医療機関に信頼され、公的使命を適切に果たすよう、医療法をはじめとする関係法令を遵守して、健全な病院運営に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 医療法等の法令の遵守はもとより、北勢地域の基幹となる公的病院として、政策医療、人材育成を果たしている。 ○ 医療監視及び機能評価（財団法人 日本医療機能評価機構）においては、「改善要望事項なし」との評価を得ており、法令に遵守した適正な病院経営を行っている。 ○ 地域医療支援病院として地元開業医との病診連携の充実・強化を図るなど、地域の医療機関との信頼関係を強化しながら、健全な病院運営に努めている。 	III	III 医療法等の法令遵守や医療機能評価機構の基準を維持するためのさらなる努力を期待したい。

《大項目》 第7 その他業務運営に関する事項

《評価項目No.39》 業務運営並びに財務及び会計に関する事項

中期計画	年度計画 《評価項目》	業務実績内容／法人の自己評価・課題等		評価委員会の評価													
		自己評価	評価結果	コメント													
<p>3 業務運営並びに財務及び会計に関する事項</p> <p>(1) 施設及び設備に関する計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設及び設備の内容</th> <th>予定額</th> <th>財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病院施設、医療機器等整備</td> <td>2,897百万円</td> <td>設立団体からの長期借入金等</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 積立金の処分に関する計画 なし</p> <p>(3) その他法人の業務運営に関し必要な事項 なし</p>	施設及び設備の内容	予定額	財源	病院施設、医療機器等整備	2,897百万円	設立団体からの長期借入金等	<p>3 業務運営並びに財務及び会計に関する事項</p> <p>(1) 施設及び設備に関する計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設及び設備の内容</th> <th>予定額</th> <th>財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病院施設、医療機器等整備</td> <td>361百万円</td> <td>設立団体からの長期借入金等</td> </tr> </tbody> </table>	施設及び設備の内容	予定額	財源	病院施設、医療機器等整備	361百万円	設立団体からの長期借入金等	<p>○ 医療機器の新設、更新等は医療現場のニーズに対応しながら、着実に実施した。</p> <p>● 医療機器等の購入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・無停電電源設備 50,410千円 ・心臓超音波診断装置 19,900千円 ・膀胱ファイバーセット 内視鏡手術ビデオセット 18,270千円 ・汎用超音波画像診断装置 18,000千円 ・デジタル超音波診断装置 14,900千円 ・アレンスパイナルシステム 10,000千円 ・その他医療機器の購入 	<p>III</p>	<p>III</p>	<p>常に時代の先鞭を担う医療機器の整備を行っていることは評価できる。</p> <p>県民の医療を守るという視点から医療機器導入後の成果の検証をお願いしたい。</p> <p>また建物も築後20年を経過すると修繕が必要な箇所が多発してくるため整備・修繕計画の立案を期待したい。</p>
施設及び設備の内容	予定額	財源															
病院施設、医療機器等整備	2,897百万円	設立団体からの長期借入金等															
施設及び設備の内容	予定額	財源															
病院施設、医療機器等整備	361百万円	設立団体からの長期借入金等															

(参考) 指標の達成状況

評価 項目 No.	指 標 名	法人化前		法人化後												中期計画			
		H22	H23	H24			H25			H26			H27			H28	H24~28		
		実績値	実績値	目標値	実績値	対目標 値	目標値	実績値	対目標 値	目標値	実績値	対目標 値	目標値	実績値	対目標 値	目標値	実績値	対目標 値	目標値
		b	b	a	b	b/a	a	b	b/a	a	b	b/a	a	b	b/a	a	b	b/a	a
＜大項目＞ 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置																			
1	がん手術件数 (件)	494	544	504	630	125%	628	631	100.5%	628	620	98.7%	590	601	101.9%				540
	化学療法患者数 (人)	4,937	4,275	5,036	4,638	92.1%	4,747	4,523	95.3%	4,800	3,577	74.5%	4,512	3,655	81%				5,400
	放射線治療件数 (件)	4,397	3,602	4,441	4,567	102.8%	4,392	4,679	106.5%	4,600	3,600	78.3%	4,155	4,034	97.1%				4,600
2	PCI (経皮的冠動脈形成術) +冠動脈バイパス手術数 (件)	217	153	221	211	95.5%	212	201	94.8%	210	181	86.2%	212	174	82.1%				240
	t-PA+脳血管手術数 (件)	130	110	140	144	102.9%	151	169	111.9%	160	152	95%	171	138	80.7%				180
4	救命救急センター入院患者数 (人)	4,503	4,340	4,683	5,106	109%	4,942	5,427	109.8%	5,180	5,589	107.9%	5,180	5,795	111.9%				5,180
	救急患者受入数 (人)	14,374	14,510	14,446	14,751	102.1%	14,826	13,887	93.7%	14,180	13,125	92.6%	13,936	13,104	94%				14,700
5	NICU利用延べ患者数 (人) 【新生児特定集中治療室】	716	965	734	1,015	138.3%	1,133	1,231	108.6%	1,350	1,359	100.7%	1,488	1,188	79.8%				1,640
7	クリニカルパス利用率 (%) ※1	26.7	36.1	29.4	38.6	131.3%	38.5	40.5	105.2%	40.0	39.1	97.8%	40.0	38.3	95.8%				40.0
11	患者満足度 (%) ※2	86.7	88.5	88.0	84.3	95.8%	88.0	87.1	99%	88.0	86.3	98.1%	88.0	83.6	95%				90.0
18	紹介患者数 (人)	5,747	6,102	6,070	6,737	111%	6,767	7,297	107.8%	6,767	8,034	118.7%	6,767	9,173	135.6%				6,400
	紹介率 (%) ※3	55.6	58.0	60.0	63.4	105.7%	63.2	65.0	102.8%	61.0	62.1	101.8%	65.0	65.5	100.8%				65.0
	地域連携クリニカルパス件数 (件)	160	151	165	201	121.8%	185	195	105.4%	180	201	111.7%	180	203	112.8%				180
	退院調整患者数 (人)	734	729	749	935	124.8%	914	904	98.9%	800	994	124.3%	800	959	119.9%				800
	医療機関、県民を対象とした研究会・講演会等の実施回数 (回)	12	17	12	17	141.7%	12	15	125%	12	15	125%	12	18	150%				12以上
20	初期及び後期研修医数 (人)	30	26	30	30	100%	28	25	89.3%	28	30	107.1%	30	32	106.7%				32
21	看護師定着率 (%) ※4	91.6	86.0	92.0	92.2	100.2%	92.0	91.9	99.9%	92.0	92.6	100.7%	92.0	92.5	100.5%				92.0
	看護実習受入数 (人)	4,223	4,396	4,000	4,037	100.9%	4,000	3,809	95.2%	3,800	4,162	109.5%	4,000	4,066	101.7%				4,000
23	認定看護師数 (人)	6分野7人	7分野8人	7分野9人	8分野9人	—	8分野10人	9分野11人	—	10分野12人	10分野13人	—	11分野14人	11分野15人	—				— 10分野12人
24	臨床研修指導医養成講習参加者数 (人/各年度)	3	2	3	3	100%	3	3	100%	3	1	33.3%	3	1	33.3%				3
	看護実習指導者養成数 (人)	22	22	24	24	100%	26	27	103.8%	28	29	103.6%	30	33	110%				32
＜大項目＞ 第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置																			
30	職員満足度 (%) ※5	64.9	66.0	66.0	68.1	103.2%	68.1	67.8	99.6%	68.0	68.5	100.7%	69.0	68.1	98.7%				70.0
33	病床稼働率 (%) 実働病床数ベース ※6	88.8	93.1	86.0	87.2	101.4%	87.0	84.2	96.8%	85.9	84.3	98.1%	87.0	82.9	95.3%				90.0
	病床稼働率 (%) 許可病床数ベース ※7	66.1	69.0	65.2	66.1	101.4%	70.3	68.0	96.7%	71.3	70.1	98.3%	72.4	69.1	95.4%				72.6
34	後発医薬品利用率 (%) ※8	6.7	7.1	7.4	7.5	101.4%	8.0	8.4	105%	8.7	9.3	106.9%	9.3	8.9	95.7%				10.0

(注意) は、当該事業年度の年度計画における数値 (目標値、実績値、対目標値)

 は、目標値を達成できなかった指標

【各指標の計算式】

	指 標 名	計 算 式 (指標の根拠)
※1	クリニカルパス利用率 (%)	クリニカルパスの適用患者数 / 新入院患者数 × 100
※2	患者満足度 (%)	患者満足度調査における「当院推薦」調査項目 (1設問) における当院推薦比率の入院・外来単純平均
※3	紹介率 (%)	(紹介患者数 + 救急患者数) / (初診患者数 - 休日・時間外患者数) × 100
※4	看護師定着率 (%)	(1 - 看護師退職者数 / (年度当初看護師数 + 年度末看護師数) / 2) × 100
※5	職員満足度 (%)	職員満足度調査での調査項目 (17) の満足度 (%) の単純平均
※6	病床稼働率 (%) 実働病床数ベース	延べ入院患者数 / 365日 / 稼働病床数 (=H27年度は、368.4床) × 100
※7	病床稼働率 (%) 許可病床数ベース	延べ入院患者数 / 365日 / 稼働病床数 (=H27年度は、443床) × 100
※8	後発医薬品使用率 (%)	後発医薬品購入額 / 薬品購入総額 × 100